

鹿児島県の男女の意識に関する調査

報 告 書

平成24年3月

 「日本一の暮らし先進県」を目指して！

鹿児島県県民生活局
男女共同参画室

目次

I. 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査時期	1
(4) 調査方法	1
II. 調査結果の概要	2
1. 男女平等の意識について	2
2. 女性の参画について	2
3. 家庭生活について	2
4. 就業について	3
5. 仕事と家庭・地域への取組について	3
6. 男女の人権について	4
7. 男女共同参画センターについて	5
8. 県の男女共同参画施策について	5
III. 調査結果	6
1. 回答者の属性	6
2. 男女平等の意識について	9
(1) 各分野の男女の地位の平等感	9
(2) 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うこと	16
3. 女性の参画について	18
(1) 今後女性が増える方が良いと思う職業・役職	18
(2) 女性の参画が少ない原因	21
4. 家庭生活について	24
(1) 家庭における夫婦の役割分担について	24
(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について	30
5. 就業について	33
(1) 女性が職業をもつことについての意識	33
(2) 現在の職業	36
(3) 今後希望する就労形態	39
(4) 職場における性別による処遇の違い	41
6. 仕事と家庭・地域への取組について	44
(1) 地域における活動への参加状況	44
(2) 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度	48
(3) 男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために必要なこと	54

7. 男女の人権について	59
(1) 配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験	59
(2) 10 歳代、20 歳代の交際相手の有無	63
(3) 10 歳代又は 20 歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験	64
(4) 暴力や嫌がらせ等についての相談先	67
(5) 相談しなかった（できなかった）理由	69
(6) 男女間における暴力を防止するために必要なこと	71
(7) テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現についての意識	73
8. 男女共同参画センターについて	75
(1) 「県男女共同参画センター」の認知・利用経験	75
(2) 男女共同参画の拠点施設として「県男女共同参画センター」に期待する役割 ...	78
9. 県の男女共同参画施策について	80
(1) 男女共同参画の関連用語の認知	80
(2) 男女共同参画社会を形成していくために県が力を入れるべきこと	84
10. 男女共同参画社会の実現に向けた意見・要望	88

I. 調査の概要

(1) 調査目的

県民の男女平等や男女の人権、家庭・地域などに対する意識と実態を把握し、男女共同参画社会づくりに向けた施策の推進を図るための基礎資料を得る目的で実施した。

(2) 調査対象

① 対象

20歳以上の鹿児島県民

② 抽出方法

住民基本台帳に基づき無作為で抽出

③ サンプル数

- ・配布数：5,000
- ・回収数：1,839
- ・回収率：36.8%

(3) 調査時期

平成23年5月30日（月）～6月20日（月）

(4) 調査方法

郵送による配布・回収

[調査結果利用上の注意]

- ① 集計は、百分比の小数点以下第2位を四捨五入している。したがって、回答比率の合計は必ずしも100%にならない場合がある。
- ② 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は100%を超える場合がある。
- ③ 文中の選択肢の表記は「 」で行っている。
- ④ 2つ以上の選択肢を合計して表している比率については、各選択肢の基数（標本数）の合計をもとに算出しているため、選択肢個々の回答比率の合計とは、必ずしも同じにならない場合がある。

Ⅱ. 調査結果の概要

1. 男女平等の意識について

男女の地位が平等になっていると思うかを 6 つの分野について聞いたところ、「平等である」と答えた人の割合は「学校教育の中で」(64.4%) が最も高く、次いで「法律や制度で」(43.4%) となっている。

一方「男性の方が優遇されている」とする人の割合が高くなっているのは、「社会通念、慣習・しきたりなどで」(69.1%) が最も高く、次いで「地域社会の中で」(50.8%)、「家庭の中で」(48.8%) 「職場の中で」(48.4%)、の順となっており、依然として地域社会の中や職場の中などで男女の地位の不平等感が存在していると考えられる。

平成 13 年度『鹿児島の男女の意識に関する調査』(以下「平成 13 年度調査」という。)と、平成 19 年度『鹿児島の男女の意識に関する調査』(以下「平成 19 年度調査」という。)と比較してみると、いずれの項目についても「平等である」と答えた人の割合が増加している。

今後、男女が社会のあらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うことについては、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」(25.5%) と答えた人の割合が最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」(23.4%)、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」(16.5%) などの順となっている。

2. 女性の参画について

今後女性が増える方が良いと思う職業・役割については、「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」(44.3%) という回答が最も多く、次いで「都道府県、市町村の首長」(34.4%)、「企業の管理職」(31.7%)、「国家公務員・地方公務員の管理職」(31.4%) などの順となっている。

女性の参画が少ない原因については、「家庭生活との両立が困難であるため」(57.4%) という回答が最も多く、次いで「男性優位の組織運営がなされているため」(38.0%)、「家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため」(34.4%)、「女性の積極性が不十分であるため」(31.2%) などの順となっている。

3. 家庭生活について

家庭における夫婦の役割分担状況については、「夫と妻が分担」と答えた人の割合は「自治会、町内会、公民館など地域活動への参加」(31.4%) がもっとも高く、次いで「家事」(18.4%)、「育児」(17.5%)、「介護・看護」(16.2%) の順となっている。

また、「夫」という回答割合は、「自治会、町内会、公民館など地域活動への参加」(25.4%) が比較的高いのを除くと、他の項目の回答割合はいずれも 1 割に満たない。

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべき」という考え方については、「肯定」(52.9%) の割合が「否定」(44.0%) の割合を 8.9 ポイント上回っており、男性の方がその傾向が強い。

前回調査と比較すると、「どちらかといえば賛成」という回答の割合が減少しているのに対し、「反対」、「どちらかといえば反対」という回答の割合が増加しており、「否定」的な考え方の人が

増加している。

また、内閣府調査と比較すると、「どちらかといえば賛成」という回答が 11.4 ポイント上回っているのに対し、「反対」という回答が 9.2 ポイント下回っている。

4. 就業について

女性が職業をもつことについての意識については、「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」(50.1%)という回答が最も多く、次いで「子どもができてずっと職業を続ける方がよい」(29.9%)などの順となっている。「子どもができたら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」という回答の割合は女性の方が男性よりも 8.5 ポイント高くなっている。また、年代が若くなるほど「子どもができてずっと職業を続ける方がよい」という回答割合が高くなっており、特に男性にその傾向が強い。

また、「平成 13 年度調査」及び「平成 19 年度調査」と比較してみると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」と答えた人の割合は増加しており、逆に「子どもができたら職業をやめ、大きくなったら再び職業を持つ方がよい」と答えた人の割合は減少している。

現在、無職の人に、今後どのような形で働きたいか聞いたところ、「働くつもりはない(働くことができない)」と答えた人を除き、「パートタイム、アルバイト、嘱託」(19.9%)と答えた人の割合が最も高く、次いで「家事に従事」(8.0%)、「常勤(短時間勤務等)」(7.9%)「常勤(フルタイム)」(6.6%)などの順になっている。

職場における性別による処遇の違いについては、「特に性別により処遇が異なっていることはない」という回答を除くと、「賃金に格差がある」(22.0%)という回答の割合が最も高く、次いで「女性に補助的な業務や雑用に従事させる傾向がある」(19.1%)、「昇進、昇格に格差がある」(14.4%)、「管理職への登用に差がある」(13.2%)、「募集、採用の機会に格差がある」(12.0%)などの順となっている。性別でみると、「賃金に格差がある」という回答割合は、女性が男性を 5.7 ポイント上回っているのに対し、「昇進、昇格に格差がある」、「管理職への登用に差がある」、「募集・採用の機会に格差がある」といった項目の回答割合は、男性が女性を上回っている。

また、性・年代別で見ると、「特に性別により処遇が異なっていることはない」という回答割合は、男性では年代が若くなるほどが高くなるのに対し、女性では年代が高くなるほど回答割合が高くなっており、年代別の回答傾向は、男性と女性ではまったく異なっている。

5. 仕事と家庭・地域への取組について

地域における活動への参加状況については、「自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動」(36.7%)という回答の割合が最も高く、次いで「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」(16.9%)、「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」(15.0%)、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動に関わる団体活動」(13.5%)などの順となっている。

男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度について、現状では、「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」(23.5%)という回答割合が最も高く、次いで「家庭生活」を優先している」(22.0%)、「仕事」を優先している」(18.7%)などの順となっている。また、男性では「仕事」を優先している」という回答割合が女性を 15.0 ポイント上回るのに対し、女性では「家庭生活」を優先している」という回答割合が男性を 16.8 ポイント上回っており、仕事優先の男性、家庭優

先の女性という回答傾向の違いがみられる。

一方、希望については、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」(25.3%)という回答割合が最も高く、次いで「「家庭生活」を優先したい」(23.4%)、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」(17.5%)などの順となっている。

現状と比べると、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」という回答割合が6.7ポイント高くなっているのに対し、「「仕事」を優先したい」という回答割合が13.0ポイント低くなっている。また、男女ともに「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」という回答割合が高くなっているのに対し、特に男性で「「仕事」を優先したい」という回答が大きく減少している。

男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加するために必要なことについては、「夫婦や家族間でお互いの立場を理解しコミュニケーションをよく図ること」(50.1%)という回答の割合が最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができる育て方をする事」(38.7%)、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(34.5%)などの順となっている。

6. 男女の人権について

配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験については、「何度もあった」(10.7%)と「1、2度あった」(17.9%)をあわせて、これまで結婚したことがある人の約3割が経験があると回答している。その内容としては、「身体に対する暴行」は19.9%、「精神的嫌がらせ・脅迫」は16.7%、「性的な行為の強要」は12.6%が、それぞれ経験があると回答している。また、性別で見ると、暴力や嫌がらせを受けた経験は、女性(35.6%)が男性(19.1%)を大きく上回っており、「身体に対する暴行」は4人に1人に当たる24.5%が経験している。

暴力や嫌がらせ等を受けた経験がある人に、相談先について聞いたところ、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」(29.3%)、「友人・知人に相談した」(13.7%)、「家族や親戚に相談した」(12.5%)などの順になっている。

暴力や嫌がらせ等を受けた経験がある人を対象に、相談できなかった理由について聞いたところ、「相談するほどのことではないと思ったから」(38.8%)という回答の割合が最も高く、次いで「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」(29.9%)、「相談してもむだだと思ったから」(27.9%)、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」(25.2%)、「自分にも悪いところがあると思ったから」(19.0%)などの順になっている。

男女間における暴力を防止するために必要なことについては、「学校で児童・生徒・学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(55.4%)、という回答の割合が最も高く、次いで「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止する教育を行う」(51.5%)、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(42.9%)などの順になっている。

テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現についての意識については、「過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない」(53.6%)という回答の割合が最も高く、次いで「女性の性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく」(36.1%)、「性に関する社会規範が損なわれている」(33.4%)などの順になっている。

7. 男女共同参画センターについて

「県男女共同参画センター」の認知・利用経験については、「利用したことがある」と「利用したことはないが知っている」を合わせた回答割合は、「意識啓発・人材育成事業」(30.7%)、「相談事業」(31.6%)、「情報提供事業」(28.1%)となっている。

一方、「知らない」という回答割合は、「意識啓発・人材育成事業」(65.6%)、「相談事業」(63.0%)、「情報提供事業」(66.2%)となっている。

「県男女共同参画センター」に期待する役割については、「女性の再就職やキャリアアップなどを支援するための講座の開催」(25.0%)という回答の割合が最も高く、次いで「男女共同参画を各地域で推進する人材の育成」(21.9%)、「男女共同参画に関する講演会、フォーラム等の開催」(20.9%)、「男女共同参画に関する多様な学習機会の提供」(20.2%)、「企業や学校等を対象とした男女共同参画を推進するためのセミナーの開催」(19.2%)の順となっている。

なお、「女性の再就職やキャリアアップなどを支援するための講座の開催」という回答割合については、女性が男性を12.0ポイント上回っている。

8. 県の男女共同参画施策について

男女共同参画の関連用語の認知について聞いたところ、「よく知っている」という回答割合が高い用語は、「男女雇用機会均等法」(33.5%)、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)」(19.5%)で、他の用語は1割に満たない。

また、これらの用語についてはいずれも半数以上の人々が「知らない」と回答している。

男女共同参画社会を形成していくために県が力を入れるべきことについて聞いたところ、「子どものころから、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」(49.4%)という回答割合が最も高く、次いで「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」(33.9%)、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」(30.0%)などの順となっている。

Ⅲ. 調査結果

1. 回答者の属性

① 性別

性別は、「男性」が42.6%、「女性」が56.5%となっている。

② 年齢

年齢は、「70歳以上」が23.7%で最も多く、次いで「60歳代」(22.3%)、「50歳代」(20.1%)、「40歳代」(14.5%)、「30歳代」(12.1%)、「20歳代」(6.5%)の順となっている。

③ 結婚の有無

結婚の有無は、「結婚している」が72.3%で最も多く、次いで「離別・死別」(13.9%)、「未婚」(12.9%)の順となっている。

④ 世帯構成

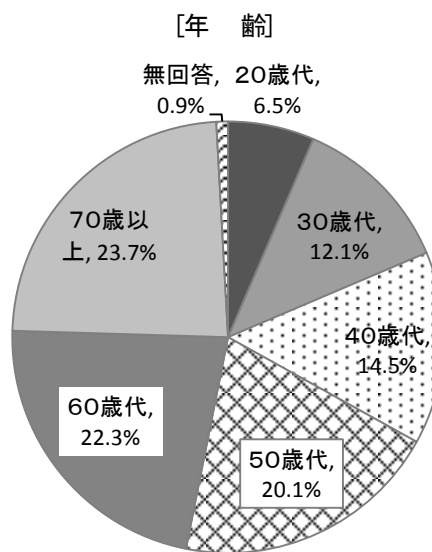
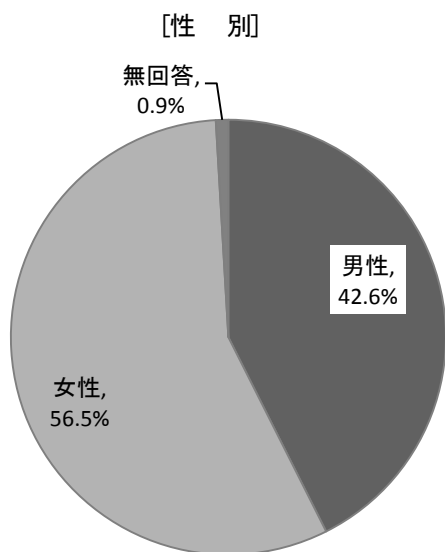
世帯構成は、「夫婦世帯」が40.1%で最も多く、次いで「二世帯世帯」(39.0%)、「単身世帯」(13.1%)、「三世帯世帯」(3.9%)、「その他」(2.6%)の順となっている。

⑤ 夫婦の就労状況

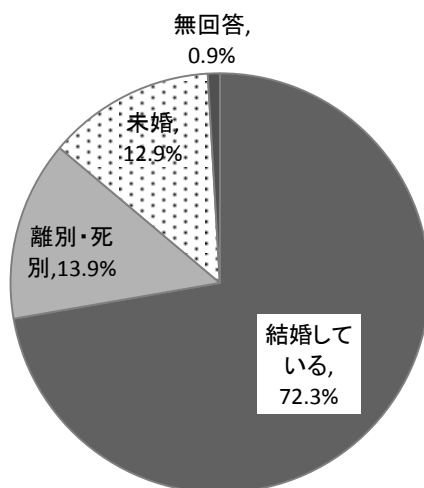
就労状況は、「共働き」が45.1%、「非共働き」が53.7%となっている。

⑥ 居住地域

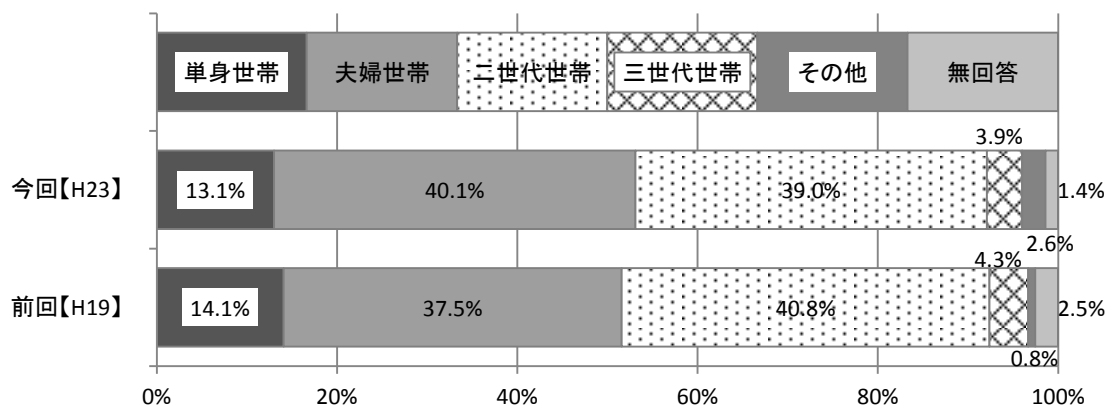
居住地域は、「鹿児島地区」が40.9%で最も多く、次いで「姶良・伊佐地区」(14.6%)、「北薩地区」、「大隅地区」(ともに12.7%)、「南薩地区」(7.6%)、「大島地区」(5.2%)、「熊毛地区」(2.1%)の順となっている。



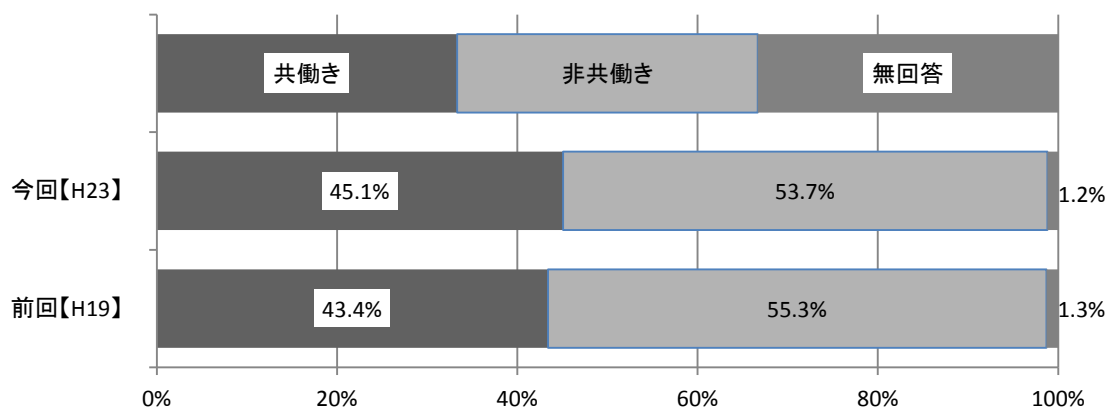
[結婚の有無]



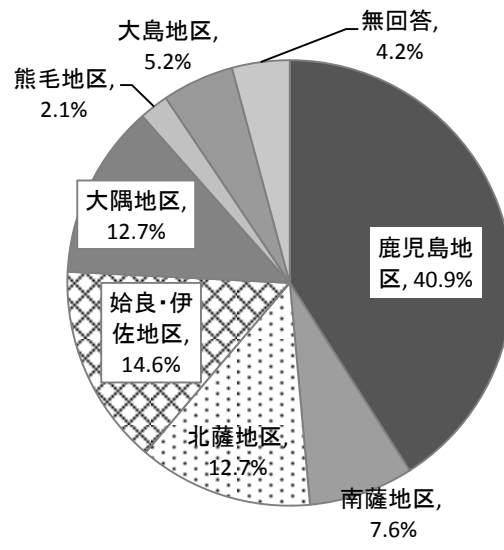
[世帯構成]



[夫婦の就労状況]



[居住地域]



2. 男女平等の意識について

(1) 各分野の男女の地位の平等感

【全員が回答】

問1 あなたは、次のような分野で男女の地位が平等になっていると思いますか。(1つずつ〇)

[全体] (図表 2-1)

家庭や職場などの各分野で男女の地位が平等になっていると思うか聞いたところ、「平等である」という回答の割合は、「学校教育の中で」(64.4%)が最も高く、次いで「法律や制度で」(43.4%)、「家庭の中で」(38.6%)、「地域社会の中で」(29.6%)、「職場の中で」(27.6%)、「社会通念、慣習・しきたりなどで」(15.9%)の順となっている。

一方、「男性の方が優遇されている」(=「男性の方が非常に優遇されている」+「どちらかといえば男性の方が優遇されている」)という回答の割合は、「社会通念、慣習・しきたりなどで」(69.1%)が最も高く、次いで「地域社会の中で」(50.8%)、「家庭の中で」(48.8%)、「職場の中で」(48.4%)、「法律や制度で」(28.6%)、「学校教育の中で」(9.5%)の順となっている。

「社会通念、慣習・しきたりなどで」、「地域社会の中で」、「家庭の中で」、「職場の中で」については、男女の地位の不平等感が強いことがうかがわれる。

[性別／性・年代別] (図表 2-2、2-3)

性別でみると、「平等である」と回答した人の割合は、いずれの分野でも男性が女性を上回っており、「男性の方が優遇されている」と回答した人の割合は、いずれの分野でも女性が男性を上回っている。

特に、男女間での回答の差が大きいのは、「法律や制度で」で、「平等である」という回答は男性が女性を22.9ポイント上回っているのに対し、「男性の方が優遇されている」という回答は女性が男性を17.6ポイント上回っている。また、「社会通念、慣習・しきたりなどで」では、女性では「男性の方が優遇されている」という回答が、すべての世代を通して高い割合を示している。

一方、性・年代別でみると、「家庭の中で」については、男女ともに年代が若いほど「平等である」という回答割合が高くなり、「どちらかといえば男性の方が優遇されている」という回答割合が低くなっている。逆に、「法律や制度で」については、20歳代男性を除き、男女ともに年代が若いほど「どちらかといえば女性の方が優遇されている」という回答割合が高くなっている。また、「学校教育の中で」については、20歳代では「どちらかといえば女性の方が優遇されている」という回答割合が高くなっている。

[前回調査、内閣府調査との比較] (図表 2-4)

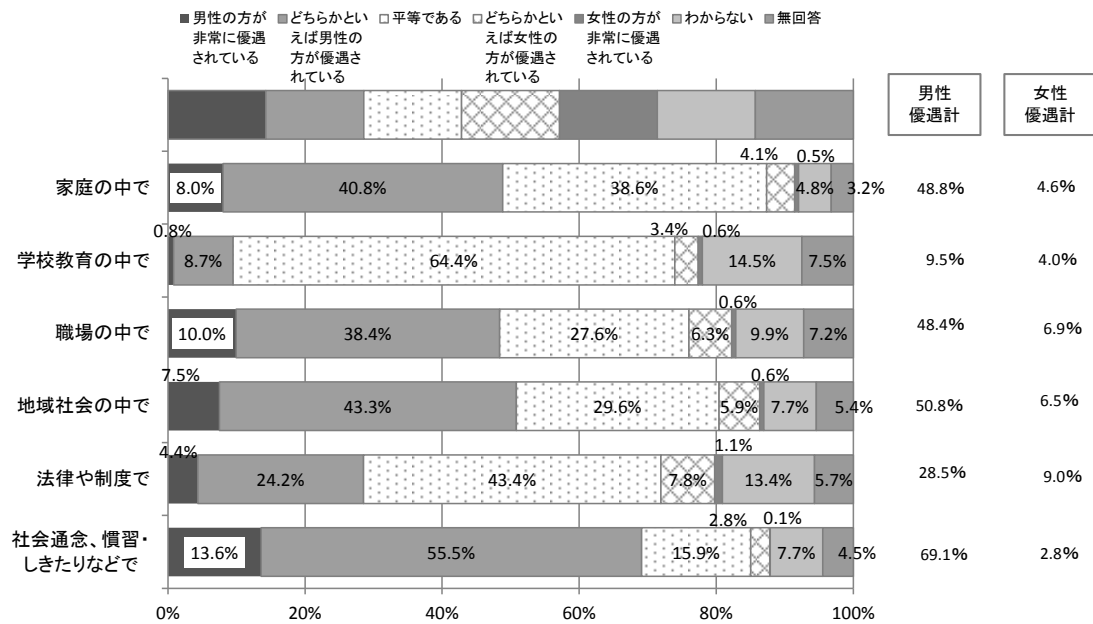
前回調査(平成19年度調査、以下「前回調査」という)と比較すると、「平等である」と回答した人の割合は、いずれの分野でも4ポイント以上高くなっている。

特に「職場の中で」(6.9ポイント)、「法律や制度で」(6.0ポイント)といった分野では高くなっている。

一方、内閣府調査(平成21年度調査、以下「内閣府調査」という)と比較すると、「職場の中で」を除くとすべての分野で「平等である」という回答の割合が低くなっている。

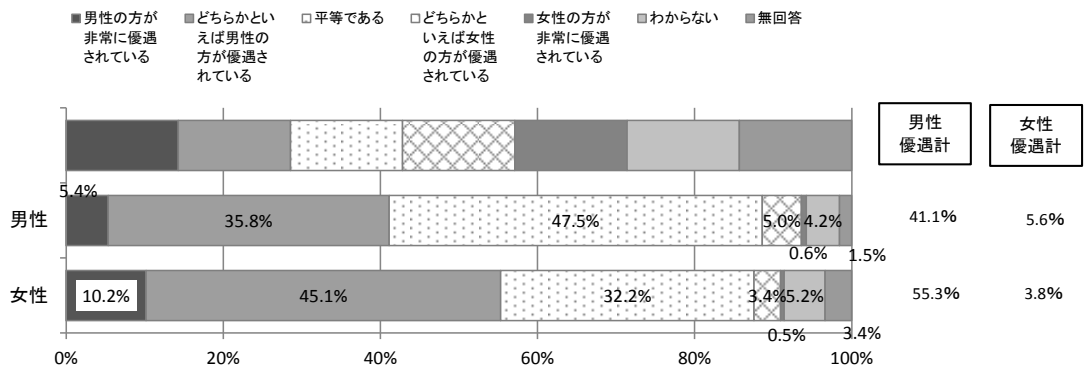
特に、「社会通念、慣習・しきたりなどで」(4.7ポイント)では差が大きい。

図表 2-1 各分野の男女の地位の平等感

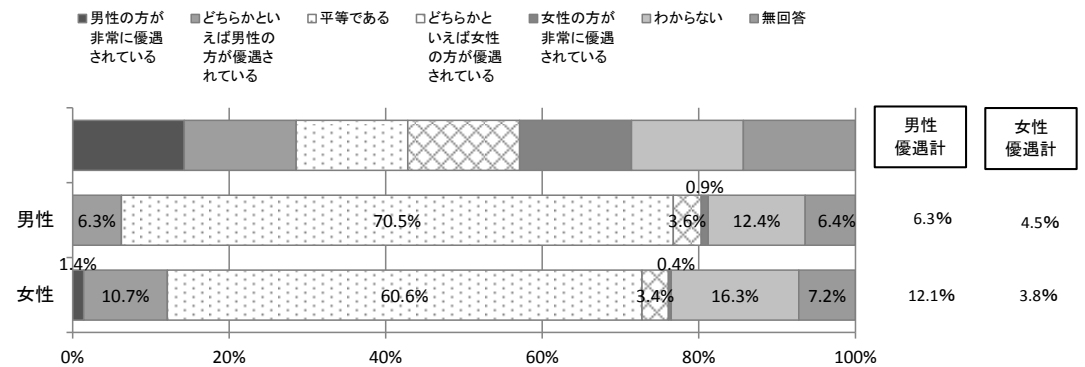


図表 2-2 各分野の男女の地位の平等感【性別】

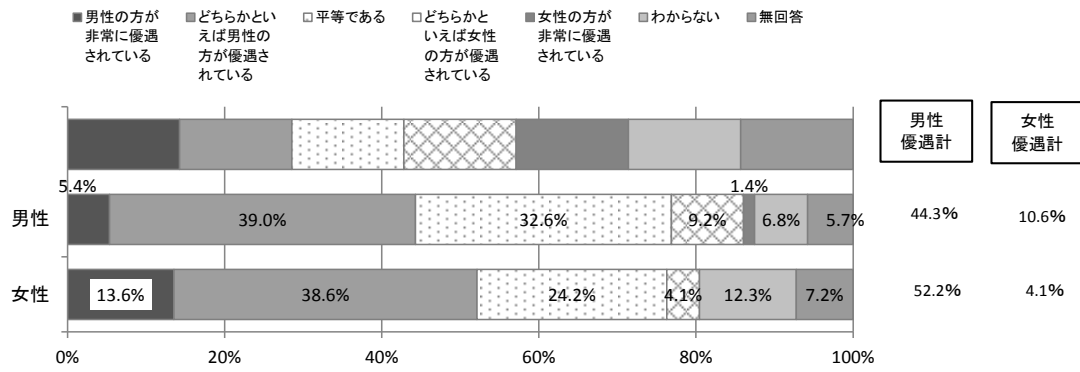
①家庭の中で



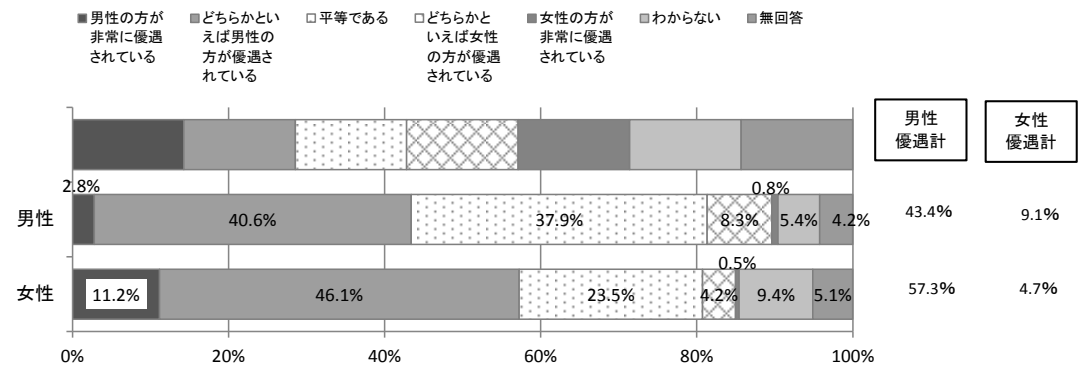
②学校教育の中で



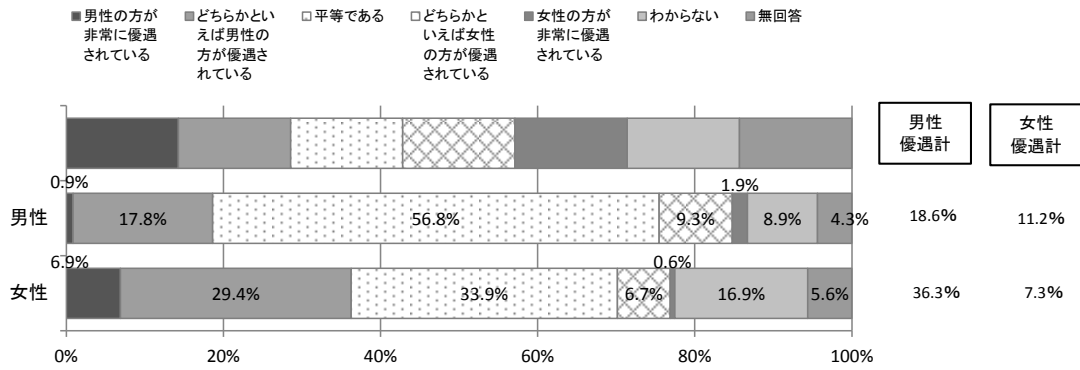
③職場の中で



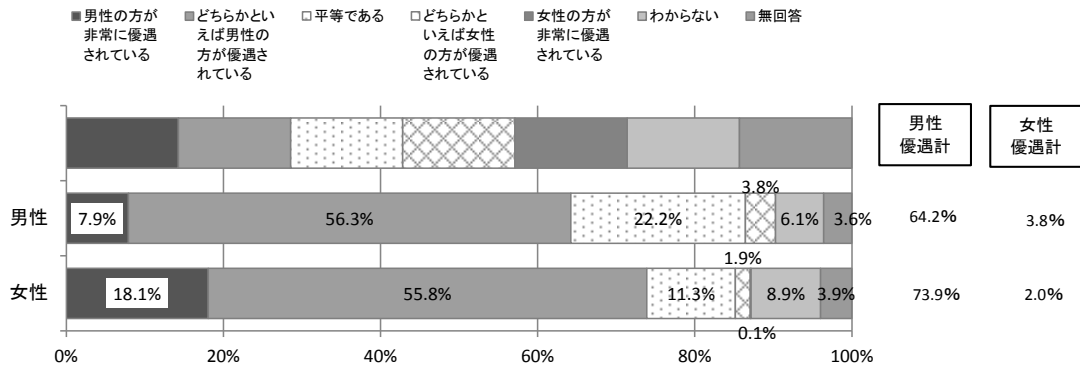
④地域社会の中で



⑤法律や制度で



⑥社会通念、慣習・しきたりなどで



図表 2-3 各分野の男女の地位の平等感【性・年代別】

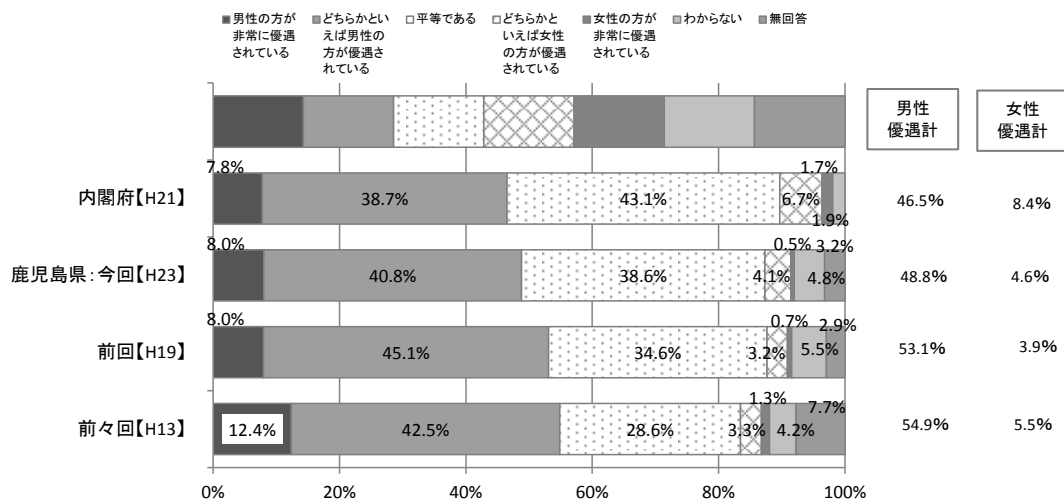
性・年代別	サンプル数	①家庭の中で							②学校教育の中で						
		優遇されている方が非常に	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
総数	1,839	148	750	709	75	10	88	59	15	160	1,185	63	11	267	138
	100.0%	8.0%	40.8%	38.6%	4.1%	0.5%	4.8%	3.2%	0.8%	8.7%	64.4%	3.4%	0.6%	14.5%	7.5%
男性	783	42	280	372	39	5	33	12	0	49	552	28	7	97	50
	100.0%	5.4%	35.8%	47.5%	5.0%	0.6%	4.2%	1.5%	0.0%	6.3%	70.5%	3.6%	0.9%	12.4%	6.4%
20歳代	51	0	11	29	3	1	7	0	0	39	4	2	6	0	
	100.0%	0.0%	21.6%	56.9%	5.9%	2.0%	13.7%	0.0%	0.0%	76.5%	7.8%	3.9%	11.8%	0.0%	
30歳代	85	2	24	41	9	0	8	1	0	57	7	1	14	1	
	100.0%	2.4%	28.2%	48.2%	10.6%	0.0%	9.4%	1.2%	0.0%	67.1%	8.2%	1.2%	16.5%	1.2%	
40歳代	106	2	38	51	5	2	6	2	0	9	76	5	0	12	4
	100.0%	1.9%	35.8%	48.1%	4.7%	1.9%	5.7%	1.9%	0.0%	8.5%	71.7%	4.7%	0.0%	11.3%	3.8%
50歳代	165	13	62	77	11	0	1	0	0	10	129	4	2	16	4
	100.0%	7.9%	37.6%	46.7%	6.7%	0.0%	0.6%	0.0%	0.0%	6.1%	78.2%	2.4%	1.2%	9.7%	2.4%
60歳代	188	11	74	87	6	2	5	3	0	15	134	5	1	21	12
	100.0%	5.9%	39.4%	46.3%	3.2%	1.1%	2.7%	1.6%	0.0%	8.0%	71.3%	2.7%	0.5%	11.2%	6.4%
70歳以上	188	14	71	87	5	0	6	5	0	10	117	3	1	28	29
	100.0%	7.4%	37.8%	46.3%	2.7%	0.0%	3.2%	2.7%	0.0%	5.3%	62.2%	1.6%	0.5%	14.9%	15.4%
女性	1,039	106	469	335	35	5	54	35	15	630	35	4	169	75	
	100.0%	10.2%	45.1%	32.2%	3.4%	0.5%	5.2%	3.4%	1.4%	10.7%	60.6%	3.4%	0.4%	16.3%	7.2%
20歳代	68	6	20	35	2	0	5	0	0	5	45	5	0	12	1
	100.0%	8.8%	29.4%	51.5%	2.9%	0.0%	7.4%	0.0%	0.0%	7.4%	66.2%	7.4%	0.0%	17.6%	0.015
30歳代	138	12	67	48	2	0	8	1	1	98	5	0	22	0	
	100.0%	8.7%	48.6%	34.8%	1.4%	0.0%	5.8%	0.7%	0.7%	8.7%	71.0%	3.6%	0.0%	15.9%	0.0%
40歳代	159	23	67	54	7	0	8	0	3	16	108	12	0	17	3
	100.0%	14.5%	42.1%	34.0%	4.4%	0.0%	5.0%	0.0%	1.9%	10.1%	67.9%	7.5%	0.0%	10.7%	1.9%
50歳代	204	25	99	62	5	2	6	5	8	32	125	5	2	23	9
	100.0%	12.3%	48.5%	30.4%	2.5%	1.0%	2.9%	2.5%	3.9%	15.7%	61.3%	2.5%	1.0%	11.3%	4.4%
60歳代	223	22	116	60	11	2	8	4	1	28	138	5	1	38	12
	100.0%	9.9%	52.0%	26.9%	4.9%	0.9%	3.6%	1.8%	0.4%	12.6%	61.9%	2.2%	0.4%	17.0%	5.4%
70歳以上	246	17	100	76	8	1	19	25	2	18	115	3	1	57	50
	100.0%	6.9%	40.7%	30.9%	3.3%	0.4%	7.7%	10.2%	0.8%	7.3%	46.7%	1.2%	0.4%	23.2%	20.3%
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

性・年代別	サンプル数	③職場の中で							④地域社会の中で						
		優遇されている方が非常に	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答
総数	1,839	183	707	508	115	11	182	133	138	797	544	109	11	141	99
	100.0%	10.0%	38.4%	27.6%	6.3%	0.6%	9.9%	7.2%	7.5%	43.3%	29.6%	5.9%	0.6%	7.7%	5.4%
男性	783	42	305	255	72	11	53	45	22	318	297	65	6	42	33
	100.0%	5.4%	39.0%	32.6%	9.2%	1.4%	6.8%	5.7%	2.8%	40.6%	37.9%	8.3%	0.8%	5.4%	4.2%
20歳代	51	2	12	19	12	2	4	0	0	14	24	8	1	4	0
	100.0%	3.9%	23.5%	37.3%	23.5%	3.9%	7.8%	0.0%	0.0%	27.5%	47.1%	15.7%	2.0%	7.8%	0.0%
30歳代	85	2	35	20	16	3	8	1	1	29	25	16	3	10	1
	100.0%	2.4%	41.2%	23.5%	18.8%	3.5%	9.4%	1.2%	1.2%	34.1%	29.4%	18.8%	3.5%	11.8%	1.2%
40歳代	106	3	36	35	20	4	6	2	2	28	49	17	1	7	2
	100.0%	2.8%	34.0%	33.0%	18.9%	3.8%	5.7%	1.9%	1.9%	26.4%	46.2%	16.0%	0.9%	6.6%	1.9%
50歳代	165	14	68	61	14	1	5	2	3	78	62	9	1	5	2
	100.0%	8.5%	41.2%	37.0%	8.5%	0.6%	3.0%	1.2%	4.8%	47.3%	37.6%	5.5%	0.6%	3.0%	1.2%
60歳代	188	12	85	62	6	1	10	12	6	99	58	10	0	7	8
	100.0%	6.4%	45.2%	33.0%	3.2%	0.5%	5.3%	6.4%	3.2%	52.7%	30.9%	5.3%	0.0%	3.7%	4.3%
70歳以上	188	9	69	58	4	0	20	28	5	70	79	5	0	9	20
	100.0%	4.8%	36.7%	30.9%	2.1%	0.0%	10.6%	14.9%	2.7%	37.2%	42.0%	2.7%	0.0%	4.8%	10.6%
女性	1,039	141	401	251	43	0	128	75	116	479	244	44	5	98	53
	100.0%	13.6%	38.6%	24.2%	4.1%	0.0%	12.3%	7.2%	11.2%	46.1%	23.5%	4.2%	0.5%	9.4%	5.1%
20歳代	68	9	31	15	5	0	7	1	4	23	18	5	0	18	0
	100.0%	13.2%	45.6%	22.1%	7.4%	0.0%	10.3%	1.5%	5.9%	33.8%	26.5%	7.4%	0.0%	26.5%	0.0%
30歳代	138	28	56	30	9	0	12	3	16	64	34	6	0	18	0
	100.0%	20.3%	40.6%	21.7%	6.5%	0.0%	8.7%	2.2%	11.6%	46.4%	24.6%	4.3%	0.0%	13.0%	0.0%
40歳代	159	23	61	53	11	0	11	0	21	87	30	6	0	13	2
	100.0%	14.5%	38.4%	33.3%	6.9%	0.0%	6.9%	0.0%	13.2%	54.7%	18.9%	3.8%	0.0%	8.2%	1.3%
50歳代	204	32	93	56	6	0	11	6	31	109	38	10	2	7	7
	100.0%	15.7%	45.6%	27.5%	2.9%	0.0%	5.4%	2.9%	15.2%	53.4%	18.6%	4.9%	1.0%	3.4%	3.4%
60歳代	223	30	91	61	8	0	23	10	26	106	64	8	1	14	4
	100.0%	13.5%	40.8%	27.4%	3.6%	0.0%	10.3%	4.5%	11.7%	47.5%	28.7%	3.6%	0.4%	6.3%	1.8%
70歳以上	246	18	69	36	4	0	64	55	17	90	60	9	2	28	40
	100.0%	7.3%	28.0%	14.6%	1.6%	0.0%	26.0%	22.4%	6.9%	36.6%	24.4%	3.7%	0.8%	11.4%	16.3%
無回答	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

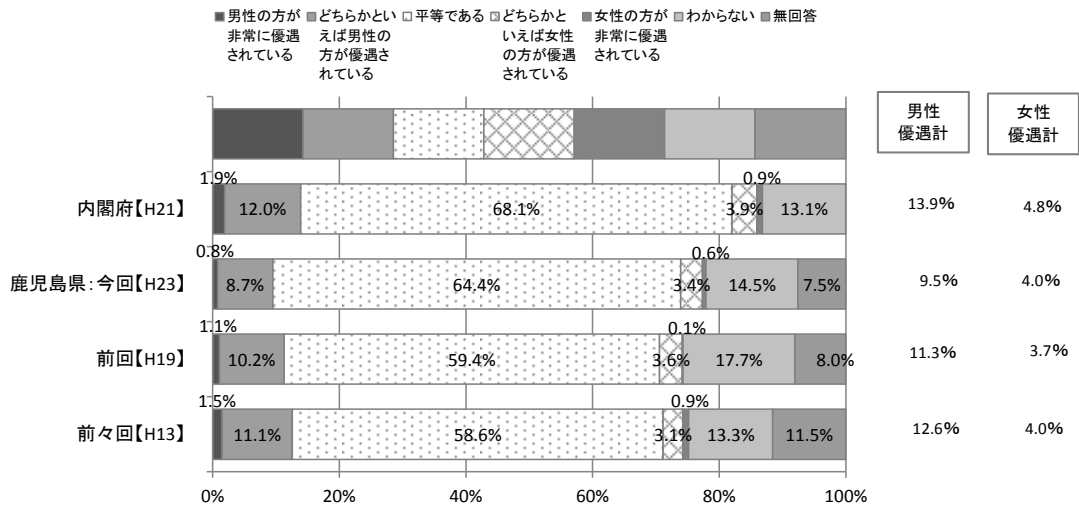
	サンプル数	⑤法律や制度で						⑥社会通念、慣習・しきたりなどで								
		優遇されている男性の方が非常に	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	男性の方が非常に優遇されている	どちらかといえば男性の方が優遇されている	平等である	どちらかといえば女性の方が優遇されている	女性の方が非常に優遇されている	わからない	無回答	
総数	1,839	80	445	798	144	21	247	104	250	1,021	293	51	1	141	82	
	100.0%	4.4%	24.2%	43.4%	7.8%	1.1%	13.4%	5.7%	13.6%	55.5%	15.9%	2.8%	0.1%	7.7%	4.5%	
性・年代別	男性	783	7	139	445	73	15	70	34	62	441	174	30	0	48	28
		100.0%	0.9%	17.8%	56.8%	9.3%	1.9%	8.9%	4.3%	7.9%	56.3%	22.2%	3.8%	0.0%	6.1%	3.6%
	20歳代	51	0	9	28	5	2	7	0	1	22	15	3	0	10	0
		100.0%	0.0%	17.6%	54.9%	9.8%	3.9%	13.7%	0.0%	2.0%	43.1%	29.4%	5.9%	0.0%	19.6%	0.0%
	30歳代	85	0	17	33	18	6	10	1	6	48	14	10	0	6	1
		100.0%	0.0%	20.0%	38.8%	21.2%	7.1%	11.8%	1.2%	7.1%	56.5%	16.5%	11.8%	0.0%	7.1%	1.2%
	40歳代	106	1	21	56	18	1	7	2	9	65	20	6	0	4	2
		100.0%	0.9%	19.8%	52.8%	17.0%	0.9%	6.6%	1.9%	8.5%	61.3%	18.9%	5.7%	0.0%	3.8%	1.9%
	50歳代	165	2	34	102	18	1	7	1	15	104	31	5	0	9	1
		100.0%	1.2%	20.6%	61.8%	10.9%	0.6%	4.2%	0.6%	9.1%	63.0%	18.8%	3.0%	0.0%	5.5%	0.6%
	60歳代	188	1	37	108	9	3	22	8	17	114	37	4	0	8	8
		100.0%	0.5%	19.7%	57.4%	4.8%	1.6%	11.7%	4.3%	9.0%	60.6%	19.7%	2.1%	0.0%	4.3%	4.3%
	70歳以上	188	3	21	118	5	2	17	22	14	88	57	2	0	11	16
		100.0%	1.6%	11.2%	62.8%	2.7%	1.1%	9.0%	11.7%	7.4%	46.8%	30.3%	1.1%	0.0%	5.9%	8.5%
	女性	1,039	72	305	352	70	6	176	58	188	580	117	20	1	92	41
		100.0%	6.9%	29.4%	33.9%	6.7%	0.6%	16.9%	5.6%	18.1%	55.8%	11.3%	1.9%	0.1%	8.9%	3.9%
	20歳代	68	1	19	15	13	0	20	0	9	40	5	4	0	10	0
	100.0%	1.5%	27.9%	22.1%	19.1%	0.0%	29.4%	0.0%	13.2%	58.8%	7.4%	5.9%	0.0%	14.7%	0.0%	
30歳代	138	6	48	52	14	0	17	1	26	83	17	3	0	9	0	
	100.0%	4.3%	34.8%	37.7%	10.1%	0.0%	12.3%	0.7%	18.8%	60.1%	12.3%	2.2%	0.0%	6.5%	0.0%	
40歳代	159	14	52	46	14	1	32	0	41	91	14	1	1	11	0	
	100.0%	8.8%	32.7%	28.9%	8.8%	0.6%	20.1%	0.0%	25.8%	57.2%	8.8%	0.6%	0.6%	6.9%	0.0%	
50歳代	204	25	72	67	12	2	18	8	56	115	14	5	0	10	4	
	100.0%	12.3%	35.3%	32.8%	5.9%	1.0%	8.8%	3.9%	27.5%	56.4%	6.9%	2.5%	0.0%	4.9%	0.02	
60歳代	223	10	68	89	14	1	35	6	28	138	31	2	0	20	4	
	100.0%	4.5%	30.5%	39.9%	6.3%	0.4%	15.7%	2.7%	12.6%	61.9%	13.9%	0.9%	0.0%	9.0%	1.8%	
70歳以上	246	15	46	83	3	2	54	43	27	113	36	5	0	32	33	
	100.0%	6.1%	18.7%	33.7%	1.2%	0.8%	22.0%	17.5%	11.0%	45.9%	14.6%	2.0%	0.0%	13.0%	13.4%	
無回答	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

図表 2-4 各分野の男女の地位の平等感【前回調査、内閣府調査との比較】

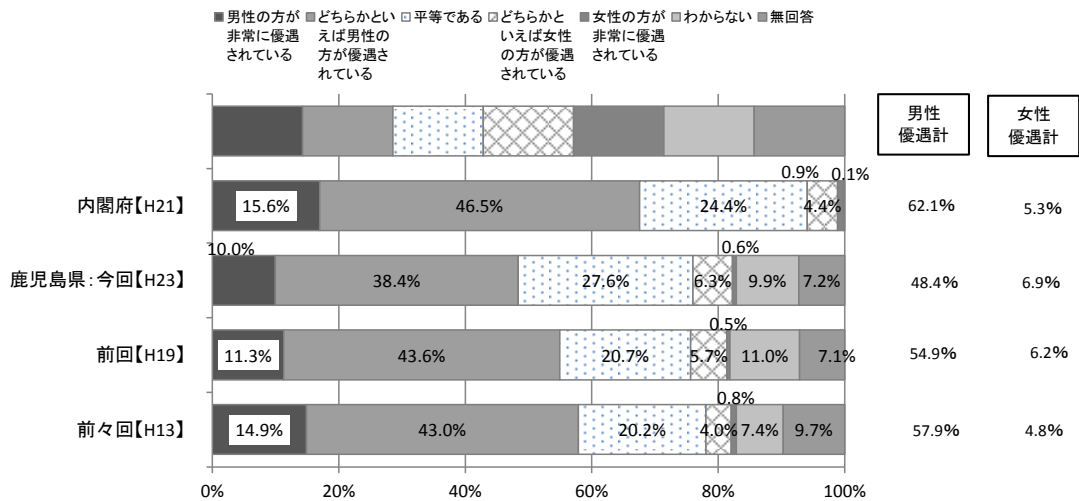
①家庭の中で



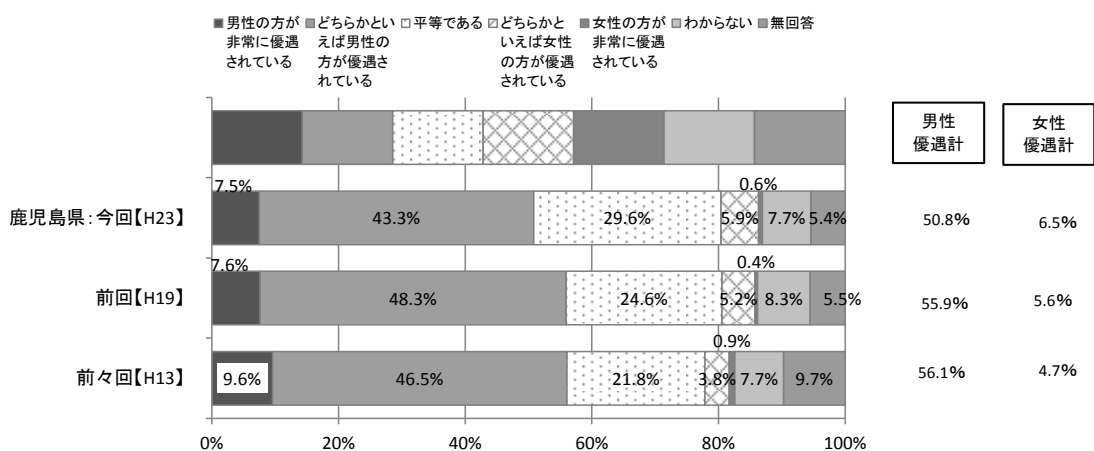
②学校教育の中で



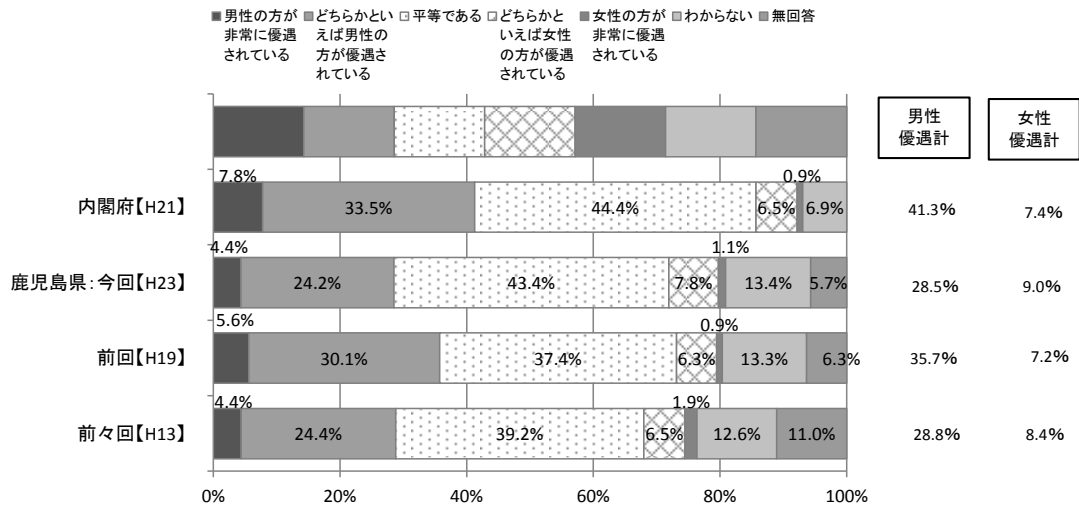
③職場の中で



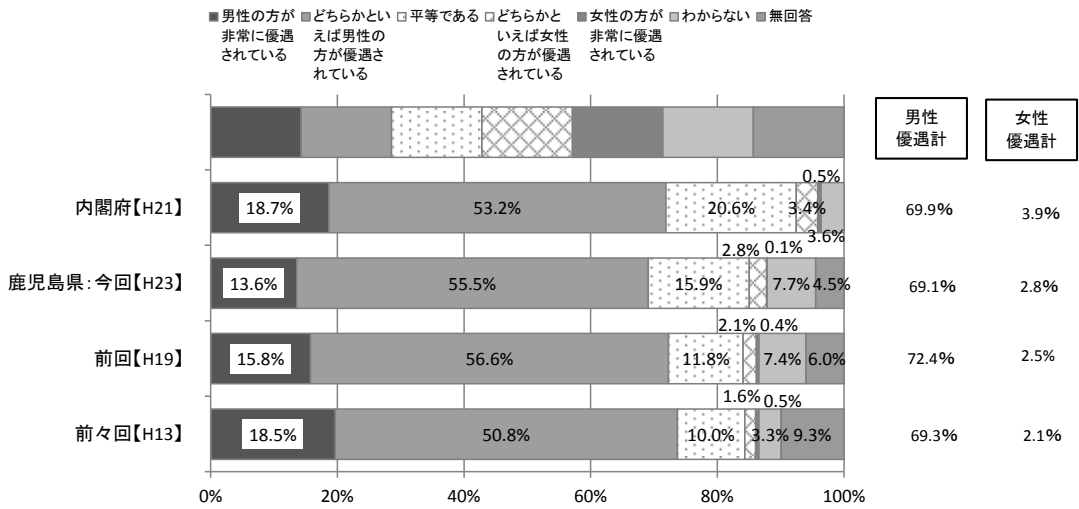
④地域社会の中で



⑤法律や制度で



⑥社会通念、慣習・しきたりなどで



(2) 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うこと

【全員が回答】

問2 あなたは、今後、男女が社会のあらゆる分野でもっと平等になるために、何が最も重要だと思いますか。(1つずつ〇)

【全体】(図表 2-5)

今後、男女があらゆる分野で平等になるために最も重要なことについて聞いたところ、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」(25.5%)という回答が最も高く、次いで「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」(23.4%)、「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」(16.5%)などの順となっている。

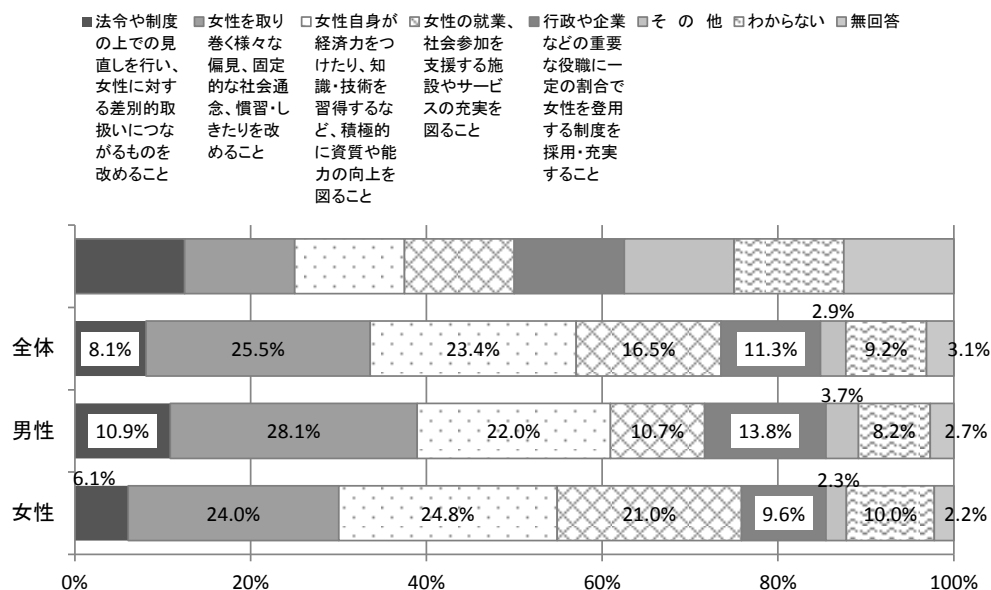
【性別／性・年代別】(図表 2-5、2-6)

性別で見ると、男性では「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」と回答した人の割合が最も高いが、女性では「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」という回答が最も高くなっている。

また、「女性を取り巻く様々な偏見、固定的な社会通念、慣習・しきたりを改めること」や「行政や企業などの重要や役職に一定の割合で女性を登用する制度を採用・充実すること」という回答については、男性が女性より回答割合が高いのに対し、「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」や「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」という回答については、女性が男性より回答割合が高くなっており、回答傾向に違いがみられる。

一方、性・年代別で見ると、男女ともに年代が上がるほど「女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなど、積極的に資質や能力の向上を図ること」という回答割合が高くなっている。逆に、男女ともに年代が若くなるほど「女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実を図ること」という回答割合が高くなっている。

図表 2-5 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うこと



図表 2-6 男女が社会のあらゆる分野で平等になるために最も重要だと思うこと【性・年代別】

	サンプル数	法的な改正を行うこと	法令や制度の上での見直し	女性を取り巻く様々な偏見・固定的な社会通念、慣習	女性自身が経済力をつけたり、知識・技術を習得するなどの積極的な資質や能力の向上を図ること	女性の就業、社会参加を支援する施設やサービスの充実	行政や企業などの重要な役職に一定割合で女性を登用する制度の採用・充実	その他	わからない	無回答
総数	1,839 100.0%	149 8.1%	469 25.5%	431 23.4%	303 16.5%	208 11.3%	53 2.9%	169 9.2%	57 3.1%	
性・年代別	男性	783 100.0%	85 10.9%	220 28.1%	172 22.0%	84 10.7%	108 13.8%	29 3.7%	64 8.2%	21 2.7%
	20歳代	51 100.0%	6 11.8%	15 29.4%	11 21.6%	6 11.8%	3 5.9%	3 5.9%	6 11.8%	1 2.0%
	30歳代	85 100.0%	10 11.8%	21 24.7%	13 15.3%	13 15.3%	11 12.9%	10 11.8%	6 7.1%	1 1.2%
	40歳代	106 100.0%	10 9.4%	33 31.1%	16 15.1%	17 16.0%	10 9.4%	7 6.6%	10 9.4%	3 2.8%
	50歳代	165 100.0%	15 9.1%	57 34.5%	45 27.3%	15 9.1%	20 12.1%	5 3.0%	7 4.2%	1 0.6%
	60歳代	188 100.0%	13 6.9%	57 30.3%	48 25.5%	17 9.0%	33 17.6%	3 1.6%	15 8.0%	2 1.1%
	70歳以上	188 100.0%	31 16.5%	37 19.7%	39 20.7%	16 8.5%	31 16.5%	1 0.5%	20 10.6%	13 6.9%
	女性	1,039 100.0%	63 6.1%	249 24.0%	258 24.8%	218 21.0%	100 9.6%	24 2.3%	104 10.0%	23 2.2%
	20歳代	68 100.0%	3 4.4%	22 32.4%	15 22.1%	18 26.5%	7 10.3%	0 0.0%	3 4.4%	0 0.0%
	30歳代	138 100.0%	6 4.3%	36 26.1%	18 13.0%	49 35.5%	15 10.9%	5 3.6%	9 6.5%	0 0.0%
	40歳代	159 100.0%	9 5.7%	52 32.7%	27 17.0%	39 24.5%	16 10.1%	5 3.1%	8 5.0%	3 1.9%
	50歳代	204 100.0%	10 4.9%	69 33.8%	51 25.0%	38 18.6%	21 10.3%	4 2.0%	8 3.9%	3 1.5%
	60歳代	223 100.0%	15 6.7%	45 20.2%	75 33.6%	39 17.5%	21 9.4%	5 2.2%	19 8.5%	4 1.8%
	70歳以上	246 100.0%	20 8.1%	25 10.2%	72 29.3%	34 13.8%	20 8.1%	5 2.0%	57 23.2%	13 5.3%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%

3. 女性の参画について

(1) 今後女性が増える方が良いと思う職業・役職

【全員が回答】

問3 あなたは、次にあげるような職業や役職において、今後女性が増える方がよいと思うのはどれですか。(いくつでも○)

[全体] (図表 3-1)

今後女性が増える方が良いと思う職業・役割について聞いたところ、「国会議員、都道府県議会議員、市町村議会議員」(44.3%)という回答が最も高く、次いで「都道府県、市町村の首長」(34.4%)、「企業の管理職」(31.7%)、「国家公務員・地方公務員の管理職」(31.4%)、「起業家・経営者」(28.0%)、「学校の管理職」(25.1%)、「自治会長、町内会長等」(24.9%)などの順となっている。

[性別／性・年代別] (図表 3-2、3-3)

性別で見ると、「自治会長、町内会長等」という回答が男性では 31.9%なのに対し、女性では 19.6%と差がみられるが、性別による回答傾向の大きな違いはみられない。

一方、性・年代別で見ると、男女ともに年代が若くなるほど「企業の管理職」という回答割合が高くなっている。逆に、男女ともに年代が上がるほど「自治会長、町内会長等」という回答割合が高くなっている。

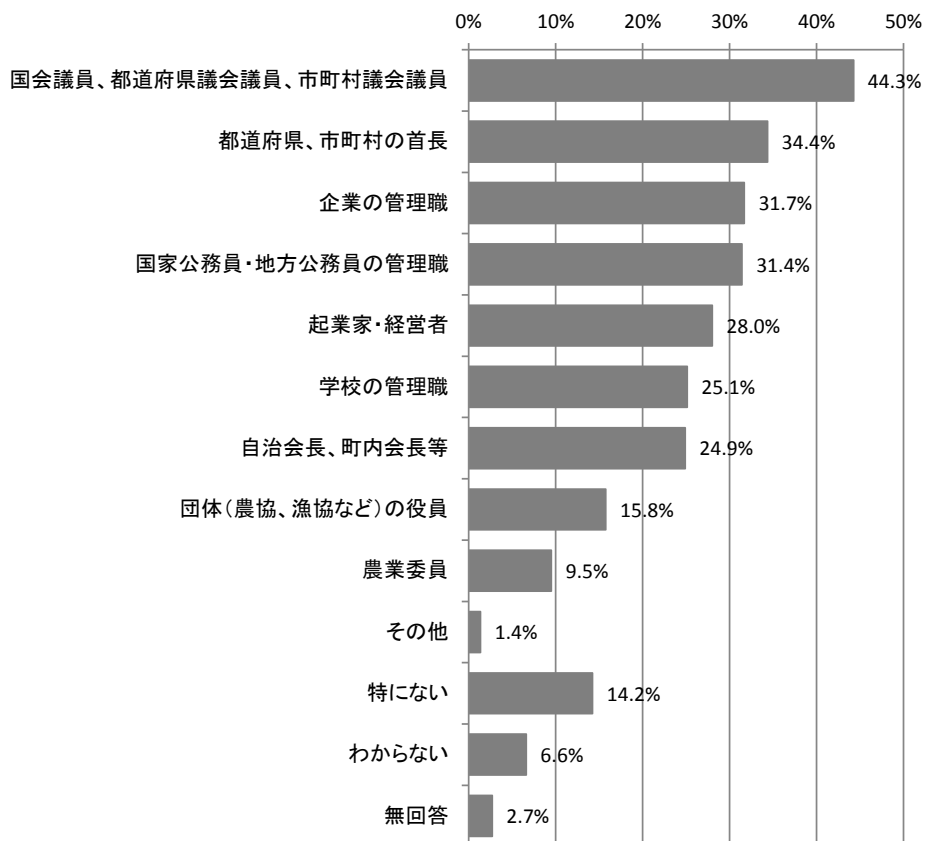
また、女性では年代が若くなるほど「学校の管理職」という回答割合が高くなっている。

[職業別] (図表 3-4)

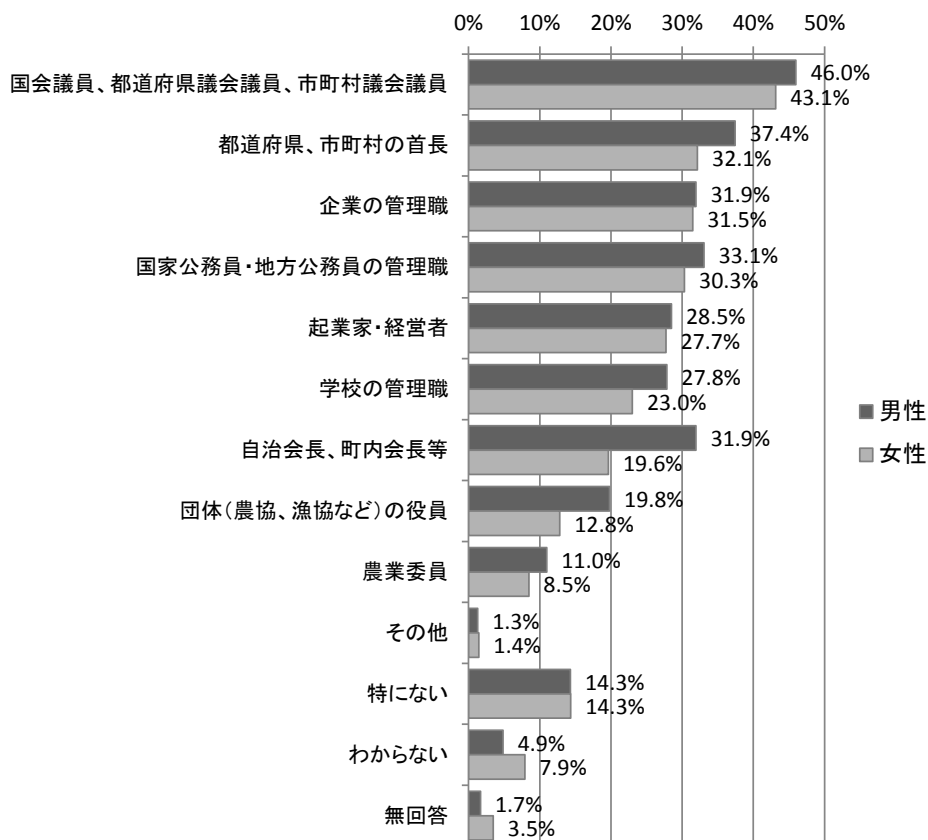
職業別で見ると、回答傾向に大きな差はみられない。

その中で、男性の自営業主では「自治会長、町内会長等」という回答が、男性の家族従業者では「国家公務員・地方公務員の管理職」という回答の割合が高くなっている。また、男性の無職では「自治会長、町内会長等」という回答が、女性の雇用者では「企業の管理職」という回答の割合が高くなっている、

図表 3-1 今後女性が増える方が良いと思う職業・役職



図表 3-2 今後女性が増える方が良いと思う職業・役職【性別】



図表 3-3 今後女性が増える方が良いと思う職業・役職【性・年代別】

	サンプル数	都道府県、市町村の首長	国会議員、市町村議会議員	国家公務員・地方公務員	学校の管理職	企業の管理職	起業家・経営者	団体の役員（農協、漁協など）	農業委員	自治会長、町内会長等	特にない	その他	わからない	無回答	
総数	1,839	632	814	578	462	583	515	290	175	458	262	25	122	50	
	100.0%	34.4%	44.3%	31.4%	25.1%	31.7%	28.0%	15.8%	9.5%	24.9%	14.2%	1.4%	6.6%	2.7%	
性・年代別	男性	783	293	360	259	218	250	223	155	86	250	112	10	38	13
		100.0%	37.4%	46.0%	33.1%	27.8%	31.9%	28.5%	19.8%	11.0%	31.9%	14.3%	1.3%	4.9%	1.7%
	20歳代	51	20	21	16	13	19	16	7	3	10	9	2	3	0
		100.0%	39.2%	41.2%	31.4%	25.5%	37.3%	31.4%	13.7%	5.9%	19.6%	17.6%	3.9%	5.9%	0.0%
	30歳代	85	40	32	31	25	33	32	21	8	19	12	0	4	0
		100.0%	47.1%	37.6%	36.5%	29.4%	38.8%	37.6%	24.7%	9.4%	22.4%	14.1%	0.0%	4.7%	0.0%
	40歳代	106	40	46	33	37	44	34	19	12	34	19	1	4	0
		100.0%	37.7%	43.4%	31.1%	34.9%	41.5%	32.1%	17.9%	11.3%	32.1%	17.9%	0.9%	3.8%	0.0%
	50歳代	165	68	81	61	47	49	44	33	20	50	29	2	8	1
		100.0%	41.2%	49.1%	37.0%	28.5%	29.7%	26.7%	20.0%	12.1%	30.3%	17.6%	1.2%	4.8%	0.6%
	60歳代	188	75	89	54	53	55	52	34	15	62	21	2	7	5
		100.0%	39.9%	47.3%	28.7%	28.2%	29.3%	27.7%	18.1%	8.0%	33.0%	11.2%	1.1%	3.7%	2.7%
	70歳以上	188	50	91	64	43	50	45	41	28	75	22	3	12	7
		100.0%	26.6%	48.4%	34.0%	22.9%	26.6%	23.9%	21.8%	14.9%	39.9%	11.7%	1.6%	6.4%	3.7%
	女性	1,039	334	448	315	239	327	288	133	88	204	149	15	82	36
		100.0%	32.1%	43.1%	30.3%	23.0%	31.5%	27.7%	12.8%	8.5%	19.6%	14.3%	1.4%	7.9%	3.5%
	20歳代	68	29	40	33	20	29	27	8	5	5	4	1	0	0
	100.0%	42.6%	58.8%	48.5%	29.4%	42.6%	39.7%	11.8%	7.4%	7.4%	5.9%	1.5%	0.0%	0.0%	
30歳代	138	57	60	39	37	50	36	13	5	14	17	1	11	2	
	100.0%	41.3%	43.5%	28.3%	26.8%	36.2%	26.1%	9.4%	3.6%	10.1%	12.3%	0.7%	8.0%	1.4%	
40歳代	159	62	73	58	53	79	61	28	15	30	20	3	11	3	
	100.0%	39.0%	45.9%	36.5%	33.3%	49.7%	38.4%	17.6%	9.4%	18.9%	12.6%	1.9%	6.9%	1.9%	
50歳代	204	74	113	72	50	77	60	31	22	42	27	2	10	1	
	100.0%	36.3%	55.4%	35.3%	24.5%	37.7%	29.4%	15.2%	10.8%	20.6%	13.2%	1.0%	4.9%	0.5%	
60歳代	223	69	96	61	48	54	60	32	21	59	31	3	12	10	
	100.0%	30.9%	43.0%	27.4%	21.5%	24.2%	26.9%	14.3%	9.4%	26.5%	13.9%	1.3%	5.4%	4.5%	
70歳以上	246	43	65	52	31	37	43	21	20	54	50	5	38	20	
	100.0%	17.5%	26.4%	21.1%	12.6%	15.0%	17.5%	8.5%	8.1%	22.0%	20.3%	2.0%	15.4%	8.1%	
無回答	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

図表 3-4 今後女性が増える方が良いと思う職業・役職【性・職業別】

	サンプル数	都道府県、市町村の首長	国会議員、市町村議会議員	国家公務員・地方公務員	学校の管理職	企業の管理職	起業家・経営者	団体の役員（農協、漁協など）	農業委員	自治会長、町内会長等	特にない	その他	わからない	無回答		
性別・職業別	男性	自営業主	147	48	68	47	47	41	47	28	20	53	14	4	7	2
			100.0%	32.7%	46.3%	32.0%	32.0%	27.9%	32.0%	19.0%	13.6%	36.1%	9.5%	2.7%	4.8%	1.4%
		家族従事者	25	9	14	12	6	7	5	6	7	11	2	1	1	0
			100.0%	36.0%	56.0%	48.0%	24.0%	28.0%	20.0%	24.0%	28.0%	44.0%	8.0%	4.0%	4.0%	0.0%
	雇用者	369	157	166	119	104	128	114	73	31	97	60	4	12	1	
		100.0%	42.5%	45.0%	32.2%	28.2%	34.7%	30.9%	19.8%	8.4%	26.3%	16.3%	1.1%	3.3%	0.3%	
	無職	209	74	103	73	57	65	52	47	25	85	32	1	14	6	
		100.0%	35.4%	49.3%	34.9%	27.3%	31.1%	24.9%	22.5%	12.0%	40.7%	15.3%	0.5%	6.7%	2.9%	
女性	自営業主	79	23	31	25	13	22	24	16	10	15	9	1	5	3	
		100.0%	29.1%	39.2%	31.6%	16.5%	27.8%	30.4%	20.3%	12.7%	19.0%	11.4%	1.3%	6.3%	3.8%	
	家族従事者	47	15	20	10	11	14	15	8	8	7	6	0	5	3	
		100.0%	31.9%	42.6%	21.3%	23.4%	29.8%	31.9%	17.0%	17.0%	14.9%	12.8%	0.0%	10.6%	6.4%	
雇用者	430	161	203	137	104	167	135	55	28	69	53	7	23	7		
	100.0%	37.4%	47.2%	31.9%	24.2%	38.8%	31.4%	12.8%	6.5%	16.0%	12.3%	1.6%	5.3%	1.6%		
無職	429	124	176	135	103	118	109	51	39	103	69	6	47	10		
	100.0%	28.9%	41.0%	31.5%	24.0%	27.5%	25.4%	11.9%	9.1%	24.0%	16.1%	1.4%	11.0%	2.3%		

(2) 女性の参画が少ない原因

【全員が回答】

問4 「政治や行政、職場などにおいて、企画立案や方針決定の場に男性に比べて女性の参画がまだまだ少ない」と言われていますが、あなたは、その原因は何だと思えますか。
(いくつでも○)

[全体] (図表 3-5)

女性の参画が少ない原因について聞いたところ、「家庭生活との両立が困難であるため」(57.4%)という回答が最も高く、次いで「男性優位の組織運営がなされているため」(38.0%)、「家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため」(34.4%)、「女性の積極性が不十分であるため」(31.2%)などの順となっている。

[性別／性・年代別] (図表 3-6、3-7)

性別で見ると、「女性の積極性が不十分であるため」という回答を除くと、すべての項目に対して女性の回答割合が男性と比べて高くなっている。

特に、「家庭生活との両立が困難であるため」という回答は女性が男性の回答割合を8.5ポイント上回っている。

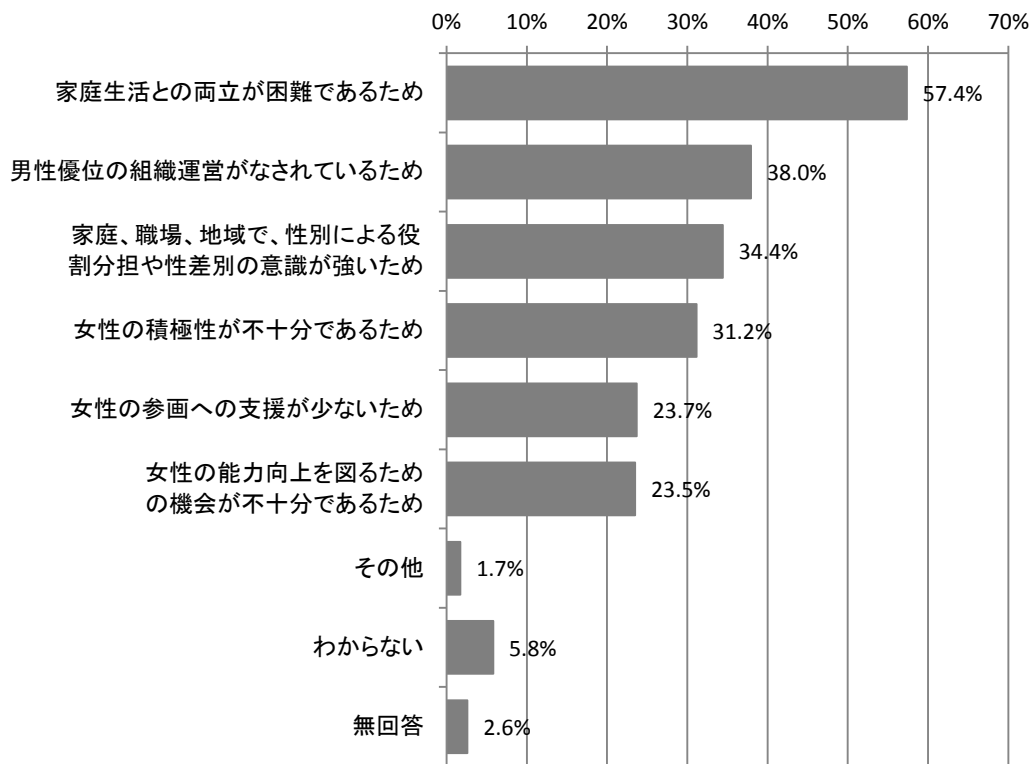
一方、性・年代別で見ると、男性では年代が高くなるほど「女性の積極性が不十分であるため」という回答割合が高くなっている。

[職業別] (図表 3-8)

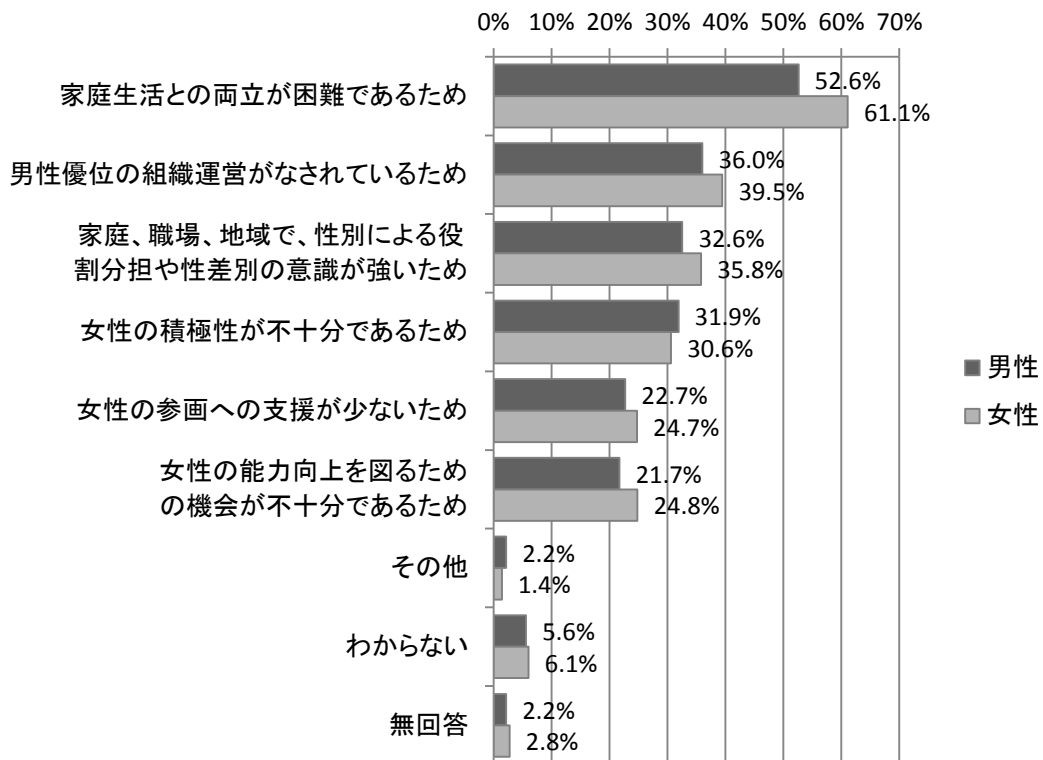
職業別で見ると、回答傾向に大きな差はみられない。

その中で、男性の家族従業者では「家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため」、「女性の積極性が不十分であるため」という回答の割合が高く、女性の雇用者では「家庭、職場、地域で、性別による役割分担や性差別の意識が強いため」、「男性優位の組織運営がなされているため」という回答の割合が高くなっている。

図表 3-5 女性の参画が少ない原因



図表 3-6 女性の参画が少ない原因【性別】



図表 3-7 女性の参画が少ない原因【性・年代別】

		サンプル数	が分で家 強担、庭、 いたや性、職 た性別、場、 め差にによる の意役域 識割	が男 な性 さ優 れ位 ての 組 織 た運 め営	困家 難庭 で生 あ活 るた ため の両 立が	分る女 た性 あめ るの た能 め力 会向 が上 不を 十図	が女 少性 ない の参 画へ の支 援	分女 性 の積 極性 が不 十	その他	わ か ら な い	無 回 答
総数		1,839 100.0%	633 34.4%	698 38.0%	1,055 57.4%	432 23.5%	436 23.7%	573 31.2%	32 1.7%	107 5.8%	48 2.6%
性・ 年代別	男性	783 100.0%	255 32.6%	282 36.0%	412 52.6%	170 21.7%	178 22.7%	250 31.9%	17 2.2%	44 5.6%	17 2.2%
	20歳代	51 100.0%	19 37.3%	21 41.2%	22 43.1%	9 17.6%	11 21.6%	10 19.6%	2 3.9%	2 3.9%	1 2.0%
	30歳代	85 100.0%	23 27.1%	25 29.4%	50 58.8%	21 24.7%	20 23.5%	21 24.7%	4 4.7%	4 4.7%	0 0.0%
	40歳代	106 100.0%	39 36.8%	38 35.8%	52 49.1%	15 14.2%	25 23.6%	28 26.4%	2 1.9%	7 6.6%	3 2.8%
	50歳代	165 100.0%	54 32.7%	64 38.8%	81 49.1%	44 26.7%	48 29.1%	47 28.5%	5 3.0%	6 3.6%	1 0.6%
	60歳代	188 100.0%	61 32.4%	82 43.6%	98 52.1%	36 19.1%	40 21.3%	62 33.0%	1 0.5%	11 5.9%	6 3.2%
	70歳以上	188 100.0%	59 31.4%	52 27.7%	109 58.0%	45 23.9%	34 18.1%	82 43.6%	3 1.6%	14 7.4%	6 3.2%
	女性	1,039 100.0%	372 35.8%	410 39.5%	635 61.1%	258 24.8%	257 24.7%	318 30.6%	15 1.4%	63 6.1%	29 2.8%
	20歳代	68 100.0%	33 48.5%	34 50.0%	36 52.9%	13 19.1%	20 29.4%	20 29.4%	1 1.5%	1 1.5%	0 0.0%
	30歳代	138 100.0%	61 44.2%	57 41.3%	96 69.6%	24 17.4%	32 23.2%	29 21.0%	5 3.6%	1 0.7%	2 1.4%
	40歳代	159 100.0%	69 43.4%	68 42.8%	110 69.2%	39 24.5%	53 33.3%	56 35.2%	2 1.3%	1 0.6%	1 0.6%
	50歳代	204 100.0%	86 42.2%	98 48.0%	126 61.8%	55 27.0%	63 30.9%	63 30.9%	3 1.5%	8 3.9%	3 1.5%
	60歳代	223 100.0%	65 29.1%	92 41.3%	139 62.3%	62 27.8%	51 22.9%	81 36.3%	2 0.9%	8 3.6%	8 3.6%
	70歳以上	246 100.0%	57 23.2%	60 24.4%	127 51.6%	64 26.0%	37 15.0%	69 28.0%	2 0.8%	44 17.9%	15 6.1%
無回答	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	

図表 3-8 女性の参画が少ない原因【性・職業別】

		サンプル数	が分で家 強担、庭、 いたや性、職 た性別、場、 め差にによる の意役域 識割	が男 な性 さ優 れ位 ての 組 織 た運 め営	困家 難庭 で生 あ活 るた ため の両 立が	分る女 た性 あめ るの た能 め力 会向 が上 不を 十図	が女 少性 ない の参 画へ の支 援	分女 性 の積 極性 が不 十	その他	わ か ら な い	無 回 答	
性別・ 職業別	男性	自営業主	147 100.0%	50 34.0%	52 35.4%	86 58.5%	38 25.9%	29 19.7%	46 31.3%	3 2.0%	7 4.8%	2 1.4%
		家族従事者	25 100.0%	10 40.0%	10 40.0%	11 44.0%	7 28.0%	7 28.0%	13 52.0%	1 4.0%	2 8.0%	0 0.0%
		雇用者	369 100.0%	117 31.7%	136 36.9%	189 51.2%	78 21.1%	95 25.7%	94 25.5%	11 3.0%	15 4.1%	5 1.4%
		無職	209 100.0%	73 34.9%	72 34.4%	114 54.5%	41 19.6%	44 21.1%	87 41.6%	1 0.5%	17 8.1%	5 2.4%
	女性	自営業主	79 100.0%	24 30.4%	27 34.2%	52 65.8%	20 25.3%	18 22.8%	24 30.4%	0 0.0%	3 3.8%	1 1.3%
		家族従事者	47 100.0%	13 27.7%	17 36.2%	32 68.1%	11 23.4%	7 14.9%	18 38.3%	1 2.1%	3 6.4%	2 4.3%
		雇用者	430 100.0%	174 40.5%	191 44.4%	278 64.7%	102 23.7%	120 27.9%	140 32.6%	9 2.1%	8 1.9%	3 0.7%
		無職	429 100.0%	151 35.2%	156 36.4%	255 59.4%	113 26.3%	108 25.2%	123 28.7%	5 1.2%	45 10.5%	11 2.6%

4. 家庭生活について

(1) 家庭における夫婦の役割分担について

【結婚している人のみが回答】

問5 あなたの家庭では、現在、次のような事柄を主に誰が行っていますか。(1つずつ〇)

[全体] (図表 4-1)

結婚している人に対して、家庭における夫婦の役割分担について聞いたところ、「夫と妻が分担」という回答割合は、「自治会、町内会、公民館など地域活動への参加」(31.4%)が最も高く、次いで「家事」(18.4%)、「育児」(17.5%)、「介護・看護」(16.2%)などの順となっている。

また、「妻」という回答割合は、「家事」(75.9%)が最も高く、次いで「育児」(52.4%)、「介護・看護」(34.1%)、「地域活動への参加」(29.3%)の順となっている。

一方、「夫」という回答割合は、「自治会、町内会、公民館など地域活動への参加」(25.4%)が比較的高いのを除くと、他の項目の回答割合はいずれも1割に満たない。

[性別／性・年代別] (図表 4-2、4-3)

性別でみると、「自治会、町内会、公民館など地域活動への参加」について、男性では「夫」という回答割合が高く、女性では「妻」という回答割合が高くなっているのを除くと、回答傾向に大きな違いはない。

一方、性・年代別でみると、「家事」および「育児」については、男女ともに年代が若くなるほど、「夫と妻が分担」という回答割合が高くなっている。

[就労状況別] (図表 4-4)

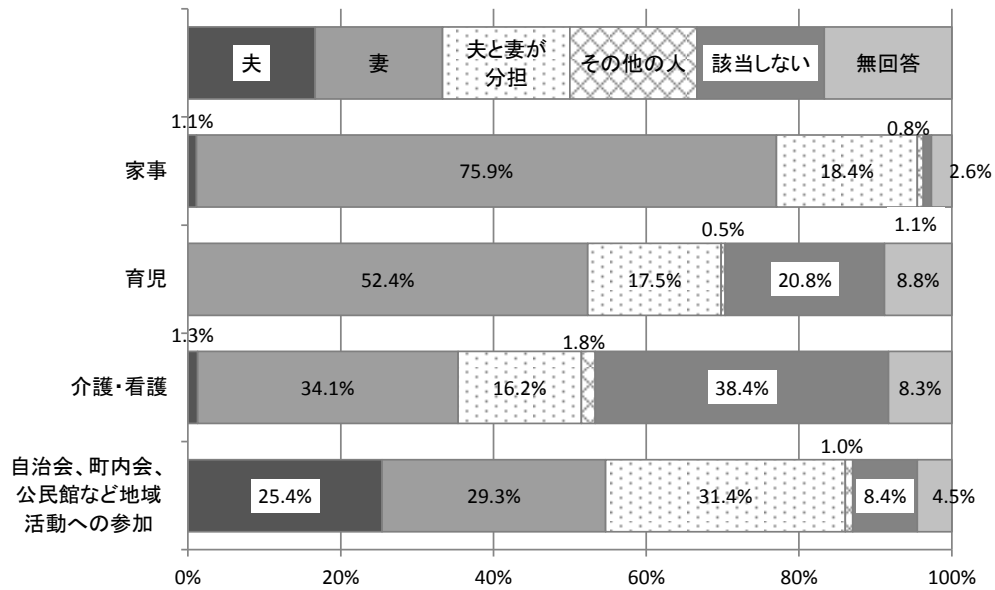
就労状況別でみると、「家事」および「育児」については、男性の場合「どちらも就労」、「配偶者のみ就労」している人では「夫と妻が分担」という回答の割合が高くなっている。また、女性の場合も「どちらも就労」している人は同様の回答傾向となっている。

一方、「介護・看護」については、男性で「配偶者のみが就労」している人で「夫と妻が分担」という回答の割合が高くなっており、「自治会、町内会、公民館など地域活動への参加」についてはあまり大きな差はみられない。

[前回調査との比較] (図表 4-5)

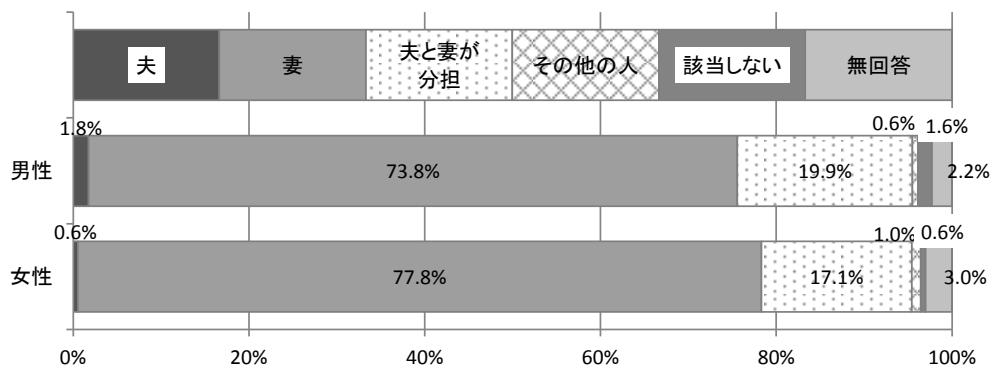
前回調査と比較しても、回答傾向に大きな違いはみられない。

図表 4-1 家庭における夫婦の役割分担について

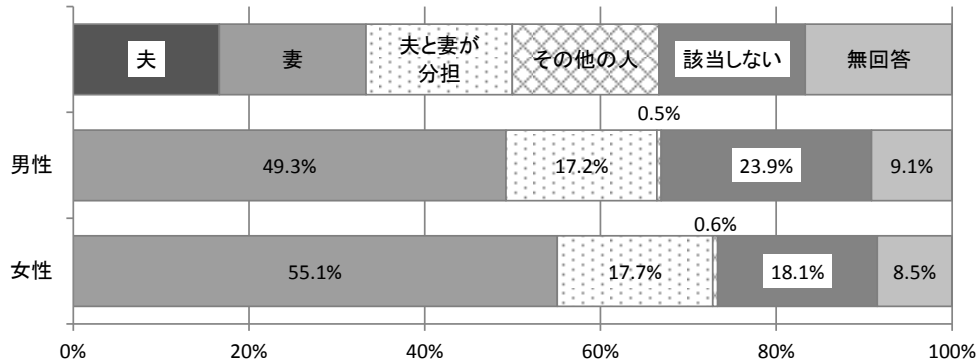


図表 4-2 家庭における夫婦の役割分担について【性別】

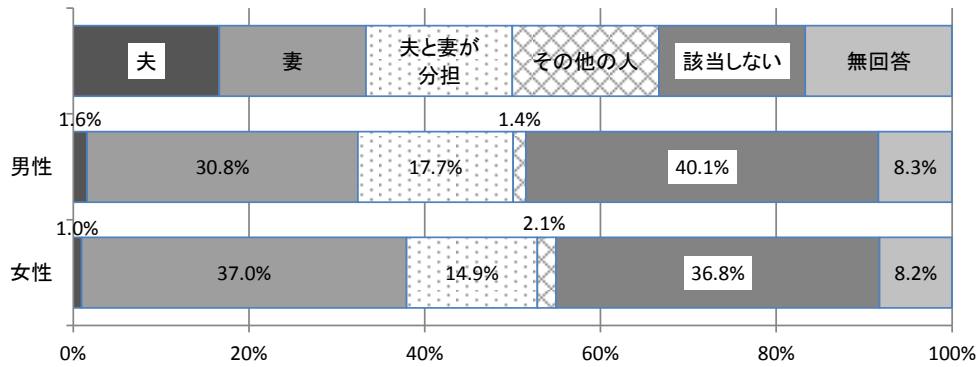
①家事



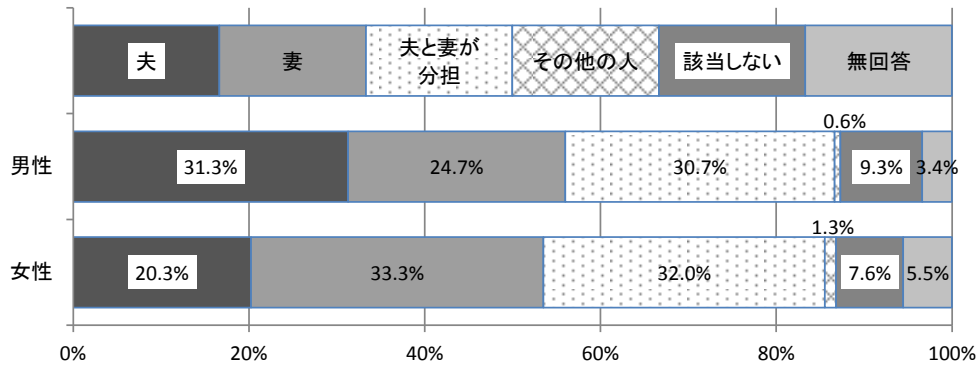
②育児



③介護・看護



④自治会、町内会、公民館など地域活動への参加



図表 4-3 家庭における夫婦の役割分担について【性・年代別】

	サンプル数	①家事						②育児						
		夫	妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	夫	妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	
総数	1,329	15	1,009	245	11	14	35	0	696	232	7	277	117	
		100.0%	1.1%	75.9%	18.4%	0.8%	1.1%	2.6%	0.0%	52.4%	17.5%	0.5%	20.8%	8.8%
男性	623	11	460	124	4	10	14	0	307	107	3	149	57	
		100.0%	1.8%	73.8%	19.9%	0.6%	1.6%	2.2%	0.0%	49.3%	17.2%	0.5%	23.9%	9.1%
20歳代	14	0	8	6	0	0	0	0	6	8	0	0	0	
		100.0%	0.0%	57.1%	42.9%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	42.9%	57.1%	0.0%	0.0%	0.0%
30歳代	47	0	31	16	0	0	0	0	24	14	0	9	0	
		100.0%	0.0%	66.0%	34.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	51.1%	29.8%	0.0%	19.1%	0.0%
40歳代	81	2	56	23	0	0	0	0	37	29	0	15	0	
		100.0%	2.5%	69.1%	28.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	45.7%	35.8%	0.0%	18.5%	0.0%
50歳代	143	3	117	21	1	1	0	0	83	24	0	32	4	
		100.0%	2.1%	81.8%	14.7%	0.7%	0.7%	0.0%	0.0%	58.0%	16.8%	0.0%	22.4%	2.8%
60歳代	166	2	126	33	1	2	2	0	90	19	1	42	14	
		100.0%	1.2%	75.9%	19.9%	0.6%	1.2%	1.2%	0.0%	54.2%	11.4%	0.6%	25.3%	8.4%
70歳以上	172	4	122	25	2	7	12	0	67	13	2	51	39	
		100.0%	2.3%	70.9%	14.5%	1.2%	4.1%	7.0%	0.0%	39.0%	7.6%	1.2%	29.7%	22.7%
女性	706	4	549	121	7	4	21	0	389	125	4	128	60	
		100.0%	0.6%	77.8%	17.1%	1.0%	0.6%	3.0%	0.0%	55.1%	17.7%	0.6%	18.1%	8.5%
20歳代	25	1	16	8	0	0	0	0	6	9	0	10	0	
		100.0%	4.0%	64.0%	32.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	24.0%	36.0%	0.0%	40.0%	0.0%
30歳代	100	0	74	22	2	0	2	0	54	26	1	17	2	
		100.0%	0.0%	74.0%	22.0%	2.0%	0.0%	2.0%	0.0%	54.0%	26.0%	1.0%	17.0%	2.0%
40歳代	119	0	91	27	0	0	1	0	67	36	0	14	2	
		100.0%	0.0%	76.5%	22.7%	0.0%	0.0%	0.8%	0.0%	56.3%	30.3%	0.0%	11.8%	1.7%
50歳代	158	2	121	28	1	1	5	0	103	24	0	26	5	
		100.0%	1.3%	76.6%	17.7%	0.6%	0.6%	3.2%	0.0%	65.2%	15.2%	0.0%	16.5%	3.2%
60歳代	171	0	141	26	1	0	3	0	102	22	2	32	13	
		100.0%	0.0%	82.5%	15.2%	0.6%	0.0%	1.8%	0.0%	59.6%	12.9%	1.2%	18.7%	7.6%
70歳以上	132	1	105	10	3	3	10	0	56	8	1	29	38	
		100.0%	0.8%	79.5%	7.6%	2.3%	2.3%	7.6%	0.0%	42.4%	6.1%	0.8%	22.0%	28.8%
無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	
		100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	サンプル数	③介護・看護						④自治会、町内会、公民館など地域活動への参加						
		夫	妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	夫	妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	
総数	1,329	17	453	215	24	510	110	338	389	417	13	112	60	
		100.0%	1.3%	34.1%	16.2%	1.8%	38.4%	8.3%	25.4%	29.3%	31.4%	1.0%	8.4%	4.5%
性・年代別	男性	623	10	192	110	9	250	52	195	154	191	4	58	21
		100.0%	1.6%	30.8%	17.7%	1.4%	40.1%	8.3%	31.3%	24.7%	30.7%	0.6%	9.3%	3.4%
	20歳代	14	0	1	2	0	11	0	2	1	5	0	6	0
		100.0%	0.0%	7.1%	14.3%	0.0%	78.6%	0.0%	14.3%	7.1%	35.7%	0.0%	42.9%	0.0%
	30歳代	47	1	7	3	0	35	1	12	4	14	0	17	0
		100.0%	2.1%	14.9%	6.4%	0.0%	74.5%	2.1%	25.5%	8.5%	29.8%	0.0%	36.2%	0.0%
	40歳代	81	0	13	17	0	50	1	12	26	35	0	8	0
		100.0%	0.0%	16.0%	21.0%	0.0%	61.7%	1.2%	14.8%	32.1%	43.2%	0.0%	9.9%	0.0%
	50歳代	143	1	53	29	2	54	4	41	44	53	0	5	0
		100.0%	0.7%	37.1%	20.3%	1.4%	37.8%	2.8%	28.7%	30.8%	37.1%	0.0%	3.5%	0.0%
	60歳代	166	3	63	31	3	52	14	56	49	47	2	8	4
		100.0%	1.8%	38.0%	18.7%	1.8%	31.3%	8.4%	33.7%	29.5%	28.3%	1.2%	4.8%	2.4%
	70歳以上	172	5	55	28	4	48	32	72	30	37	2	14	17
		100.0%	2.9%	32.0%	16.3%	2.3%	27.9%	18.6%	41.9%	17.4%	21.5%	1.2%	8.1%	9.9%
	女性	706	7	261	105	15	260	58	143	235	226	9	54	39
		100.0%	1.0%	37.0%	14.9%	2.1%	36.8%	8.2%	20.3%	33.3%	32.0%	1.3%	7.6%	5.5%
	20歳代	25	0	1	4	1	19	0	4	5	10	1	5	0
	100.0%	0.0%	4.0%	16.0%	4.0%	76.0%	0.0%	16.0%	20.0%	40.0%	4.0%	20.0%	0.0%	
30歳代	100	0	23	5	1	68	3	8	37	24	3	26	2	
	100.0%	0.0%	23.0%	5.0%	1.0%	68.0%	3.0%	8.0%	37.0%	24.0%	3.0%	26.0%	2.0%	
40歳代	119	0	44	18	2	52	3	18	49	46	2	3	1	
	100.0%	0.0%	37.0%	15.1%	1.7%	43.7%	2.5%	15.1%	41.2%	38.7%	1.7%	2.5%	0.8%	
50歳代	158	1	73	31	2	44	7	30	51	68	0	5	4	
	100.0%	0.6%	46.2%	19.6%	1.3%	27.8%	4.4%	19.0%	32.3%	43.0%	0.0%	3.2%	2.5%	
60歳代	171	0	72	34	8	46	11	37	60	59	2	7	6	
	100.0%	0.0%	42.1%	19.9%	4.7%	26.9%	6.4%	21.6%	35.1%	34.5%	1.2%	4.1%	3.5%	
70歳以上	132	6	48	13	1	30	34	46	32	19	1	8	26	
	100.0%	4.5%	36.4%	9.8%	0.8%	22.7%	25.8%	34.8%	24.2%	14.4%	0.8%	6.1%	19.7%	
無回答	1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

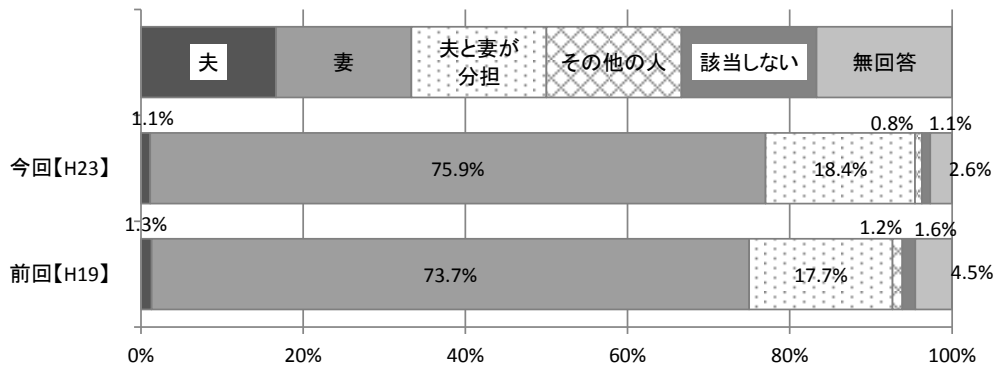
図表 4-4 家庭における夫婦の役割分担について【性・就労状況別】

	サンプル数	①家事						②育児							
		夫	妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	夫	妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答		
性別・就労状況別	男性	どちらも就労	264	4	191	63	1	2	3	0	127	65	1	55	16
			100.0%	1.5%	72.3%	23.9%	0.4%	0.8%	1.1%	0.0%	48.1%	24.6%	0.4%	20.8%	6.1%
		自分のみ就労	160	3	137	18	0	0	2	0	94	22	0	39	5
			100.0%	1.9%	85.6%	11.3%	0.0%	0.0%	1.3%	0.0%	58.8%	13.8%	0.0%	24.4%	3.1%
		配偶者のみ就労	33	0	20	11	0	1	1	0	15	7	0	6	5
		100.0%	0.0%	60.6%	33.3%	0.0%	3.0%	3.0%	0.0%	45.5%	21.2%	0.0%	18.2%	15.2%	
	女性	どちらも就労	160	4	109	32	3	6	6	0	69	13	2	48	28
			100.0%	2.5%	68.1%	20.0%	1.9%	3.8%	3.8%	0.0%	43.1%	8.1%	1.3%	30.0%	17.5%
		自分のみ就労	335	2	252	75	3	1	2	0	184	78	3	59	11
			100.0%	0.6%	75.2%	22.4%	0.9%	0.3%	0.6%	0.0%	54.9%	23.3%	0.9%	17.6%	3.3%
配偶者のみ就労		38	0	28	7	1	0	2	0	20	3	1	11	3	
	100.0%	0.0%	73.7%	18.4%	2.6%	0.0%	5.3%	0.0%	52.6%	7.9%	2.6%	28.9%	7.9%		
どちらも就労	156	1	136	14	0	0	5	0	99	27	0	21	9		
	100.0%	0.6%	87.2%	9.0%	0.0%	0.0%	3.2%	0.0%	63.5%	17.3%	0.0%	13.5%	5.8%		
どちらも就労していない	167	1	126	25	3	3	9	0	81	17	0	36	33		
	100.0%	0.6%	75.4%	15.0%	1.8%	1.8%	5.4%	0.0%	48.5%	10.2%	0.0%	21.6%	19.8%		

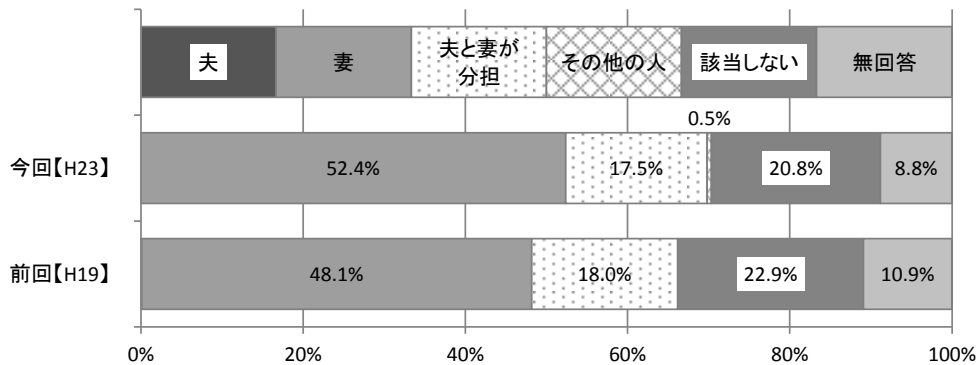
性別・就労状況別	サンプル数	③介護・看護							④自治会、町内会、公民館など地域活動への参加					
		夫	妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	夫	妻	夫と妻が分担	その他の人	該当しない	無回答	
		男性	264	3	79	44	4	118	16	82	62	96	0	21
女性	335	2	127	53	8	129	16	64	118	117	4	26	6	
男性	100.0%	1.1%	29.9%	16.7%	1.5%	44.7%	6.1%	31.1%	23.5%	36.4%	0.0%	8.0%	1.1%	
女性	100.0%	0.6%	37.9%	15.8%	2.4%	38.5%	4.8%	19.1%	35.2%	34.9%	1.2%	7.8%	1.8%	
男性	100.0%	1.9%	33.1%	17.5%	0.0%	43.1%	4.4%	23.8%	31.3%	30.0%	0.6%	13.1%	1.3%	
女性	100.0%	0.0%	24.2%	27.3%	6.1%	30.3%	12.1%	33.3%	30.3%	21.2%	0.0%	6.1%	9.1%	
男性	100.0%	2.5%	31.9%	16.9%	1.9%	32.5%	14.4%	38.1%	20.0%	25.0%	1.9%	8.1%	6.9%	
女性	100.0%	0.0%	34.2%	15.9%	0.0%	44.7%	5.3%	23.7%	26.3%	31.6%	2.6%	10.5%	5.3%	
男性	100.0%	0.0%	24.2%	27.3%	6.1%	30.3%	12.1%	33.3%	30.3%	21.2%	0.0%	6.1%	9.1%	
女性	100.0%	0.0%	37.2%	10.9%	1.9%	44.2%	5.8%	12.8%	37.8%	34.6%	1.9%	9.6%	3.2%	
男性	100.0%	3.0%	36.5%	16.8%	2.4%	25.1%	16.2%	29.3%	26.9%	24.0%	0.6%	5.4%	13.8%	
女性	100.0%	0.0%	34.2%	15.9%	0.0%	44.7%	5.3%	23.7%	26.3%	31.6%	2.6%	10.5%	5.3%	
男性	100.0%	0.0%	24.2%	27.3%	6.1%	30.3%	12.1%	33.3%	30.3%	21.2%	0.0%	6.1%	9.1%	
女性	100.0%	0.0%	37.2%	10.9%	1.9%	44.2%	5.8%	12.8%	37.8%	34.6%	1.9%	9.6%	3.2%	

図表 4-5 家庭における夫婦の役割分担について【前回調査との比較】

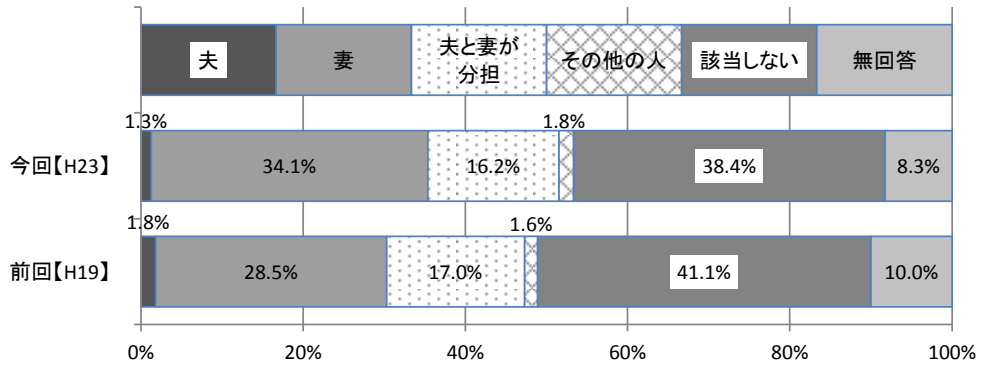
①家事



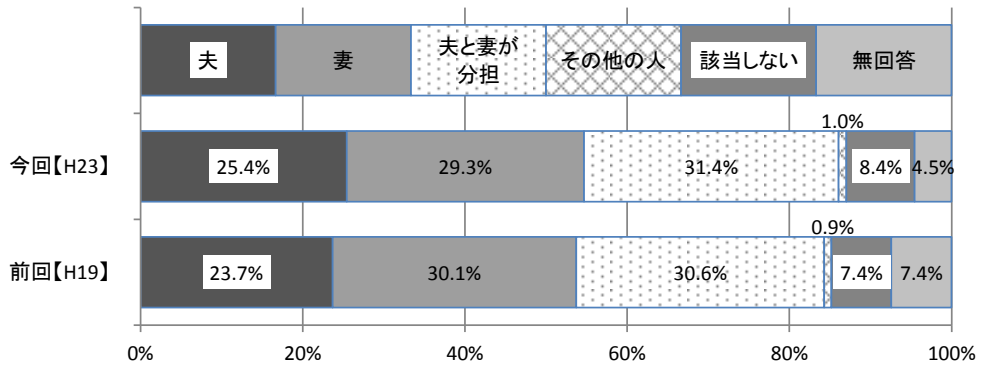
②育児



③介護・看護



④地域活動への参加



(2) 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について

【全員が回答】

問6 あなたは、「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について、どのようにお考えですか。(1つに○)

[全体] (図表 4-6)

「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について聞いたところ、「どちらかといえば賛成」(42.1%)という回答が最も高く、次いで「どちらかといえば反対」(29.4%)、「反対」(14.6%)、「賛成」(10.8%)の順となっている。

「肯定」(=「賛成」+「どちらかといえば賛成」)の割合が「否定」(「反対」+「どちらかといえば反対」)の割合を8.9ポイント上回っている。

[性別／性・年代別] (図表 4-6、4-7)

性別でみると、男性が女性よりも「賛成」、「どちらかといえば賛成」という回答の割合が高い。また、女性では「肯定」と「否定」の割合がほぼ同程度となっている。

一方、性・年代別でみると、男女ともに年代が若くなるほど「賛成」、「どちらかといえば賛成」という回答割合が低くなり、「どちらかといえば反対」、「反対」という回答割合が高くなっている。また、男性では20歳代および30歳代で、女性では20歳代～50歳代で、「否定」の割合が「肯定」の割合を上回っている。

[職業別] (図表 4-8)

職業別でみると、男性の家族従業者で「賛成」という回答の割合が高く、男性の無職では「どちらかといえば賛成」という回答の割合が高くなっている。

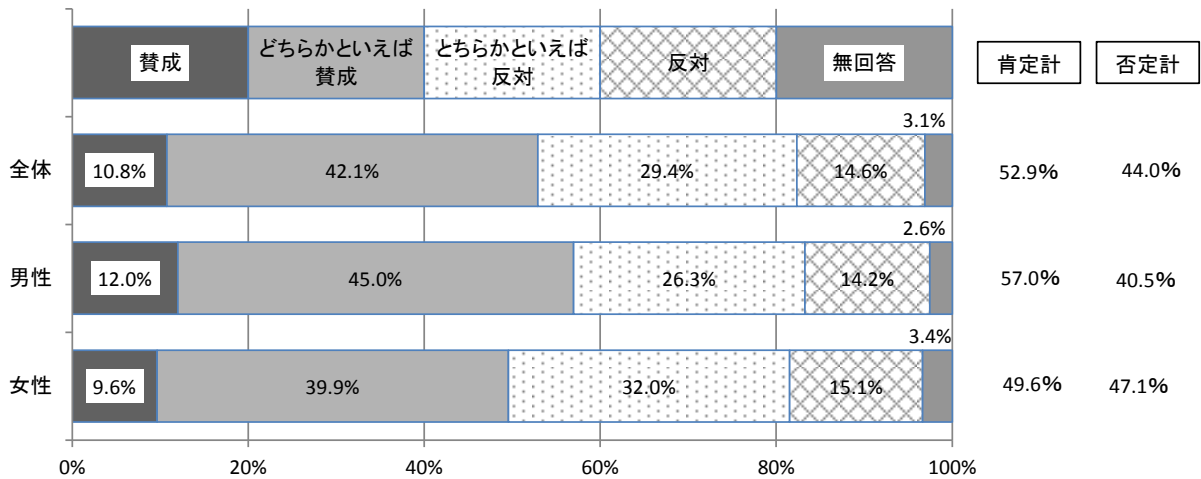
一方で、男性の雇用者および女性の家族従業者では「どちらかといえば反対」という回答の割合が高く、女性の雇用者では「どちらかといえば反対」、「反対」という回答の割合が高くなっている。

[前回調査、内閣府調査との比較] (図表 4-9)

前回調査と比較すると、「どちらかといえば賛成」という回答の割合が減少しているのに対し、「反対」、「どちらかといえば反対」という回答の割合が増加しており、「否定」的な考え方の人が増加している。

また、内閣府調査と比較すると、「どちらかといえば賛成」という回答が11.4ポイント上回っているのに対し、「反対」という回答が9.2ポイント下回っている。

図表 4-6 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について



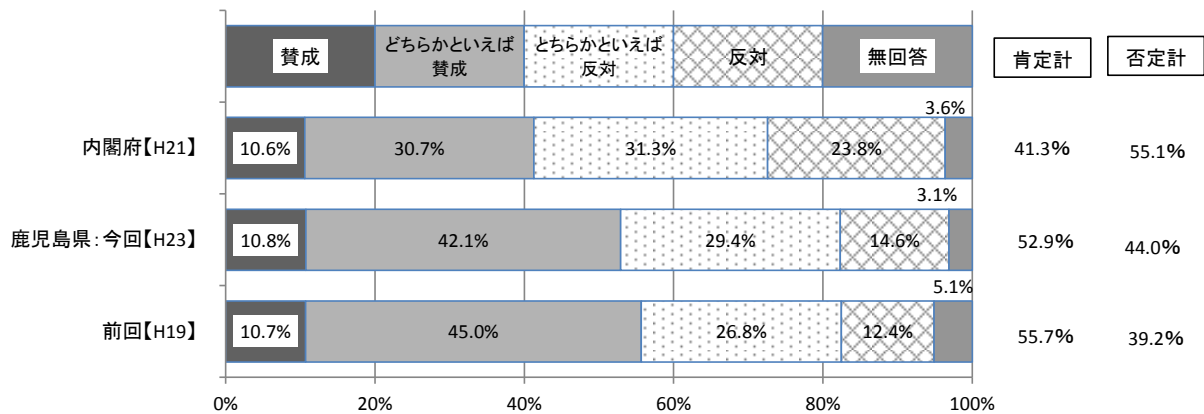
図表 4-7 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について 【性・年代別】

		サンプル数	賛成	い ど ち ら か い え ば 賛 成 と	い と ち ら か い え ば 反 対 と	反対	無 回 答
総数		1,839	198	775	541	268	57
		100.0%	10.8%	42.1%	29.4%	14.6%	3.1%
性・年代別	男性	783	94	352	206	111	20
		100.0%	12.0%	45.0%	26.3%	14.2%	2.6%
	20歳代	51	1	14	20	13	3
		100.0%	2.0%	27.5%	39.2%	25.5%	5.9%
	30歳代	85	11	28	23	21	2
		100.0%	12.9%	32.9%	27.1%	24.7%	2.4%
	40歳代	106	8	40	38	19	1
		100.0%	7.5%	37.7%	35.8%	17.9%	0.9%
	50歳代	165	18	83	40	23	1
		100.0%	10.9%	50.3%	24.2%	13.9%	0.6%
	60歳代	188	21	81	56	22	8
		100.0%	11.2%	43.1%	29.8%	11.7%	4.3%
	70歳以上	188	35	106	29	13	5
	100.0%	18.6%	56.4%	15.4%	6.9%	2.7%	
女性	1,039	100	415	332	157	35	
	100.0%	9.6%	39.9%	32.0%	15.1%	3.4%	
20歳代	68	3	24	23	17	1	
	100.0%	4.4%	35.3%	33.8%	25.0%	1.5%	
30歳代	138	9	46	56	24	3	
	100.0%	6.5%	33.3%	40.6%	17.4%	2.2%	
40歳代	159	8	62	52	34	3	
	100.0%	5.0%	39.0%	32.7%	21.4%	1.9%	
50歳代	204	15	72	71	40	6	
	100.0%	7.4%	35.3%	34.8%	19.6%	2.9%	
60歳代	223	23	98	75	23	4	
	100.0%	10.3%	43.9%	33.6%	10.3%	1.8%	
70歳以上	246	42	113	54	19	18	
	100.0%	17.1%	45.9%	22.0%	7.7%	7.3%	
無回答	1	0	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

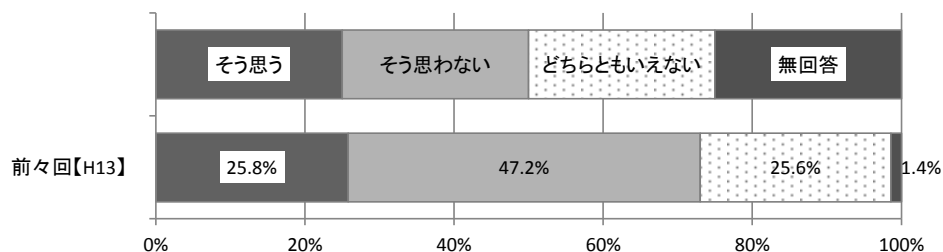
図表 4-8 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について【性・職業別】

		サンプル数	賛成	どちらかといえば賛成	どちらかといえば反対	反対	無回答	
性別・職業別	男性	自営業主	147 100.0%	23 15.6%	66 44.9%	36 24.5%	18 12.2%	4 2.7%
		家族従事者	25 100.0%	6 24.0%	11 44.0%	6 24.0%	2 8.0%	0 0.0%
		雇用者	369 100.0%	36 9.8%	150 40.7%	110 29.8%	65 17.6%	8 2.2%
		無職	209 100.0%	23 11.0%	110 52.6%	49 23.4%	25 12.0%	2 1.0%
	女性	自営業主	79 100.0%	14 17.7%	32 40.5%	20 25.3%	12 15.2%	1 1.3%
		家族従事者	47 100.0%	6 12.8%	17 36.2%	17 36.2%	6 12.8%	1 2.1%
		雇用者	430 100.0%	29 6.7%	141 32.8%	154 35.8%	95 22.1%	11 2.6%
		無職	429 100.0%	47 11.0%	209 48.7%	126 29.4%	42 9.8%	5 1.2%

図表 4-9 「夫は外で働き、妻は家庭を守るべきである」という考え方について【前回調査、内閣府調査との比較】



(参考:前々回調査)



5. 就業について

(1) 女性が職業をもつことについての意識

【全員が回答】

問7 一般的に女性が職業をもつことについて、あなたはどのようにお考えですか。(1つに○)

[全体] (図表 5-1)

女性が職業を持つことについての意識について聞いたところ、「子どもができれば職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」(50.1%)という回答が最も高く、次いで「子どもができてもずっと職業を続ける方がよい」(29.9%)、「子どもができるまでは職業を持つ方がよい」(6.6%)、「結婚するまでは、職業を持つ方がよい」(4.9%)などの順となっている。

[性別／性・年代別] (図表 5-1、5-2)

性別でみると、女性では「子どもができれば職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」という回答割合が男性よりも8.5ポイント高くなっている。

一方、性・年代別でみると、男女ともに年代が高くなるほど、「子どもができれば職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」という回答割合が高くなっている。また、男性では、年代が高くなるほど「結婚するまでは、職業を持つ方がよい」、「子どもができるまでは職業を持つ方がよい」という回答割合が高くなっている。

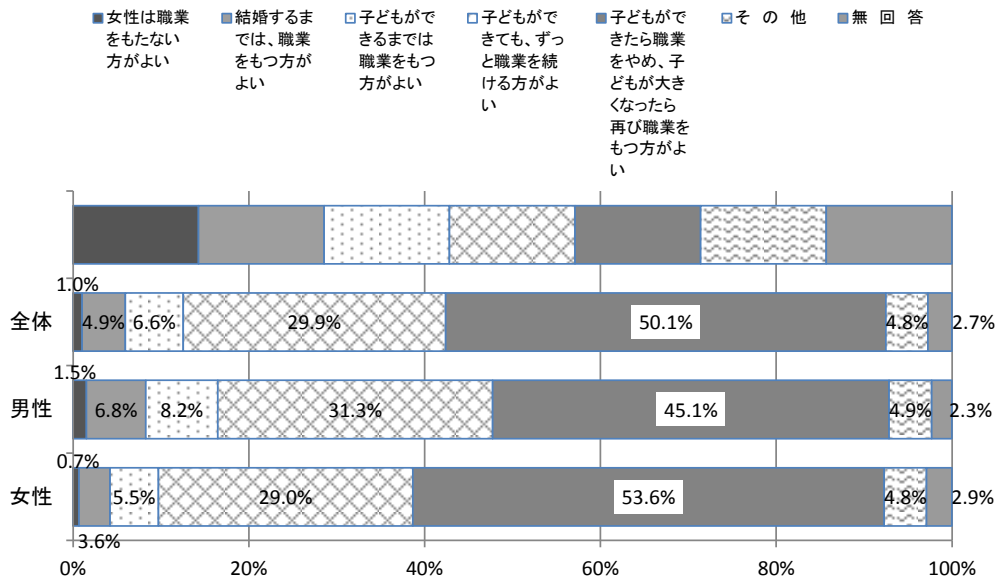
逆に、男女ともに年代が若くなるほど「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」という回答割合が高くなっており、特に男性にその傾向が強い。

[前回調査、内閣府調査との比較] (図表 5-3)

前回調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」という回答の割合が9.5ポイント増加しているのに対し、「子どもができれば職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」という回答の割合が5.8ポイント減少しており、継続的に仕事をする方がよいという考え方の人が大幅に増えている。

また、内閣府調査と比較すると、「子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい」という回答の割合が16.0ポイント低いのに対し、「子どもができれば職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業を持つ方がよい」という回答の割合が18.8ポイント高くなっている。

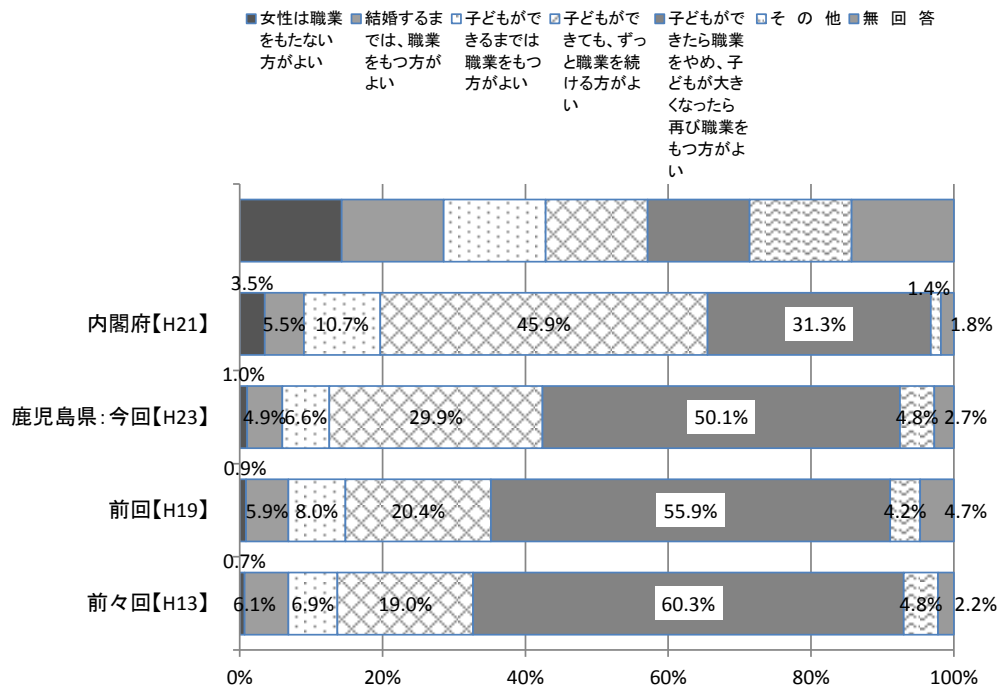
図表 5-1 女性が職業をもつことについての意識



図表 5-2 女性が職業をもつことについての意識【性・年代別】

性・年代別	サンプル数	女性は無職業の方がよい	結婚するまでは、職業をもつ方がよい	子どもができるまでは職業をもつ方がよい	子どもができて、ずっと職業を続ける方がよい	子どもができたなら職業をやめ、子どもが大きくなったら再び職業をもつ方がよい	その他	無回答			
									サンプル数	割合	サンプル数
総数	1,839	19	91	121	549	921	88	50			
	100.0%	1.0%	4.9%	6.6%	29.9%	50.1%	4.8%	2.7%			
男性	783	12	53	64	245	353	38	18			
	100.0%	1.5%	6.8%	8.2%	31.3%	45.1%	4.9%	2.3%			
20歳代	51	0	3	4	22	18	3	1			
	100.0%	0.0%	5.9%	7.8%	43.1%	35.3%	5.9%	2.0%			
30歳代	85	0	1	5	36	33	8	2			
	100.0%	0.0%	1.2%	5.9%	42.4%	38.8%	9.4%	2.4%			
40歳代	106	2	2	3	43	44	12	0			
	100.0%	1.9%	1.9%	2.8%	40.6%	41.5%	11.3%	0.0%			
50歳代	165	3	7	13	61	76	5	0			
	100.0%	1.8%	4.2%	7.9%	37.0%	46.1%	3.0%	0.0%			
60歳代	188	2	16	19	54	83	5	9			
	100.0%	1.1%	8.5%	10.1%	28.7%	44.1%	2.7%	4.8%			
70歳以上	188	5	24	20	29	99	5	6			
	100.0%	2.7%	12.8%	10.6%	15.4%	52.7%	2.7%	3.2%			
女性	1,039	7	37	57	301	557	50	30			
	100.0%	0.7%	3.6%	5.5%	29.0%	53.6%	4.8%	2.9%			
20歳代	68	0	3	4	20	37	3	1			
	100.0%	0.0%	4.4%	5.9%	29.4%	54.4%	4.4%	1.5%			
30歳代	138	1	1	8	50	65	11	2			
	100.0%	0.7%	0.7%	5.8%	36.2%	47.1%	8.0%	1.4%			
40歳代	159	1	4	4	60	69	20	1			
	100.0%	0.6%	2.5%	2.5%	37.7%	43.4%	12.6%	0.6%			
50歳代	204	3	4	12	71	100	10	4			
	100.0%	1.5%	2.0%	5.9%	34.8%	49.0%	4.9%	2.0%			
60歳代	223	1	8	12	58	138	3	3			
	100.0%	0.4%	3.6%	5.4%	26.0%	61.9%	1.3%	1.3%			
70歳以上	246	1	17	17	41	148	3	19			
	100.0%	0.4%	6.9%	6.9%	16.7%	60.2%	1.2%	7.7%			
無回答	1	0	0	0	1	0	0	0			
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%			

図表 5-3 女性が職業をもつことについての意識【前回調査、内閣府調査との比較】



(2) 現在の職業

【全員が回答】

問8-1 あなたのご職業を次の1～11の中から1つだけお選びください。(1つに○)

[全体] (図表5-4)

現在の職業について聞いたところ、「雇用者」(43.7%)という回答割合が最も高く、次いで「無職」(35.2%)、「自営業主」(12.3%)、「家族従業者」(3.9%)などの順となっている。

また、詳細についてみると、「雇用者(常勤の勤め)」(27.5%)という回答割合が最も高く、次いで「無職(主婦・主夫)」(20.0%)、「雇用者(非常勤の勤め)」(16.2%)、「無職(その他の無職)」(14.5%)等の順となっている。

[性別／性・年代別] (図表5-4、5-5)

性別でみると、「自営業主」は男性が女性よりも11.2ポイント高く、「雇用者」についても5.7ポイント高いのに対し、「無職」は女性が男性よりも14.6ポイントと高くなっている。

なお、「雇用者」についてみると、「雇用者(常勤の勤め)」は男性が女性よりも20.9ポイント高いのに対し、「雇用者(非常勤の勤め)」は女性が男性よりも15.1ポイント高くなっている。また、「無職」についてみると、「無職(主婦・主夫)」は女性が男性よりも22.3ポイント高いのに対し、「無職(その他の無職)」については男性が女性よりも7.6ポイント高くなっている。

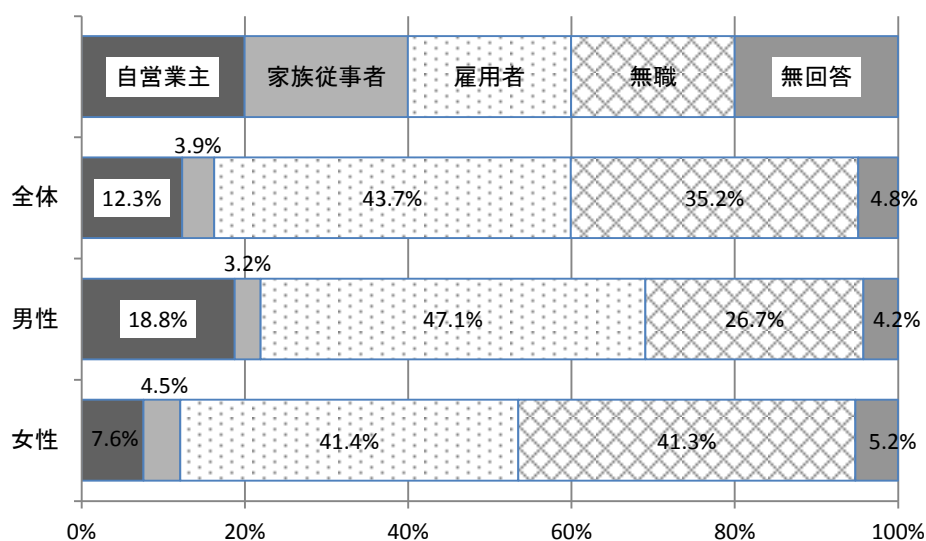
一方、性・年代別でみると、男女ともに20歳代を除くと、年代が若くなるほど「雇用者(常勤の勤め)」という回答割合が高いのに対し、60～70歳代では「無職(その他の無職)」という回答割合が高くなっている。また、男性では20歳代で「雇用者(非常勤の勤め)」という回答割合が高くなっている。

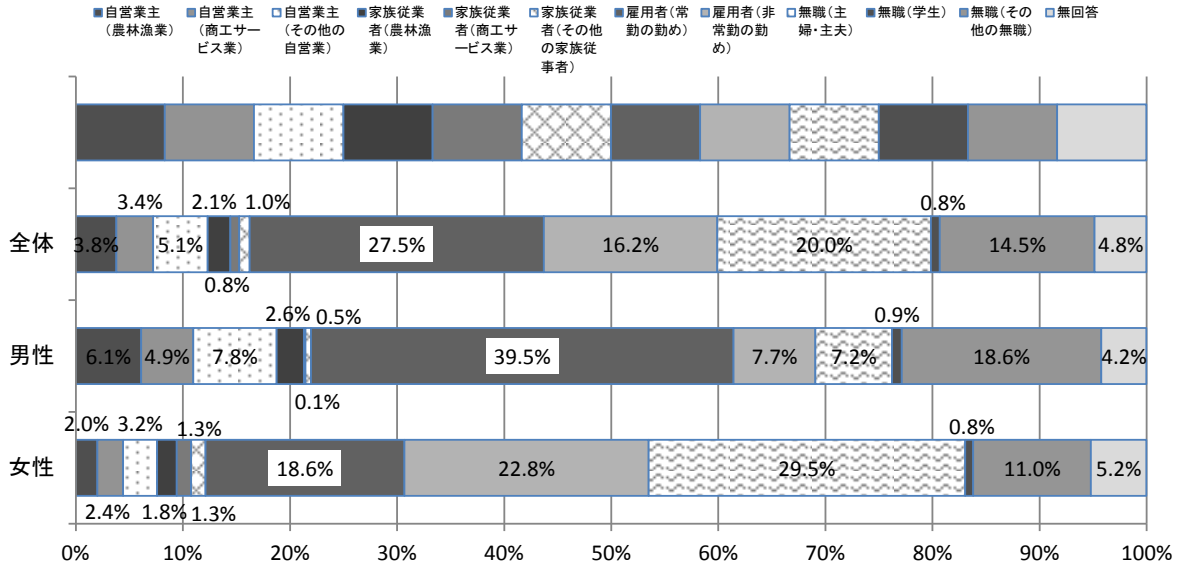
女性では、30～50歳代で「雇用者(非常勤の勤め)」という回答割合が高く、30歳代および60歳代以上で「無職(主婦・主夫)」という回答割合が高くなっている。

[前回調査との比較] (図表5-6)

前回調査と比較しても、回答傾向に大きな違いはみられない。

図表5-4 現在の職業

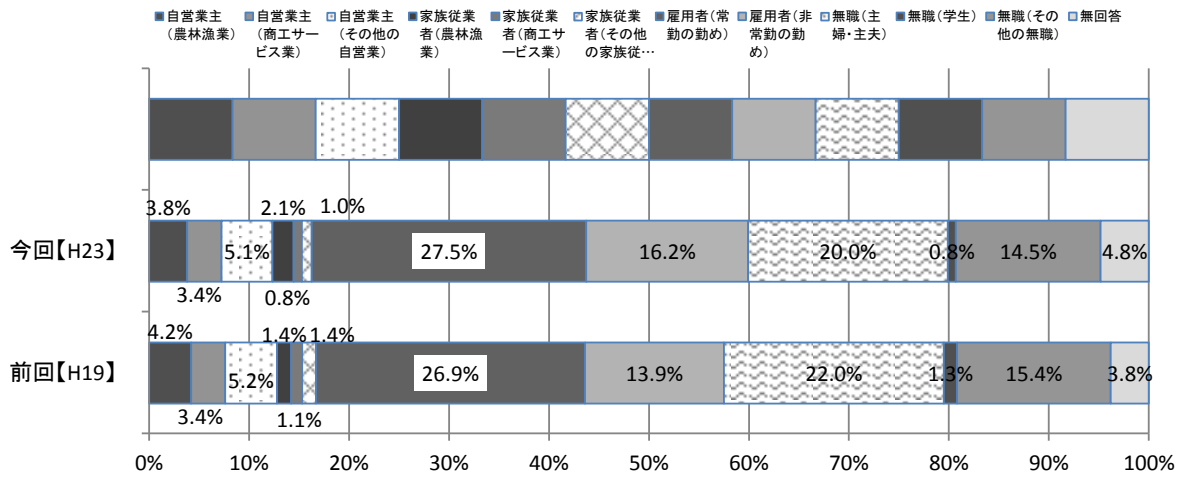




図表 5-5 現在の職業【性・年代別】

		サンプル数	自営業主 (農林漁業)	自営業主 (商工サービス業)	他の自営業主 (その他の自営業)	家族従業者 (農林漁業)	家族従業者 (商工サービス業)	他の家族従事者 (その他の家族従事者)	雇用者 (常勤の勤め)	雇用者 (非常勤の勤め)	無職 (主婦・主夫)	無職 (学生)	無職 (その他の無職)	無回答
総数		1,839	70	63	94	39	15	18	505	298	367	15	266	89
男性		783	48	38	61	20	1	4	309	60	56	7	146	33
20歳代		51	0	0	0	1	0	0	26	14	0	6	4	0
30歳代		85	1	2	5	1	1	0	60	4	0	0	9	2
40歳代		106	5	2	7	0	0	1	79	6	0	0	5	1
50歳代		165	7	13	20	2	0	0	92	10	2	1	13	5
60歳代		188	19	9	22	5	0	1	44	24	14	0	42	8
70歳以上		188	16	12	7	11	0	2	8	2	40	0	73	17
女性		1,039	21	25	33	19	14	14	193	237	307	8	114	54
20歳代		68	0	0	1	0	0	0	36	10	10	8	1	2
30歳代		138	0	3	2	0	2	2	43	42	40	0	1	3
40歳代		159	1	4	5	2	2	1	53	61	26	0	3	1
50歳代		204	1	5	7	6	6	4	41	75	47	0	4	8
60歳代		223	9	5	10	5	2	6	15	44	88	0	30	9
70歳以上		246	10	8	8	6	2	1	5	5	95	0	75	31
無回答		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0

図表 5-6 現在の職業【前回調査との比較】



(3) 今後希望する就労形態

【問8-1で無職「9」～「11」と答えた方のみ回答】
 問8-2 あなたはどのような形で働きたいですか。(1つに○)

[全体] (図表5-7)

今後希望する就労形態について聞いたところ、「働くつもりはない」(42.4%)という回答割合が最も高く、次いで「パートタイム、アルバイト、嘱託」(19.9%)、「家業に従事」(8.0%)、「常勤(短時間勤務等)」(7.9%)、「常勤(フルタイム)」(6.6%)などの順となっている。

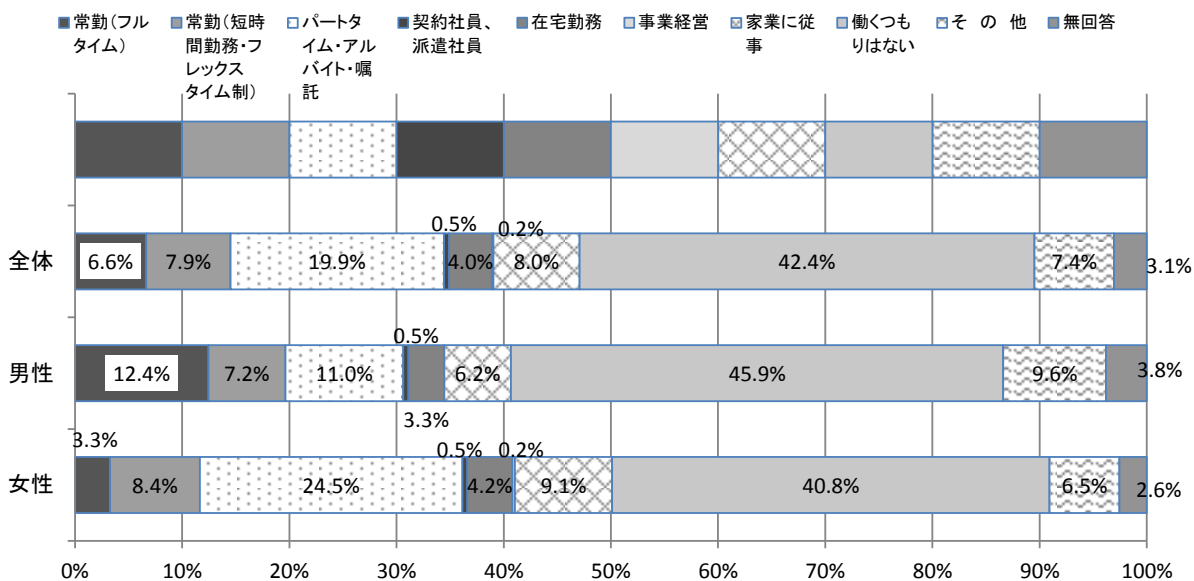
[性別/性・年代別] (図表5-7、5-8)

性別で見ると、「常勤(フルタイム)」は男性が女性よりも9.1ポイント高いが、「働くつもりはない」についても5.1ポイント高くなっている。逆に、「パートタイム、アルバイト、嘱託」は女性が男性よりも13.5ポイントと高くなっている。

一方、性・年代別で見ると、男女ともに年代が高くなるほど「働くつもりはない」という回答割合が高くなっている。

また、男性では年代が若くなるほど「常勤(フルタイム)」という回答割合が高くなっており、女性でも20歳では高い。さらに、女性では30～50歳代で「パートタイム、アルバイト、嘱託」という回答割合が高くなっている。

図表5-7 今後希望する就労形態



図表 5-8 今後希望する就労形態【性・年代別】

		サンプル数	ム常勤（フルタイム）	等常勤（短時間勤務）	ルパートタイム、嘱託、アルバイト	員契約社員、派遣社員	在宅勤務	事業経営	家業に従事	働くつもりはない	その他	無回答
総数		648	43	51	129	3	26	1	52	275	48	20
		100.0%	6.6%	7.9%	19.9%	0.5%	4.0%	0.2%	8.0%	42.4%	7.4%	3.1%
性・年代別	男性	209	26	15	23	1	7	0	13	96	20	8
		100.0%	12.4%	7.2%	11.0%	0.5%	3.3%	0.0%	6.2%	45.9%	9.6%	3.8%
	20歳代	10	8	0	0	0	0	0	1	0	0	1
		100.0%	80.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%
	30歳代	9	6	0	0	0	1	0	0	2	0	0
		100.0%	66.7%	0.0%	0.0%	0.0%	11.1%	0.0%	0.0%	22.2%	0.0%	0.0%
	40歳代	5	2	0	1	0	0	0	0	0	1	1
		100.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%
	50歳代	16	7	3	1	0	0	0	0	3	2	0
		100.0%	43.8%	18.8%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	18.8%	12.5%	0.0%
	60歳代	56	2	6	14	1	1	0	4	22	5	1
		100.0%	3.6%	10.7%	25.0%	1.8%	1.8%	0.0%	7.1%	39.3%	8.9%	1.8%
	70歳以上	113	1	6	7	0	5	0	8	69	12	5
		100.0%	0.9%	5.3%	6.2%	0.0%	4.4%	0.0%	7.1%	61.1%	10.6%	4.4%
	女性	429	14	36	105	2	18	1	39	175	28	11
	100.0%	3.3%	8.4%	24.5%	0.5%	4.2%	0.2%	9.1%	40.8%	6.5%	2.6%	
20歳代	19	7	3	6	1	1	0	0	1	0	0	
	100.0%	36.8%	15.8%	31.6%	5.3%	5.3%	0.0%	0.0%	5.3%	0.0%	0.0%	
30歳代	41	3	10	17	1	6	1	1	2	0	0	
	100.0%	7.3%	24.4%	41.5%	2.4%	14.6%	2.4%	2.4%	4.9%	0.0%	0.0%	
40歳代	29	2	4	17	0	1	0	0	3	2	0	
	100.0%	6.9%	13.8%	58.6%	0.0%	3.4%	0.0%	0.0%	10.3%	6.9%	0.0%	
50歳代	51	2	3	24	0	3	0	4	10	4	1	
	100.0%	3.9%	5.9%	47.1%	0.0%	5.9%	0.0%	7.8%	19.6%	7.8%	2.0%	
60歳代	118	0	8	30	0	4	0	17	49	6	4	
	100.0%	0.0%	6.8%	25.4%	0.0%	3.4%	0.0%	14.4%	41.5%	5.1%	3.4%	
70歳以上	170	0	7	11	0	3	0	17	110	16	6	
	100.0%	0.0%	4.1%	6.5%	0.0%	1.8%	0.0%	10.0%	64.7%	9.4%	3.5%	
無回答	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	
	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

(4) 職場における性別による処遇の違い

【問8-1で雇用者「7」又は「8」と答えた方のみ回答】

問9 あなたの職場では、性別によって処遇が異なりますか。(いくつでも○)

[全体] (図表 5-9)

職場における性別による処遇の違いについて聞いたところ、「特に性別により処遇が異なっていることはない」(44.1%)という回答が最も高く、次いで「賃金に格差がある」(22.0%)、「女性に補助的な業務や雑用に従事させる傾向がある」(19.1%)、「昇進・昇格に格差がある」(14.4%)、「管理職への登用に差がある」(13.2%)、「募集・採用の機会に格差がある」(12.0%)などの順となっている。

約半数の人が職場における性別による処遇の違いを感じている。

[性別／性・年代別] (図表 5-10、5-11)

性別で見ると、「特に性別により処遇が異なっていることはない」という回答割合は女性が男性を7.0ポイント上回っている反面、「賃金に格差がある」という回答割合は、女性が男性を5.7ポイント上回っている。

逆に、「昇進・昇格に格差がある」、「管理職への登用に差がある」、「募集・採用の機会に格差がある」といった項目の回答割合は、男性が女性を上回っている。

一方、性・年代別で見ると、男性では年代が若くなるほど「特に性別によって処遇が異なっていることはない」という回答割合が高くなっている。

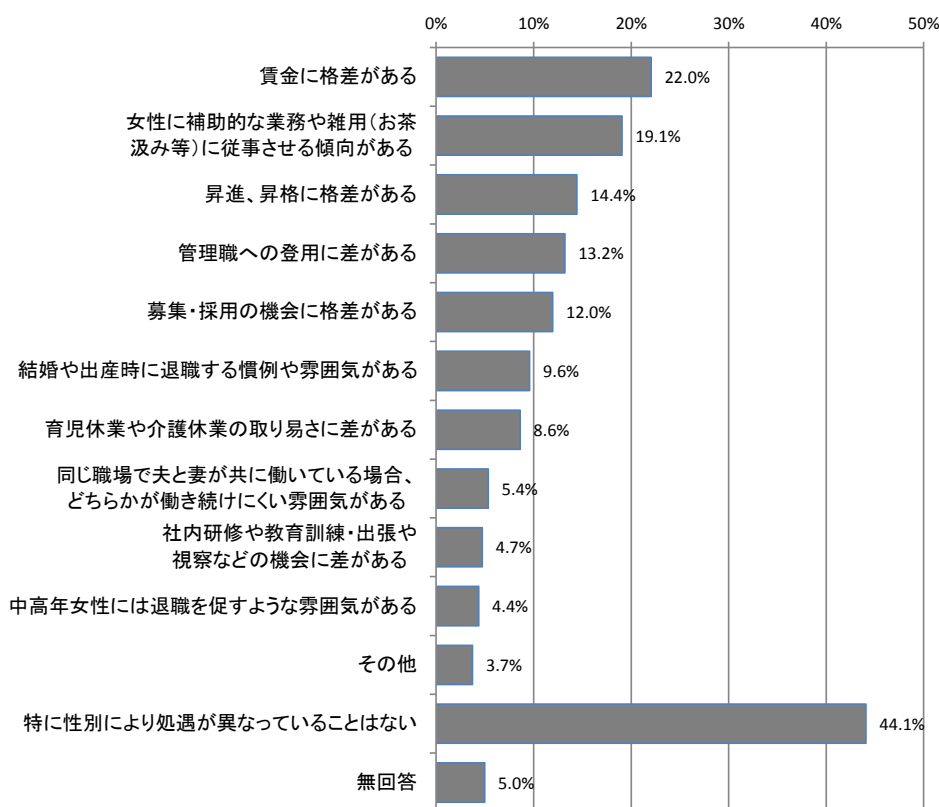
また、女性では年代が高くなるほど「特に性別によって処遇が異なっていることはない」という回答割合が高くなっている。

このように、年代別の回答傾向は、男性と女性ではまったく異なった回答傾向を示している。

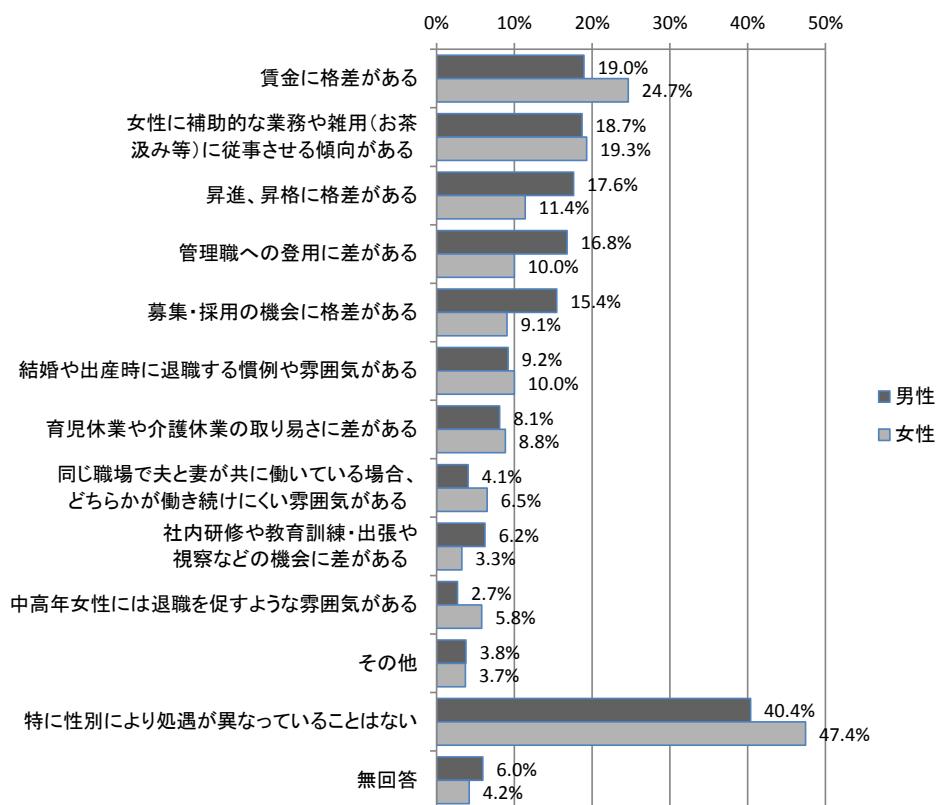
[前回調査との比較] (図表 5-12)

前回調査と比較すると、「特に性別により処遇が異なっていることはない」という回答が5.8ポイント増加しているのに対し、他の項目の多くは回答割合が減少しており、職場における性別による処遇の違いは改善される傾向にあることがうかがえる。

図表 5-9 職場における性別による処遇の違い



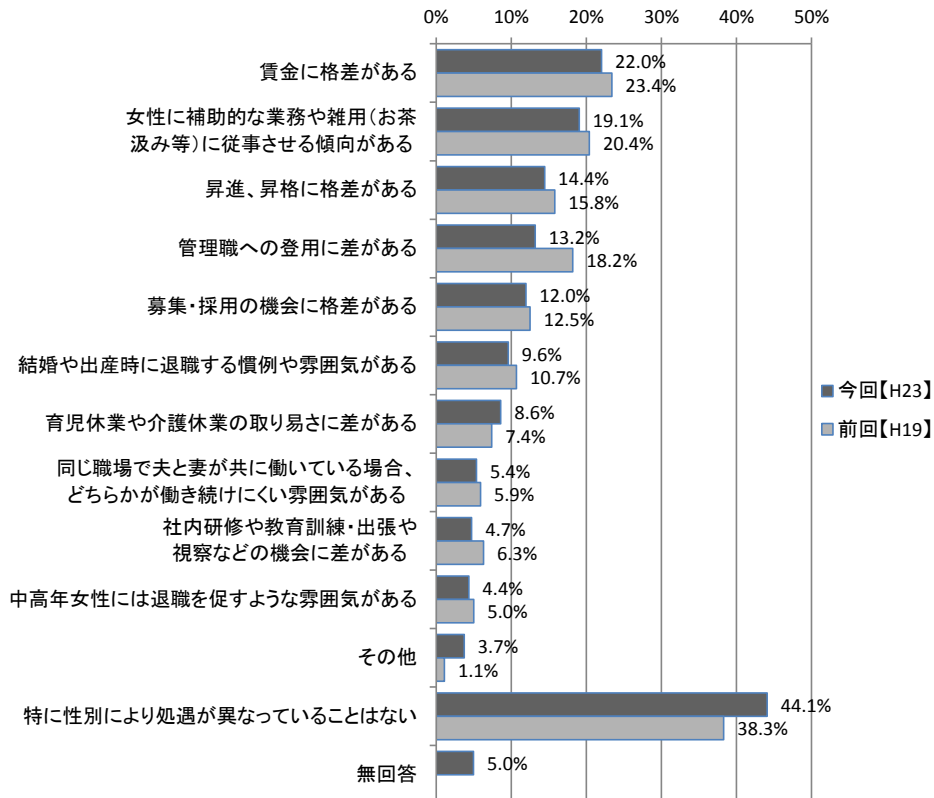
図表 5-10 職場における性別による処遇の違い【性別】



図表 5-11 職場における性別による処遇の違い【性・年代別】

	サンプル数	募集・採用の機会に格差がある	賃金に格差がある	女性に補助的な業務や雑用（お茶汲み等）に従事させる傾向がある	昇進・昇格に格差がある	管理職への登用に差がある	結婚や出産時に退職する慣例や雰囲気がある	中高年女性には退職を促すような雰囲気がある	社内研修や教育訓練・出張や視察などの機会に差がある	育児休業や介護休業の取り易さに差がある	同じ職場で夫と妻が共に働いている場合、どちらかが働き続けにくい雰囲気がある	その他	特に性別により処遇が異なっていることはない	無回答	
総数	803	96	177	153	116	106	77	35	38	69	43	30	354	40	
	100.0%	12.0%	22.0%	19.1%	14.4%	13.2%	9.6%	4.4%	4.7%	8.6%	5.4%	3.7%	44.1%	5.0%	
性・年代別	男性	369	57	70	69	65	62	34	10	23	30	15	14	149	22
		100.0%	15.4%	19.0%	18.7%	17.6%	16.8%	9.2%	2.7%	6.2%	8.1%	4.1%	3.8%	40.4%	6.0%
	20歳代	40	5	6	3	6	4	4	2	2	2	3	4	20	2
		100.0%	12.5%	15.0%	7.5%	15.0%	10.0%	10.0%	5.0%	5.0%	5.0%	7.5%	10.0%	50.0%	5.0%
	30歳代	64	5	3	13	10	5	5	1	1	10	2	2	30	1
		100.0%	7.8%	4.7%	20.3%	15.6%	7.8%	7.8%	1.6%	1.6%	15.6%	3.1%	3.1%	46.9%	1.6%
	40歳代	85	12	15	15	17	16	8	1	4	11	3	3	34	5
		100.0%	14.1%	17.6%	17.6%	20.0%	18.8%	9.4%	1.2%	4.7%	12.9%	3.5%	3.5%	40.0%	5.9%
	50歳代	102	18	22	19	16	25	9	2	8	5	6	2	46	3
		100.0%	17.6%	21.6%	18.6%	15.7%	24.5%	8.8%	2.0%	7.8%	4.9%	5.9%	2.0%	45.1%	2.9%
	60歳代	68	15	22	19	14	11	8	4	7	2	1	2	18	6
		100.0%	22.1%	32.4%	27.9%	20.6%	16.2%	11.8%	5.9%	10.3%	2.9%	1.5%	2.9%	26.5%	8.8%
	70歳以上	10	2	2	0	2	1	0	0	1	0	0	1	1	5
		100.0%	20.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	50.0%
	女性	430	39	106	83	49	43	43	25	14	38	28	16	204	18
		100.0%	9.1%	24.7%	19.3%	11.4%	10.0%	10.0%	5.8%	3.3%	8.8%	6.5%	3.7%	47.4%	4.2%
	20歳代	46	6	11	12	8	7	15	2	5	7	5	2	17	0
	100.0%	13.0%	23.9%	26.1%	17.4%	15.2%	32.6%	4.3%	10.9%	15.2%	10.9%	4.3%	37.0%	0.0%	
30歳代	85	8	19	23	12	9	15	2	2	13	6	3	34	4	
	100.0%	9.4%	22.4%	27.1%	14.1%	10.6%	17.6%	2.4%	2.4%	15.3%	7.1%	3.5%	40.0%	4.7%	
40歳代	114	9	28	21	16	18	10	6	4	9	10	4	52	2	
	100.0%	7.9%	24.6%	18.4%	14.0%	15.8%	8.8%	5.3%	3.5%	7.9%	8.8%	3.5%	45.6%	1.8%	
50歳代	116	13	29	17	10	5	2	10	1	7	5	4	64	4	
	100.0%	11.2%	25.0%	14.7%	8.6%	4.3%	1.7%	8.6%	0.9%	6.0%	4.3%	3.4%	55.2%	3.4%	
60歳代	59	2	17	9	3	3	0	4	2	0	2	3	32	5	
	100.0%	3.4%	28.8%	15.3%	5.1%	5.1%	0.0%	6.8%	3.4%	0.0%	3.4%	5.1%	54.2%	8.5%	
70歳以上	10	1	2	1	0	1	1	1	0	2	0	0	5	3	
	100.0%	10.0%	20.0%	10.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	50.0%	30.0%	

図表 5-12 職場における性別による処遇の違い【前回調査との比較】



6. 仕事と家庭・地域への取組について

(1) 地域における活動への参加状況

【全員が回答】

問10-1 あなたは、現在、次のような地域における活動に参加していますか。(いくつでも○)

[全体] (図表 6-1)

地域における活動への参加状況について聞いたところ、「自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動」(36.7%)、「スポーツや趣味、文化振興などに関わるサークル活動」(16.9%)、「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」(15.0%)、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動にかかわる団体活動」(13.5%)などの順となっている。

約6割の人が地域活動へ参加しているが、「特に何もしていない」人も約4割いる。

[性別／性・年代別] (図表 6-2、6-3)

性別で見ると、「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動にかかわる団体活動」について、女性が男性よりも回答割合が高くなっているが、回答傾向に大きな違いはみられない。

一方、性・年代別で見ると、男女ともに年代が若くなるほど「特に何もしていない」という回答割合が高くなっている。

また、男性の70歳代、女性の60歳代、70歳代で「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」という回答割合が高く、男性の40歳代、女性の30歳代、40歳代で「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動にかかわる団体活動」という回答割合が高くなっている。

[職業別] (図表 6-4)

職業別で見ると、男性、女性ともに、雇用者および無職では「特に何もしていない」という回答の割合が高くなっている。

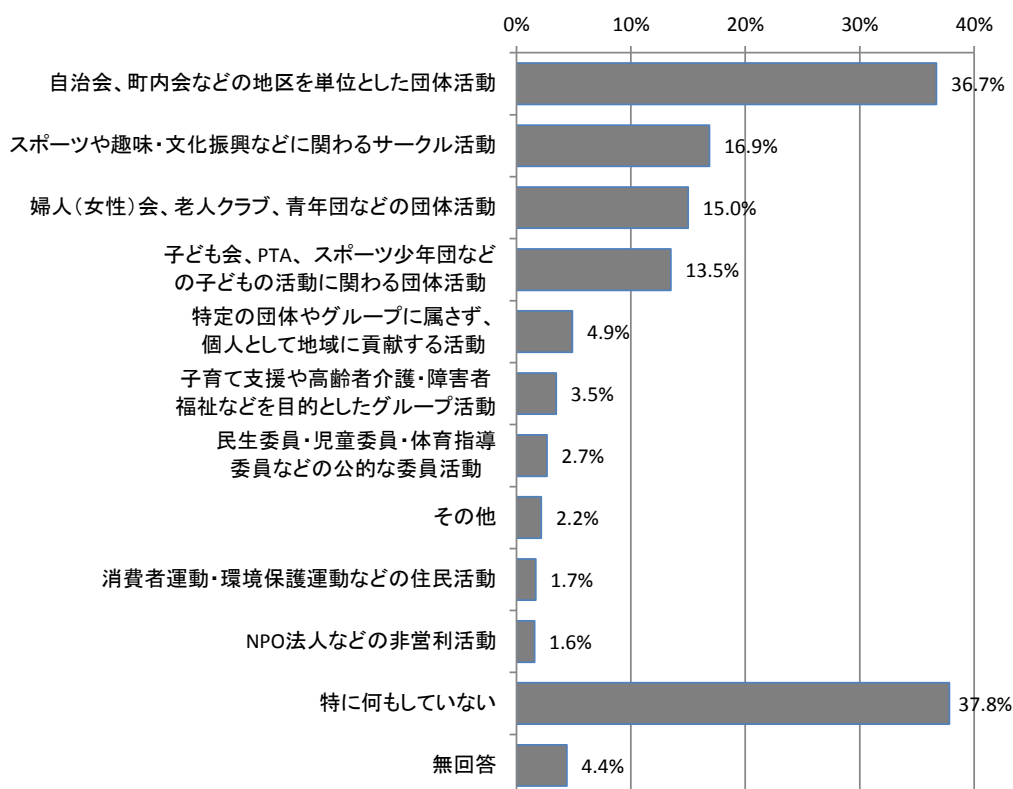
一方で、男性の自営業者では「自治会、町内会などの地区を単位とした団体活動」という回答の割合が高く、男性の家族従業者では「自治会・町内会などの地区を単位とした団体活動」、「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」、「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動にかかわる団体活動」という回答の割合が高くなっている。

また、女性の自営業主では「婦人(女性)会、老人クラブ、青年団などの団体活動」という回答の割合が、女性の雇用者では「子ども会、PTA、スポーツ少年団などの子どもの活動にかかわる団体活動」という回答の割合が高くなっている。

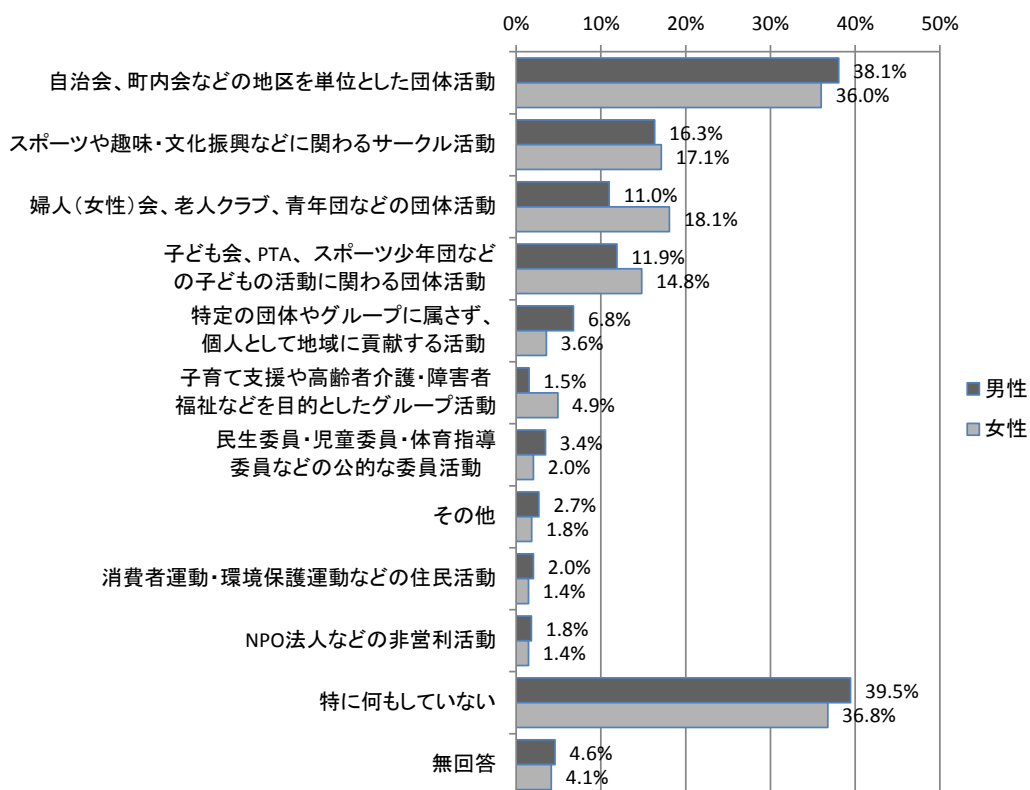
[前回調査との比較] (図表 6-5)

前回調査と比較しても、回答傾向に大きな違いはみられない。

図表 6-1 地域における活動への参加状況



図表 6-2 地域における活動への参加状況【性別】



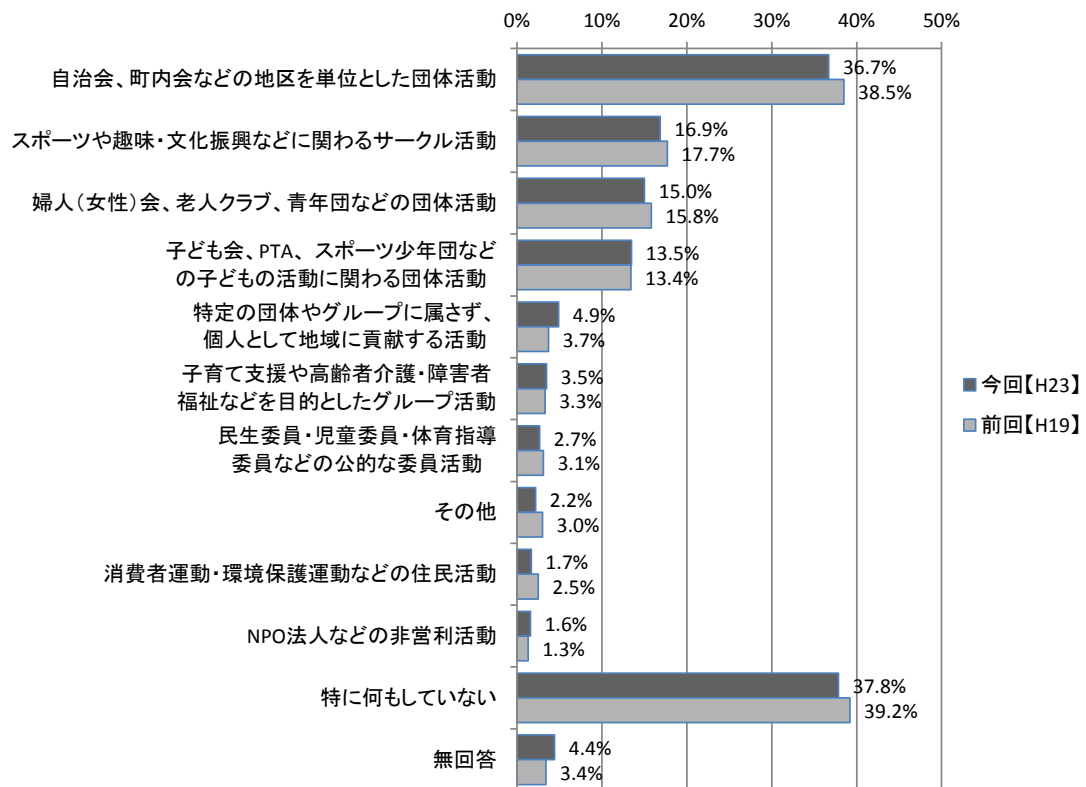
図表 6-3 地域における活動への参加状況【性・年代別】

		サンプル数	を自治会、町内会などの地区単位とした団体活動	ブ、婦、人（女性）青年団などの会、老人クラブ	動に少関る年団の活	子ども会、PTA、スポーツ	な消費者運動・環境保護運動	活動指導委員などの公的委員	民生委員・児童委員・体育	た障害者福祉などを目的とし	障育て支援や高齢者介護し	動 N P O 法人などの非営利活	献さ特定の団体やグループに属	なスポーツや趣味・文化振興	その他	特に何もしていない	無回答
総数		1,839 100.0%	675 36.7%	276 15.0%	248 13.5%	31 1.7%	49 2.7%	64 3.5%	29 1.6%	90 4.9%	310 16.9%	40 2.2%	696 37.8%	81 4.4%			
性・年代別	男性	783 100.0%	298 38.1%	86 11.0%	93 11.9%	16 2.0%	27 3.4%	12 1.5%	14 1.8%	53 6.8%	128 16.3%	21 2.7%	309 39.5%	36 4.6%			
	20歳代	51 100.0%	5 9.8%	3 5.9%	2 3.9%	0 0.0%	1 2.0%	0 0.0%	0 0.0%	2 3.9%	11 21.6%	0 0.0%	33 64.7%	0 0.0%			
	30歳代	85 100.0%	23 27.1%	7 8.2%	12 14.1%	0 0.0%	3 3.5%	1 1.2%	3 3.5%	2 2.4%	20 23.5%	1 1.2%	44 51.8%	1 1.2%			
	40歳代	106 100.0%	39 36.8%	8 7.5%	33 31.1%	1 0.9%	4 3.8%	0 0.0%	3 2.8%	4 3.8%	15 14.2%	1 0.9%	45 42.5%	1 0.9%			
	50歳代	165 100.0%	82 49.7%	10 6.1%	25 15.2%	3 1.8%	4 2.4%	2 1.2%	2 1.2%	7 4.2%	25 15.2%	3 1.8%	56 33.9%	7 4.2%			
	60歳代	188 100.0%	84 44.7%	11 5.9%	12 6.4%	9 4.8%	9 4.8%	5 2.7%	4 2.1%	16 8.5%	28 14.9%	7 3.7%	62 33.0%	13 6.9%			
	70歳以上	188 100.0%	65 34.6%	47 25.0%	9 4.8%	3 1.6%	6 3.2%	4 2.1%	2 1.1%	22 11.7%	29 15.4%	9 4.8%	69 36.7%	14 7.4%			
	女性	1,039 100.0%	374 36.0%	188 18.1%	154 14.8%	15 1.4%	21 2.0%	51 4.9%	15 1.4%	37 3.6%	178 17.1%	19 1.8%	382 36.8%	43 4.1%			
	20歳代	68 100.0%	7 10.3%	1 1.5%	4 5.9%	0 0.0%	0 0.0%	3 4.4%	0 0.0%	0 0.0%	8 11.8%	0 0.0%	46 67.6%	0 0.0%			
	30歳代	138 100.0%	37 26.8%	12 8.7%	54 39.1%	0 0.0%	0 0.0%	8 5.8%	1 0.7%	1 0.7%	14 10.1%	1 0.7%	58 42.0%	2 1.4%			
	40歳代	159 100.0%	77 48.4%	21 13.2%	78 49.1%	3 1.9%	3 1.9%	10 6.3%	5 3.1%	4 2.5%	26 16.4%	1 0.6%	43 27.0%	4 2.5%			
	50歳代	204 100.0%	82 40.2%	35 17.2%	14 6.9%	0 0.0%	5 2.5%	6 2.9%	4 2.0%	4 2.0%	34 16.7%	5 2.5%	76 37.3%	8 3.9%			
	60歳代	223 100.0%	110 49.3%	45 20.2%	2 0.9%	3 1.3%	10 4.5%	15 6.7%	4 1.8%	13 5.8%	58 26.0%	8 3.6%	65 29.1%	7 3.1%			
	70歳以上	246 100.0%	60 24.4%	74 30.1%	1 0.4%	6 2.4%	3 1.2%	8 3.3%	1 0.4%	15 6.1%	37 15.0%	4 1.6%	94 38.2%	22 8.9%			
	無回答	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%			

図表 6-4 地域における活動への参加状況【性・職業別】

		サンプル数	を自治会、町内会などの地区単位とした団体活動	ブ、婦、人（女性）青年団などの会、老人クラブ	動に少関る年団の活	子ども会、PTA、スポーツ	な消費者運動・環境保護運動	活動指導委員などの公的委員	民生委員・児童委員・体育	た障害者福祉などを目的とし	障育て支援や高齢者介護し	動 N P O 法人などの非営利活	献さ特定の団体やグループに属	なスポーツや趣味・文化振興	その他	特に何もしていない	無回答
性別・職業別	男性	自営業主	147 100.0%	75 51.0%	21 14.3%	16 10.9%	4 2.7%	8 5.4%	7 4.8%	6 4.1%	16 10.9%	23 15.6%	7 4.8%	37 25.2%	7 4.8%		
		家族従事者	25 100.0%	15 60.0%	8 32.0%	5 20.0%	0 0.0%	1 4.0%	0 0.0%	0 0.0%	3 12.0%	3 12.0%	0 0.0%	5 20.0%	2 8.0%		
		雇用者	369 100.0%	132 35.8%	23 6.2%	65 17.6%	6 1.6%	13 3.5%	4 1.1%	5 1.4%	15 4.1%	68 18.4%	6 1.6%	158 42.8%	9 2.4%		
		無職	209 100.0%	64 30.6%	32 15.3%	3 1.4%	5 2.4%	5 2.4%	0 0.0%	2 1.0%	15 7.2%	30 14.4%	6 2.9%	101 48.3%	13 6.2%		
	女性	自営業主	79 100.0%	33 41.8%	27 34.2%	9 11.4%	2 2.5%	1 1.3%	2 2.5%	1 1.3%	4 5.1%	3 3.8%	12 15.2%	1 1.3%	17 21.5%	2 2.5%	
		家族従事者	47 100.0%	19 40.4%	10 21.3%	4 8.5%	1 2.1%	3 6.4%	3 6.4%	0 0.0%	1 2.1%	7 14.9%	2 4.3%	13 27.7%	7 14.9%		
		雇用者	430 100.0%	163 37.9%	56 13.0%	93 21.6%	4 0.9%	5 1.2%	14 3.3%	5 1.2%	9 2.1%	62 14.4%	7 1.6%	171 39.8%	10 2.3%		
		無職	429 100.0%	147 34.3%	81 18.9%	46 10.7%	8 1.9%	11 2.6%	31 7.2%	6 1.4%	22 5.1%	92 21.4%	9 2.1%	161 37.5%	14 3.3%		

図表 6-5 地域における活動への参加状況【前回調査との比較】



(2) 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度

【全員が回答】

問 11-1 生活の中での、「仕事」、「家庭生活」、「地域・個人の生活」（地域活動・学習・趣味・付き合い等）の優先度について、あなたはどのようにお考えですか。（1つに○）

問 11-2 それでは、あなたの希望はどれに当てはまりますか。（1つに○）

[全体]（図表 6-6、6-10）

男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度の現状について聞いたところ、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」（23.5%）という回答が最も高く、次いで「「家庭生活」を優先している」（22.0%）、「「仕事」を優先している」（18.7%）、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している」（10.8%）、「「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している」（10.4%）などの順となっている。

また、希望について聞いたところ、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」（25.3%）という回答が最も高く、次いで「「家庭生活」を優先したい」（23.4%）、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」（17.5%）などの順となっている。

現状と比べると、「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」という回答割合が 6.7 ポイント増加しているのに対し、「「仕事」を優先したい」という回答割合が 13.0 ポイント減少している。

[性別／性・年代別]（図表 6-6、6-7、6-10、6-11）

現状について性別でみると、男性では「「仕事」を優先している」という回答割合が女性を 15.0 ポイント上回るのに対し、女性では「「家庭生活」を優先している」という回答割合が男性を 16.8 ポイント上回っており、仕事優先の男性、家庭優先の女性という回答傾向の違いがみられる。

一方、性・年代別で見ると、男性では 20 歳代、50～60 歳代では「「仕事」を優先している」という回答割合が高いのに対し、30～40 歳代では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」という回答割合が高く、70 歳代では「「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している」という回答割合が高くなっている。

また、女性では 20 歳代で「「仕事」を優先している」、「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」という回答割合が高く、40 歳代、50 歳代で「「仕事」と「家庭生活」をともに優先している」という回答割合が高くなっている。

希望については、女性で「「家庭生活」を優先したい」という回答割合が男性を 9.1 ポイント上回っている。現状と比べると、男女ともに「「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」という回答割合が増加するのに対し、特に男性で「「仕事」を優先したい」という回答が大きく減少している。

性・年代別で見ると、男性では 20～60 歳代では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」という回答割合が高いのに対し、70 歳代では「「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」という回答割合が高くなっている。

また、女性では、30～50 歳代では「「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」という回答割合が高いのに対し、60～70 歳代では「「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」という回答割合が高くなっている。

[職業別]（図表 6-8、6-12）

現状について職業別でみると、男性の自営業主および雇用者では「「仕事」を優先している」という回答の割合が高くなっている。また、男女ともに無職では「「家庭生活」を優先している」、

「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している」という回答の割合が高くなっている。

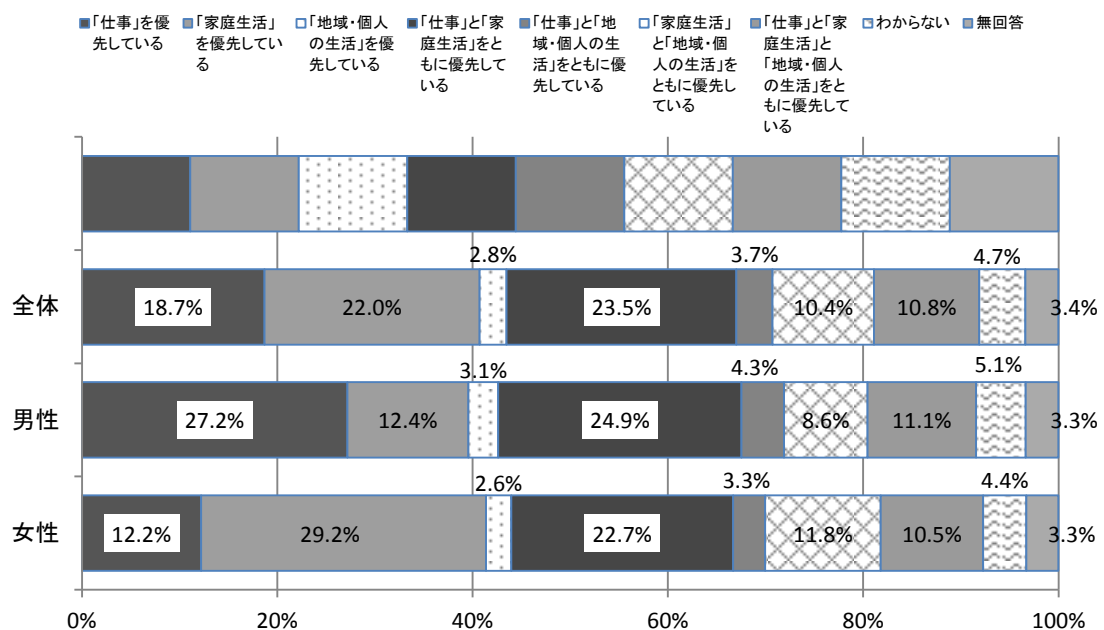
一方、希望については、男性の自営業主、雇用者および女性の雇用者では「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」という回答割合が高いのに対し、男性の家族従業者、無職および女性の無職では「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」という回答割合が高くなっている。

[内閣府調査との比較] (図表 6-9、6-13)

内閣府調査と比較すると、現状については、「仕事」を優先している、「家庭生活」を優先している」という回答の割合が低いのに対し、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している、「仕事」と「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している」という回答の割合が高くなっている。

一方、希望については、「家庭生活」を優先したい、「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい」という回答割合が低くなっているのに対し、「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先したい」という回答の割合が高くなっている。

図表 6-6 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度(現状)



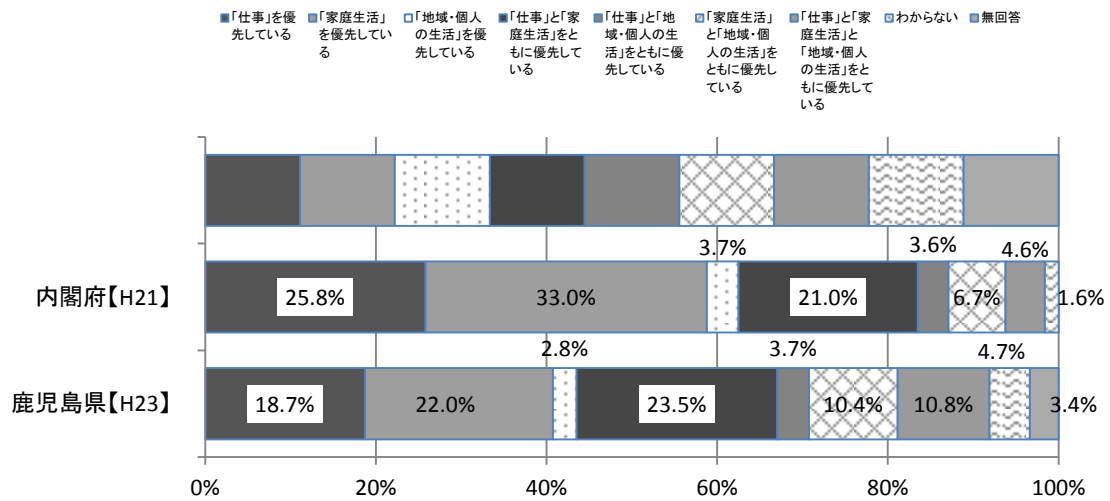
図表 6-7 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度(現状)【性・年代別】

	サンプル数	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	無回答
総数	1,839	344	405	51	433	68	191	198	87	62	
	100.0%	18.7%	22.0%	2.8%	23.5%	3.7%	10.4%	10.8%	4.7%	3.4%	
男性	783	213	97	24	195	34	67	87	40	26	
	100.0%	27.2%	12.4%	3.1%	24.9%	4.3%	8.6%	11.1%	5.1%	3.3%	
20歳代	51	17	2	1	16	5	3	3	4	0	
	100.0%	33.3%	3.9%	2.0%	31.4%	9.8%	5.9%	5.9%	7.8%	0.0%	
30歳代	85	28	8	2	32	1	0	9	5	0	
	100.0%	32.9%	9.4%	2.4%	37.6%	1.2%	0.0%	10.6%	5.9%	0.0%	
40歳代	106	35	12	1	38	8	0	9	3	0	
	100.0%	33.0%	11.3%	0.9%	35.8%	7.5%	0.0%	8.5%	2.8%	0.0%	
50歳代	165	67	11	1	47	5	2	24	3	5	
	100.0%	40.6%	6.7%	0.6%	28.5%	3.0%	1.2%	14.5%	1.8%	3.0%	
60歳代	188	49	26	7	36	11	20	23	10	6	
	100.0%	26.1%	13.8%	3.7%	19.1%	5.9%	10.6%	12.2%	5.3%	3.2%	
70歳以上	188	17	38	12	26	4	42	19	15	15	
	100.0%	9.0%	20.2%	6.4%	13.8%	2.1%	22.3%	10.1%	8.0%	8.0%	
女性	1,039	127	303	27	236	34	123	109	46	34	
	100.0%	12.2%	29.2%	2.6%	22.7%	3.3%	11.8%	10.5%	4.4%	3.3%	
20歳代	68	17	11	3	20	7	2	5	3	0	
	100.0%	25.0%	16.2%	4.4%	29.4%	10.3%	2.9%	7.4%	4.4%	0.0%	
30歳代	138	22	49	0	30	6	11	14	3	3	
	100.0%	15.9%	35.5%	0.0%	21.7%	4.3%	8.0%	10.1%	2.2%	2.2%	
40歳代	159	21	43	1	56	4	4	26	1	3	
	100.0%	13.2%	27.0%	0.6%	35.2%	2.5%	2.5%	16.4%	0.6%	1.9%	
50歳代	204	34	45	1	70	6	15	22	6	5	
	100.0%	16.7%	22.1%	0.5%	34.3%	2.9%	7.4%	10.8%	2.9%	2.5%	
60歳代	223	26	60	12	39	7	44	26	4	5	
	100.0%	11.7%	26.9%	5.4%	17.5%	3.1%	19.7%	11.7%	1.8%	2.2%	
70歳以上	246	7	95	10	21	4	46	16	29	18	
	100.0%	2.8%	38.6%	4.1%	8.5%	1.6%	18.7%	6.5%	11.8%	7.3%	
無回答	1	0	0	0	0	0	1	0	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

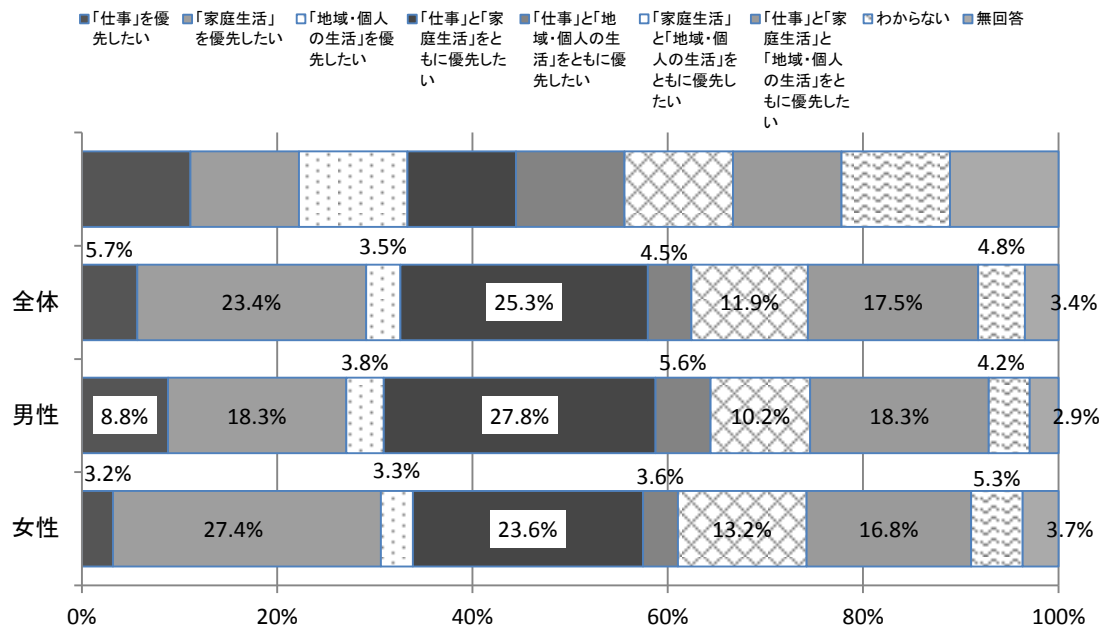
図表 6-8 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度(現状)【性・職業別】

	サンプル数	「仕事」を優先している	「家庭生活」を優先している	「地域・個人の生活」を優先している	「仕事」と「家庭生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「仕事」と「地域・個人の生活」をともに優先している	「家庭生活」と「地域・個人の生活」をともに優先している	わからない	無回答
男性	147	55	9	3	31	9	6	25	2	7	
	100.0%	37.4%	6.1%	2.0%	21.1%	6.1%	4.1%	17.0%	1.4%	4.8%	
家族従事者	25	3	3	3	8	1	3	4	0	0	
	100.0%	12.0%	12.0%	12.0%	32.0%	4.0%	12.0%	16.0%	0.0%	0.0%	
雇用者	369	136	28	2	132	14	4	45	4	4	
	100.0%	36.9%	7.6%	0.5%	35.8%	3.8%	1.1%	12.2%	1.1%	1.1%	
無職	209	14	53	15	16	8	50	11	31	11	
	100.0%	6.7%	25.4%	7.2%	7.7%	3.8%	23.9%	5.3%	14.8%	5.3%	
女性	79	19	8	2	24	6	5	12	1	2	
	100.0%	24.1%	10.1%	2.5%	30.4%	7.6%	6.3%	15.2%	1.3%	2.5%	
家族従事者	47	7	8	0	17	1	2	6	4	2	
	100.0%	14.9%	17.0%	0.0%	36.2%	2.1%	4.3%	12.8%	8.5%	4.3%	
雇用者	430	92	63	4	165	17	15	68	0	6	
	100.0%	21.4%	14.7%	0.9%	38.4%	4.0%	3.5%	15.8%	0.0%	1.4%	
無職	429	4	212	21	24	7	90	19	36	16	
	100.0%	0.9%	49.4%	4.9%	5.6%	1.6%	21.0%	4.4%	8.4%	3.7%	

図表 6-9 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度(現状)【内閣府調査との比較】



図表 6-10 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度(希望)



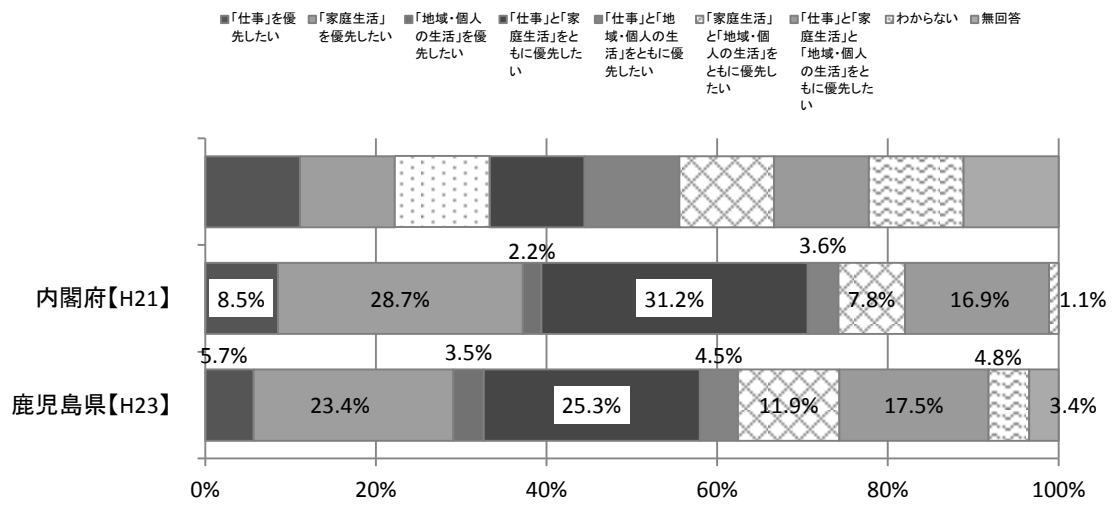
図表 6-11 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度(希望)【性・年代別】

	サンプル数	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先した	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先したい	「個人生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい	「仕事」と「個人生活」をともに優先したい	「地域・個人生活」と「家庭生活」をともに優先したい	わからない	無回答
総数	1,839	104	431	65	466	82	219	321	88	63	
	100.0%	5.7%	23.4%	3.5%	25.3%	4.5%	11.9%	17.5%	4.8%	3.4%	
性・年代別	男性	783	69	143	30	218	44	80	143	33	23
		100.0%	8.8%	18.3%	3.8%	27.8%	5.6%	10.2%	18.3%	4.2%	2.9%
	20歳代	51	3	7	3	16	6	3	10	2	1
		100.0%	5.9%	13.7%	5.9%	31.4%	11.8%	5.9%	19.6%	3.9%	2.0%
	30歳代	85	9	19	5	29	2	1	15	5	0
		100.0%	10.6%	22.4%	5.9%	34.1%	2.4%	1.2%	17.6%	5.9%	0.0%
	40歳代	106	5	21	2	44	8	5	18	2	1
		100.0%	4.7%	19.8%	1.9%	41.5%	7.5%	4.7%	17.0%	1.9%	0.9%
	50歳代	165	20	29	2	55	4	8	39	6	2
		100.0%	12.1%	17.6%	1.2%	33.3%	2.4%	4.8%	23.6%	3.6%	1.2%
	60歳代	188	19	30	6	49	13	20	37	8	6
		100.0%	10.1%	16.0%	3.2%	26.1%	6.9%	10.6%	19.7%	4.3%	3.2%
	70歳以上	188	13	37	12	25	11	43	24	10	13
		100.0%	6.9%	19.7%	6.4%	13.3%	5.9%	22.9%	12.8%	5.3%	6.9%
	女性	1,039	33	285	34	245	37	137	175	55	38
		100.0%	3.2%	27.4%	3.3%	23.6%	3.6%	13.2%	16.8%	5.3%	3.7%
	20歳代	68	2	15	3	18	7	4	15	4	0
	100.0%	2.9%	22.1%	4.4%	26.5%	10.3%	5.9%	22.1%	5.9%	0.0%	
30歳代	138	2	46	2	43	4	8	25	5	3	
	100.0%	1.4%	33.3%	1.4%	31.2%	2.9%	5.8%	18.1%	3.6%	2.2%	
40歳代	159	5	42	2	53	7	8	35	6	1	
	100.0%	3.1%	26.4%	1.3%	33.3%	4.4%	5.0%	22.0%	3.8%	0.6%	
50歳代	204	10	47	3	70	10	12	41	5	6	
	100.0%	4.9%	23.0%	1.5%	34.3%	4.9%	5.9%	20.1%	2.5%	2.9%	
60歳代	223	11	58	10	43	6	50	32	7	6	
	100.0%	4.9%	26.0%	4.5%	19.3%	2.7%	22.4%	14.3%	3.1%	2.7%	
70歳以上	246	3	77	14	18	3	55	26	28	22	
	100.0%	1.2%	31.3%	5.7%	7.3%	1.2%	22.4%	10.6%	11.4%	8.9%	
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

図表 6-12 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度(希望)【性・職業別】

	サンプル数	「仕事」を優先したい	「家庭生活」を優先した	「地域・個人の生活」を優先したい	「仕事」と「家庭生活」をともに優先したい	「仕事」と「地域・個人生活」をともに優先したい	「個人生活」と「地域・個人生活」をともに優先したい	「仕事」と「個人生活」をともに優先したい	「地域・個人生活」と「家庭生活」をともに優先したい	わからない	無回答	
												総数
性別・職業別	男性	自営業主	147	20	17	4	47	14	5	35	2	3
			100.0%	13.6%	11.6%	2.7%	32.0%	9.5%	3.4%	23.8%	1.4%	2.0%
		家族従事者	25	1	3	0	6	2	5	8	0	0
			100.0%	4.0%	12.0%	0.0%	24.0%	8.0%	20.0%	32.0%	0.0%	0.0%
	雇用者	369	33	74	9	133	18	15	75	6	6	
		100.0%	8.9%	20.1%	2.4%	36.0%	4.9%	4.1%	20.3%	1.6%	1.6%	
	無職	209	12	45	16	23	8	52	22	23	8	
		100.0%	5.7%	21.5%	7.7%	11.0%	3.8%	24.9%	10.5%	11.0%	3.8%	
女性	自営業主	79	8	12	3	23	6	3	17	2	5	
		100.0%	10.1%	15.2%	3.8%	29.1%	7.6%	3.8%	21.5%	2.5%	6.3%	
	家族従事者	47	3	10	0	12	1	4	12	4	1	
		100.0%	6.4%	21.3%	0.0%	25.5%	2.1%	8.5%	25.5%	8.5%	2.1%	
雇用者	430	20	90	10	151	22	21	96	11	9		
	100.0%	4.7%	20.9%	2.3%	35.1%	5.1%	4.9%	22.3%	2.6%	2.1%		
無職	429	2	162	20	51	6	100	41	33	14		
	100.0%	0.5%	37.8%	4.7%	11.9%	1.4%	23.3%	9.6%	7.7%	3.3%		

図表 6-13 男女の仕事、家庭生活、地域活動の優先度(希望)【内閣府調査との比較】



(3) 男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために必要なこと

【全員が回答】

問 12 あなたは、今後、男性が女性とともに家事、子育て、介護、地域活動に積極的に参加していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。(3つ以内に○)

[全体] (図表 6-14)

男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために必要なことについて聞いたところ、「夫婦や家族間で互いの立場を理解し、コミュニケーションをよくはかること」(50.1%)という回答が最も高く、次いで「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」(38.7%)、「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」(34.5%)、「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること」(25.9%)、「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」(24.0%)などの順となっている。

[性別／性・年代別] (図表 6-15、6-16)

性別で見ると、「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」、「年配者や周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」といった項目については、女性の回答割合が男性を大きく上回っている。

一方、性・年代別で見ると、男女ともに年代が若くなるほど「労働時間短縮や休暇制度を普及することで、仕事以外の時間をより多く持てるようにすること」という回答割合が高くなっている。

また、男性では年代が高くなるほど「男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めるよう、啓発や情報提供を行うこと」という回答割合が高く、女性では年代が若くなるほど「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること」という回答割合が高くなっている。

[職業別] (図表 6-17)

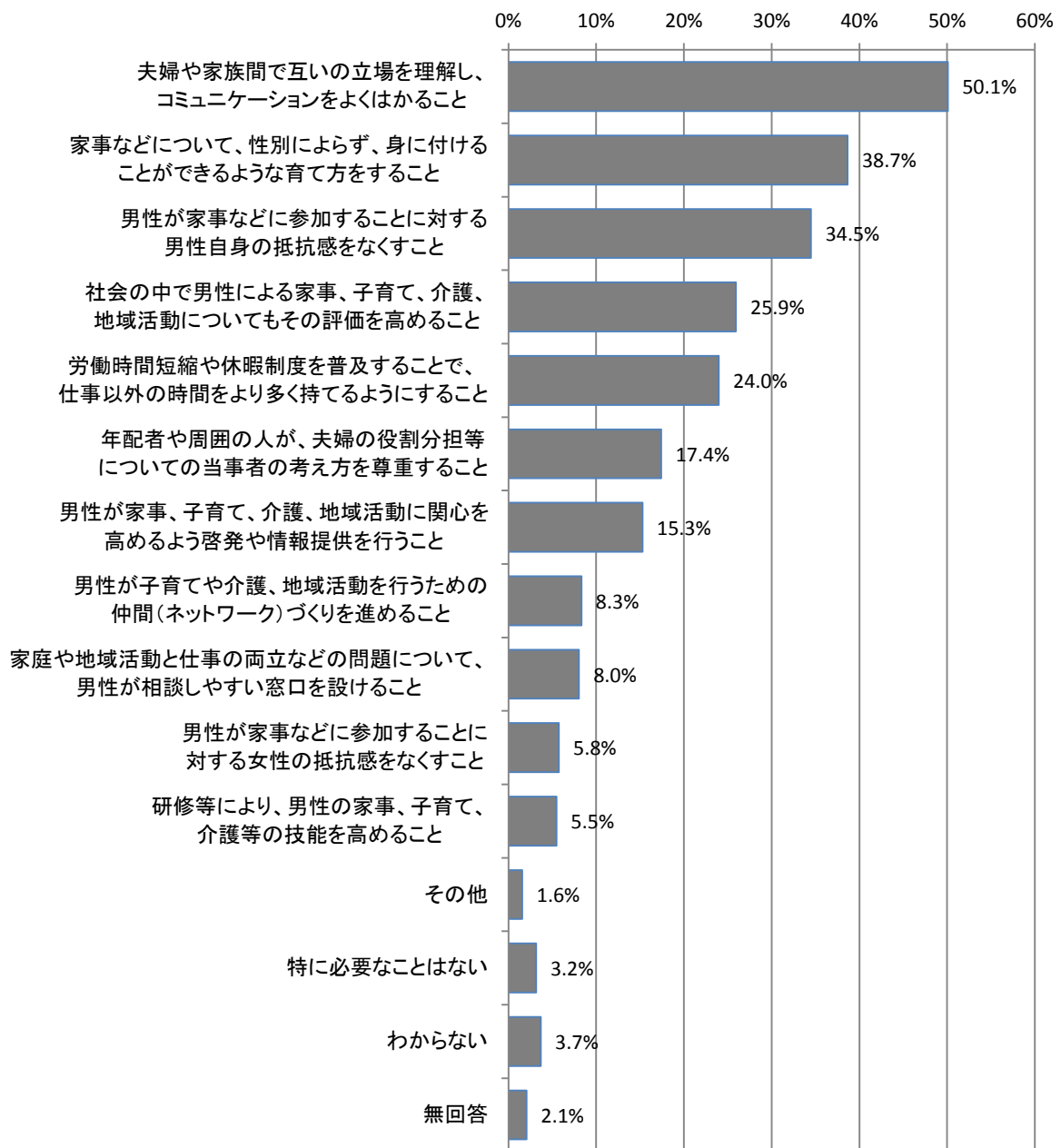
職業別で見ると、男性の家族従業者で「家庭と地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること」という回答の割合が、男性の雇用者では「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること」という回答の割合が、男性の無職では「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」という回答の割合が高くなっている。

一方、女性ではいずれの職業でも「家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること」という回答の割合が高い他に、家族従業者では「年配者や周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること」という回答の割合が、雇用者では「男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと」、「社会の中で男性による家事、子育て、介護、地域活動についてもその評価を高めること」という回答の割合が高くなっている。

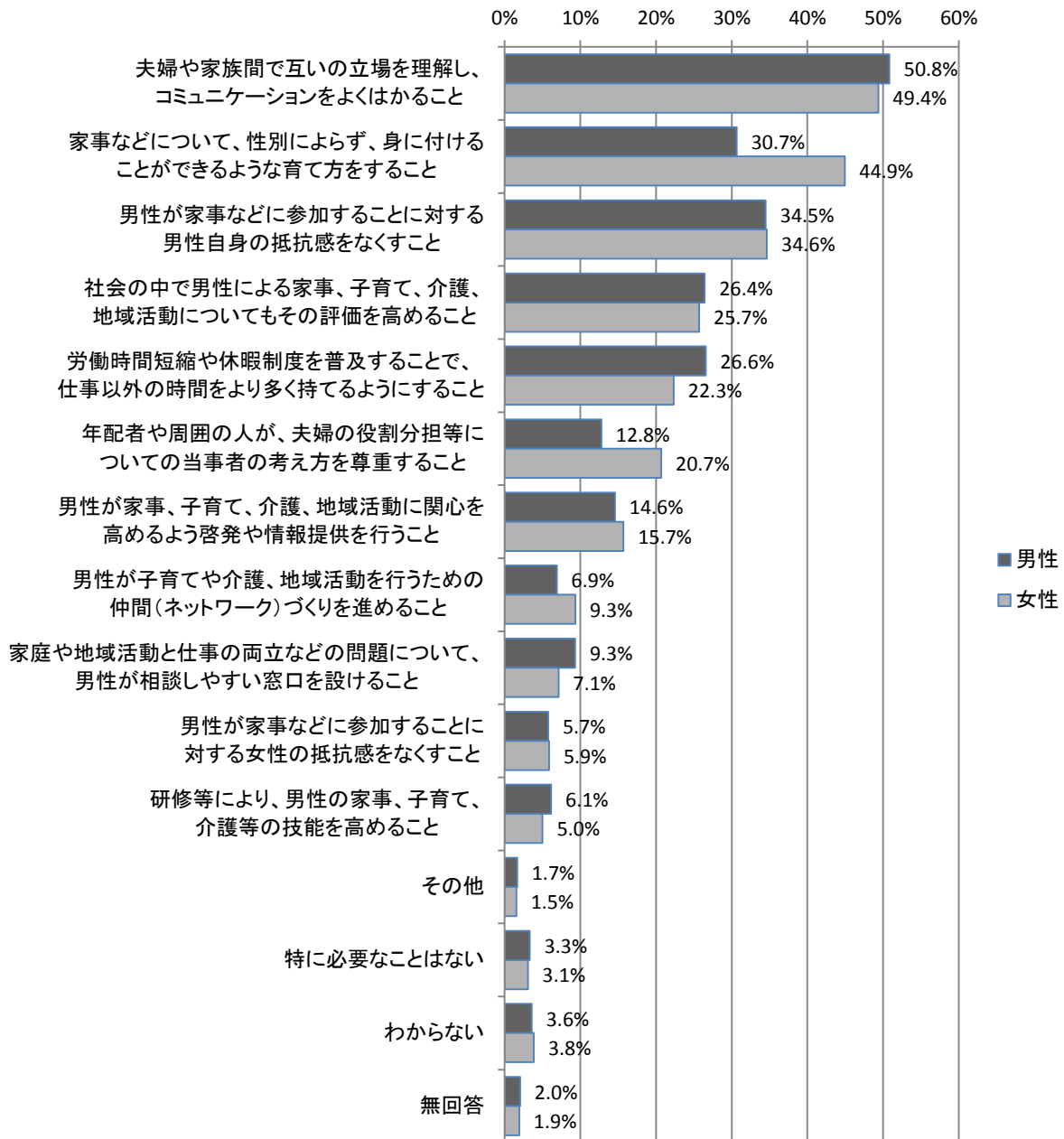
[前回調査との比較] (図表 6-18)

前回調査と比較しても、回答傾向に大きな違いはみられない。

図表 6-14 男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために必要なこと



図表 6-15 男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために必要なこと【性別】



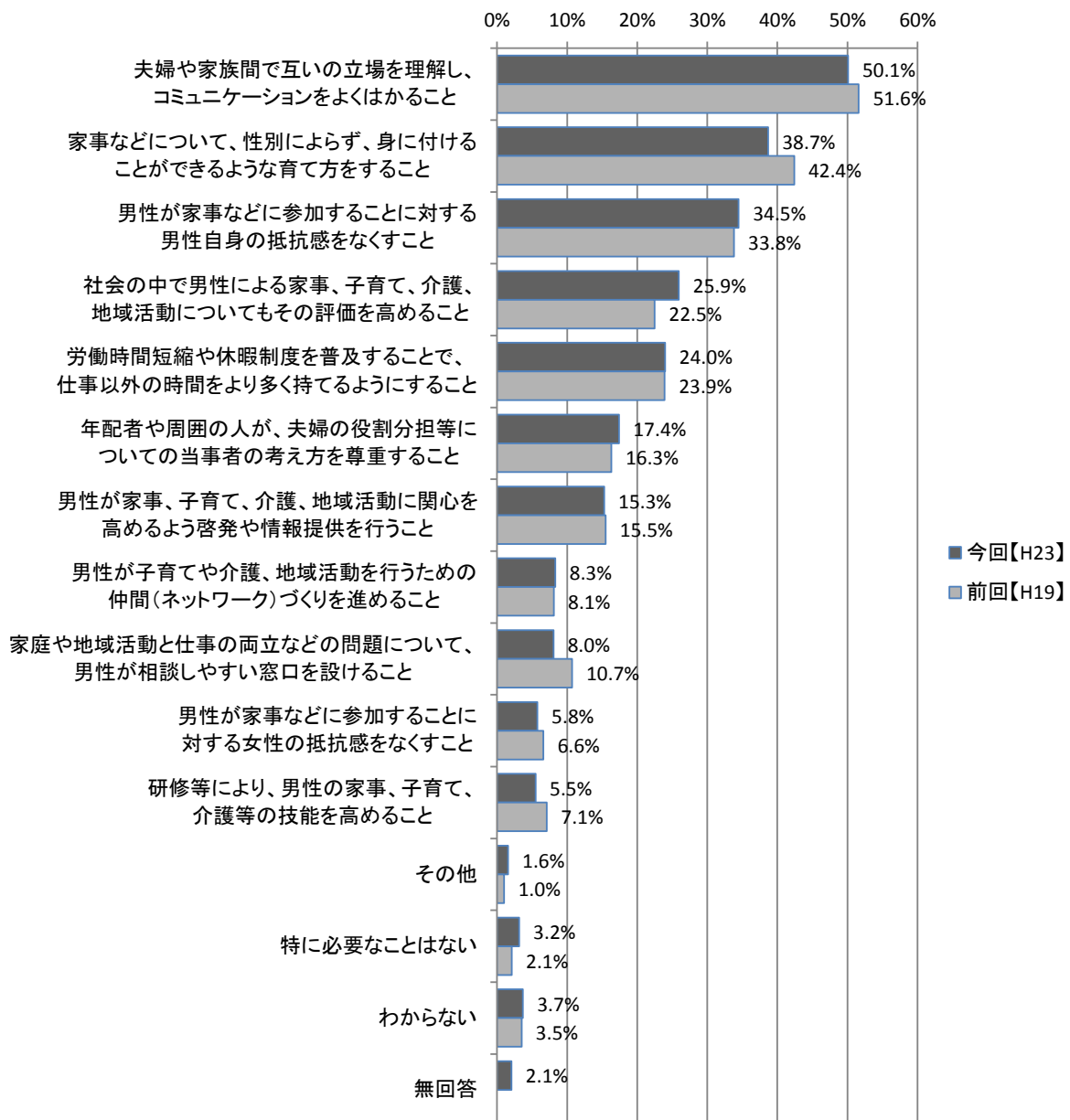
図表 6-16 男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために必要なこと【性・年代別】

	サンプル数	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	年配者や周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	社会の中で男性による家事、子育て、地域活動について、性別による評価を高めること	家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること	家事以外の時間短縮や休暇制度を普及すること	労働時間短縮や情報提供を行うこと	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めること	研修等により、男性の家事、子育て、介護等の技能を高めること	男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーキング）づくりを進めること	男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーキング）づくりを進めること	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答
総数	1,839	634	106	921	320	477	711	441	281	101	153	148	29	58	68	38		
男性	783	270	45	398	100	207	240	208	114	48	54	73	13	26	28	16		
20歳代	51	23	5	25	5	16	14	16	4	2	6	3	1	1	3	0		
30歳代	85	27	0	51	11	21	25	39	5	3	6	4	1	3	3	0		
40歳代	106	36	9	47	9	44	26	37	11	6	5	4	4	5	4	0		
50歳代	165	53	10	86	19	52	51	48	23	4	11	16	3	4	2	2		
60歳代	188	73	9	86	20	39	77	43	35	10	11	23	4	4	6	3		
70歳以上	188	58	12	103	36	35	47	25	36	23	15	18	0	9	10	11		
女性	1,039	360	61	513	215	267	467	232	163	52	97	74	16	32	40	20		
20歳代	68	25	0	37	11	34	20	24	8	1	10	2	0	1	2	0		
30歳代	138	49	7	69	27	51	55	53	22	4	9	6	4	2	1	2		
40歳代	159	68	5	76	38	43	78	40	33	4	21	8	4	1	2	1		
50歳代	204	82	13	94	35	57	100	50	33	10	15	20	2	4	3	3		
60歳代	223	78	23	125	44	46	116	37	39	19	19	20	4	7	5	2		
70歳以上	246	58	12	112	59	35	97	28	28	14	23	18	2	17	27	12		
無回答	1	0	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		

図表 6-17 男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために必要なこと【性・職業別】

	サンプル数	男性が家事などに参加することに対する男性自身の抵抗感をなくすこと	男性が家事などに参加することに対する女性の抵抗感をなくすこと	夫や家族間でのコミュニケーションをよくはかること	年配者や周囲の人が、夫婦の役割分担等についての当事者の考え方を尊重すること	社会の中で男性による家事、子育て、地域活動について、性別による評価を高めること	家事などについて、性別によらず、身に付けることができるような育て方をすること	家事以外の時間短縮や休暇制度を普及すること	労働時間短縮や情報提供を行うこと	男性が家事、子育て、介護、地域活動に関心を高めること	研修等により、男性の家事、子育て、介護等の技能を高めること	男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーキング）づくりを進めること	男性が子育てや介護、地域活動を行うための仲間（ネットワーキング）づくりを進めること	家庭や地域活動と仕事の両立などの問題について、男性が相談しやすい窓口を設けること	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答
男性	自営業主	147	50	8	81	21	34	44	30	14	7	8	18	2	4	4	2	
	家族従事者	25	5	1	14	2	5	4	4	5	1	1	7	2	2	1	1	
	雇用者	369	120	21	190	44	112	123	131	49	18	23	28	8	13	7	2	
	無職	209	85	14	104	28	50	55	38	40	21	20	17	1	6	13	6	
女性	自営業主	79	23	4	47	14	18	35	16	14	5	3	6	0	1	2	2	
	家族従事者	47	13	2	26	14	6	23	6	8	1	4	4	2	3	3	1	
	雇用者	430	185	23	204	89	130	196	111	66	16	49	28	6	7	6	1	
	無職	429	126	30	214	92	104	195	94	64	26	36	33	7	18	25	3	

図表 6-18 男性が家事、子育て、介護、地域活動へ参加するために必要なこと【前回調査との比較】



7. 男女の人権について

(1) 配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験

【これまで結婚したことがある方のみ回答】

問13 あなたはこれまでに、あなたの配偶者から次のようなことをされたことがありますか。
(1つずつ〇)

[全体] (図表 7-1、7-2)

これまで結婚したことがある人を対象に、配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験について聞いたところ、「何度もあった」(10.7%)と「1、2度あった」(17.9%)をあわせて、約3割の人が経験があると回答している。

項目別で見ると、「身体に対する暴行」については、「何どもあった」(5.5%)と「1、2度あった」(14.5%)をあわせて、19.9%の人が経験があると回答し、また、「精神的嫌がらせ・脅迫」については、「何どもあった」(6.5%)と「1、2度あった」(10.2%)とをあわせて、16.7%の人が経験があると回答している。さらに、「性的な行為の強要」については、「何どもあった」(4.7%)と「1、2度あった」(7.9%)をあわせて、12.6%の人が経験があると回答している。

[性別／性・年代別] (図表 7-1、7-3、7-4)

性別で見ると、暴力や嫌がらせを受けた経験は、女性(35.6%)が男性(19.1%)を大きく上回っており、項目別で見ても同様である。身体的暴力については、女性は「何どもあった」(7.4%)、「1、2度あった」(17.2%)をあわせて24.5%の人が経験があると回答している。

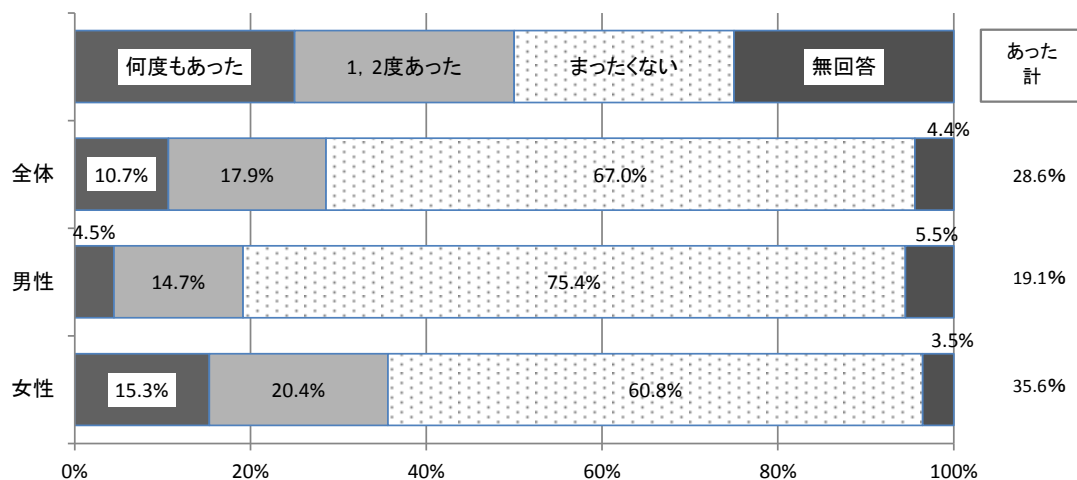
一方、性・年代別で見ると、女性の60歳代で「身体に対する暴行」、「性的な行為の強要」の経験があるという回答割合が高くなっている。

[前回調査、内閣府調査との比較] (図表 7-5、7-6)

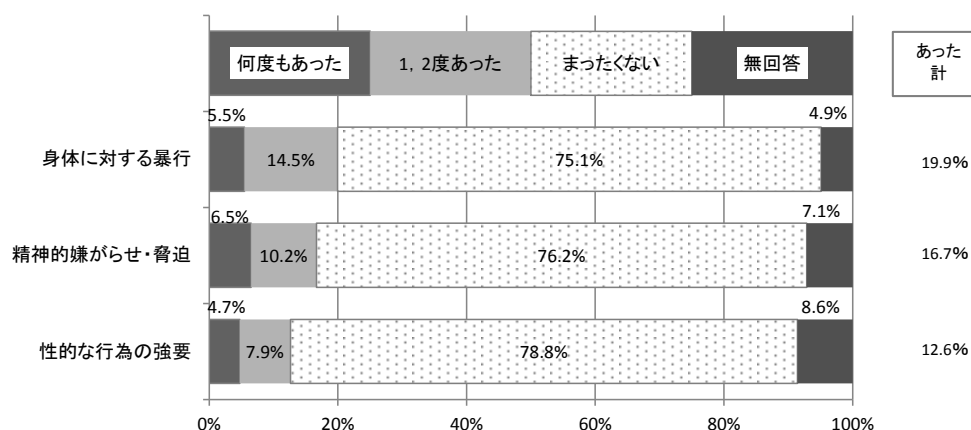
前回調査と比較しても、回答傾向に大きな違いはみられない。

一方、内閣府調査と比較すると、いずれの項目についても「何どもあった」という回答の割合がやや高くなっている。

図表 7-1 配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験

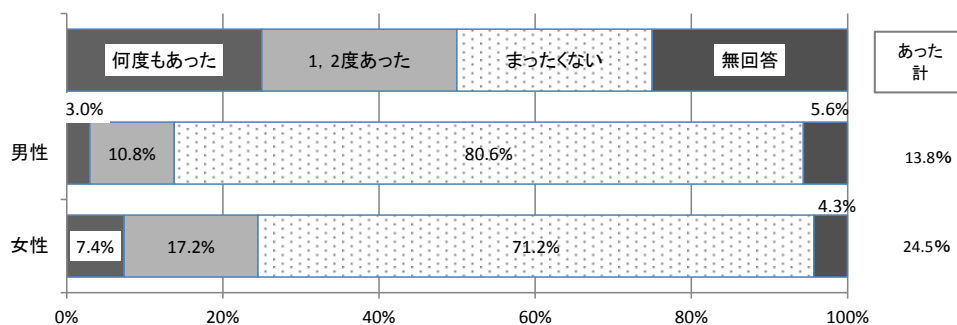


図表 7-2 配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験(項目別)

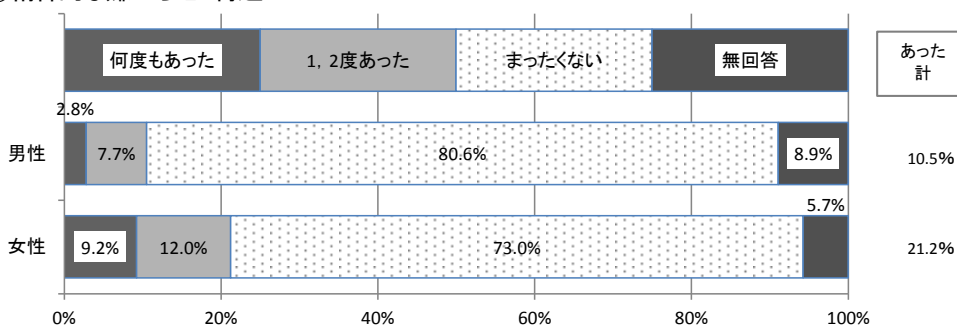


図表 7-3 配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験【性別】

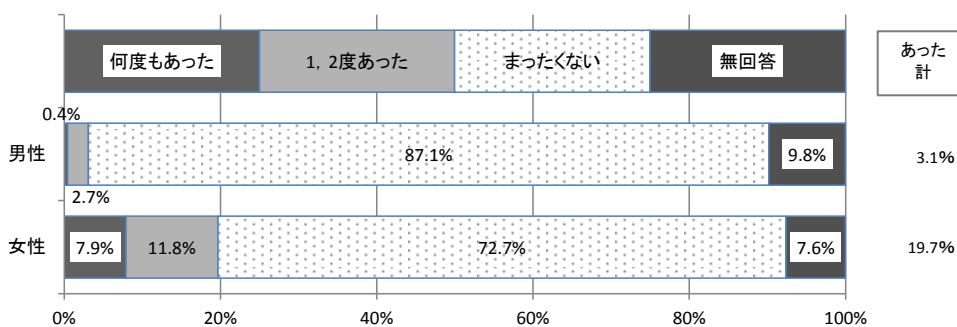
①身体に対する暴行



②精神的な嫌がらせ・脅迫



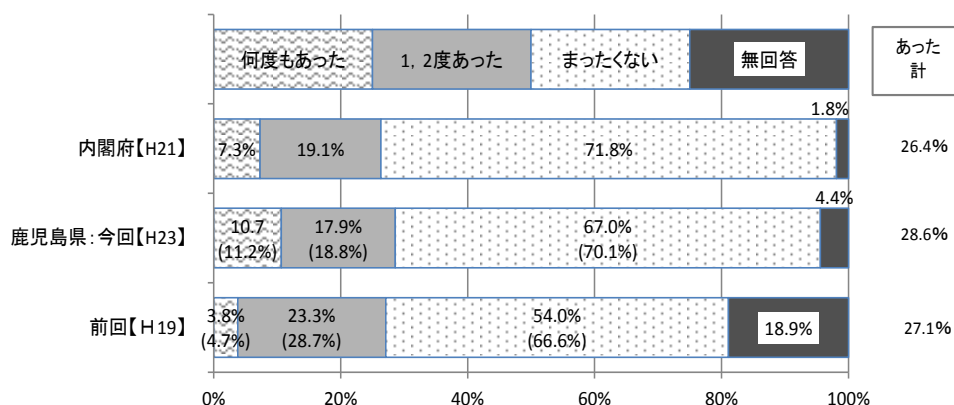
③性的な行為の強要



図表 7-4 配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験【性・年代別】

	サンプル数	①身体に対する暴行				②精神的嫌がらせ・脅迫				③性的な行為の強要				
		1、2度あった	何度もあった	まったくくない	無回答	1、2度あった	何度もあった	まったくくない	無回答	1、2度あった	何度もあった	まったくくない	無回答	
総数	1,584 100.0%	229 14.5%	87 5.5%	1,190 75.1%	78 4.9%	161 10.2%	103 6.5%	1,207 76.2%	113 7.1%	125 7.9%	75 4.7%	1,248 78.8%	136 8.6%	
性・年代別	男性	674 100.0%	73 10.8%	20 3.0%	543 80.6%	38 5.6%	52 7.7%	19 2.8%	543 80.6%	60 8.9%	18 2.7%	3 0.4%	587 87.1%	66 9.8%
	20歳代	14 100.0%	1 7.1%	0 0.0%	13 92.9%	0 0.0%	1 7.1%	0 0.0%	13 92.9%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	14 100.0%	0 0.0%
	30歳代	50 100.0%	3 6.0%	3 6.0%	41 82.0%	3 6.0%	3 6.0%	3 6.0%	41 82.0%	3 6.0%	0 0.0%	2 4.0%	45 90.0%	3 6.0%
	40歳代	90 100.0%	8 8.9%	1 1.1%	80 88.9%	1 1.1%	7 7.8%	3 3.3%	79 87.8%	1 1.1%	1 1.1%	0 0.0%	86 95.6%	3 3.3%
	50歳代	154 100.0%	18 11.7%	5 3.2%	125 81.2%	6 3.9%	12 7.8%	3 1.9%	131 85.1%	8 5.2%	4 2.6%	0 0.0%	141 91.6%	9 5.8%
	60歳代	179 100.0%	26 14.5%	7 3.9%	135 75.4%	11 6.1%	19 10.6%	4 2.2%	141 78.8%	15 8.4%	9 5.0%	1 0.6%	153 85.5%	16 8.9%
	70歳以上	187 100.0%	17 9.1%	4 2.1%	149 79.7%	17 9.1%	10 5.3%	6 3.2%	138 73.8%	33 17.6%	4 2.1%	0 0.0%	148 79.1%	35 18.7%
	女性	909 100.0%	156 17.2%	67 7.4%	647 71.2%	39 4.3%	109 12.0%	84 9.2%	664 73.0%	52 5.7%	107 11.8%	72 7.9%	661 72.7%	69 7.6%
	20歳代	25 100.0%	3 12.0%	2 8.0%	20 80.0%	0 0.0%	4 16.0%	2 8.0%	19 76.0%	0 0.0%	3 12.0%	0 0.0%	22 88.0%	0 0.0%
	30歳代	109 100.0%	14 12.8%	6 5.5%	88 80.7%	1 0.9%	10 9.2%	11 10.1%	87 79.8%	1 0.9%	6 5.5%	6 5.5%	93 85.3%	4 3.7%
	40歳代	135 100.0%	19 14.1%	14 10.4%	98 72.6%	4 3.0%	14 10.4%	20 14.8%	96 71.1%	5 3.7%	20 14.8%	14 10.4%	93 68.9%	8 5.9%
	50歳代	189 100.0%	35 18.5%	14 7.4%	133 70.4%	7 3.7%	27 14.3%	22 11.6%	131 69.3%	9 4.8%	24 12.7%	24 12.7%	129 68.3%	12 6.3%
	60歳代	214 100.0%	52 24.3%	15 7.0%	143 66.8%	4 1.9%	31 14.5%	20 9.3%	158 73.8%	5 2.3%	37 17.3%	21 9.8%	146 68.2%	10 4.7%
	70歳以上	236 100.0%	33 14.0%	15 6.4%	165 69.9%	23 9.7%	23 9.7%	8 3.4%	173 73.3%	32 13.6%	17 7.2%	7 3.0%	177 75.0%	35 14.8%
	無回答	1 100.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	0 0.0%	1 100.0%	0 0.0%

図表 7-5 配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験(前回調査、内閣府調査との比較)

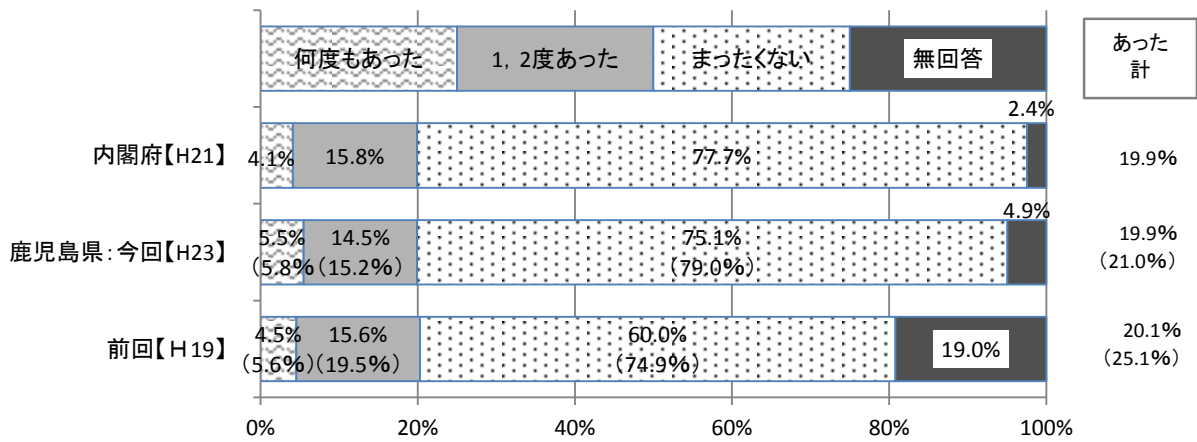


注) この項目については、今回調査では、これまで結婚したことがある人(結婚している、離別・死別)のみを集計しているが、前回調査では、未婚者について無回答の中に入れて集計している。前回調査と比較するため、無回答を集計結果から除いて再計算した数値をカッコ書きで示した。(図表 7-6 も同じ。)

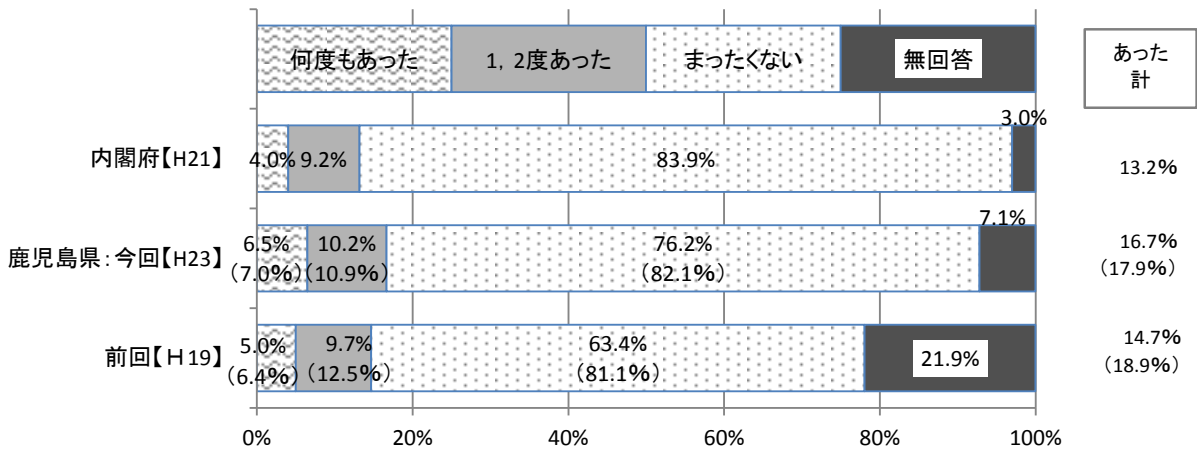
また、今回調査では、「何度もあった」は、「身体に対する暴行」、「精神的嫌がらせ・脅迫」、「性的な行為の強要」のいずれかの項目で一つでも「何度もあった」と回答した人の合計で、「1、2度あった」は、いずれかの項目で一つでも「1、2度あった」と回答した人(いずれかの項目で一つでも「何どもあった」と回答した人を除く。)の合計であり、内閣府調査とは同じ方法で集計しているが、前回調査とは集計方法が異なる。

図表 7-6 配偶者や親しい異性から暴力や嫌がらせ等を受けた経験(項目別、前回調査、内閣府調査との比較)

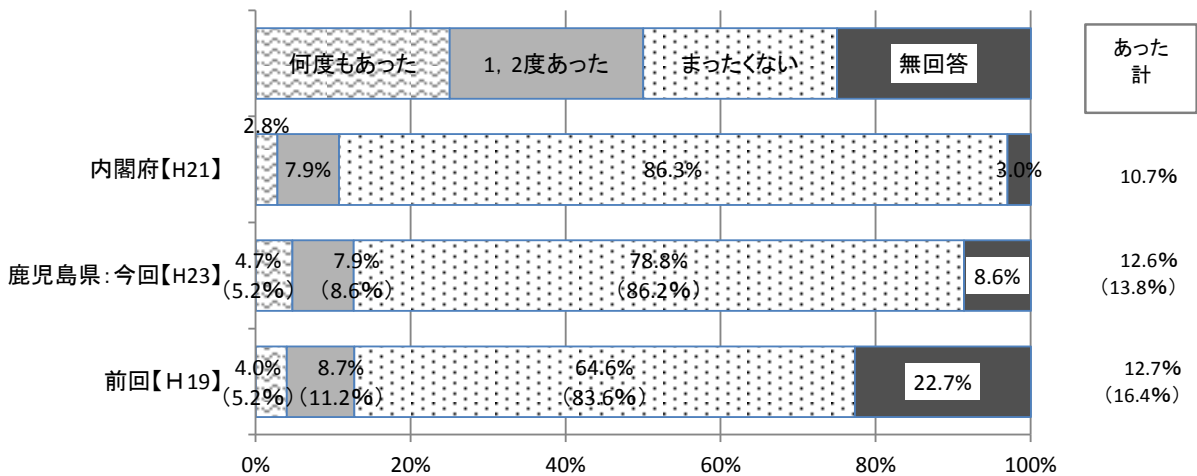
①身体に対する暴行



②精神的な嫌がらせ・脅迫



③性的な行為の強要



(2) 10 歳代、20 歳代の交際相手の有無

【全員が回答】

問 14-1 あなたは、10 歳代から 20 歳代において、交際相手がありました（います）か。（1 つに○）

[全体] (図表 7-7)

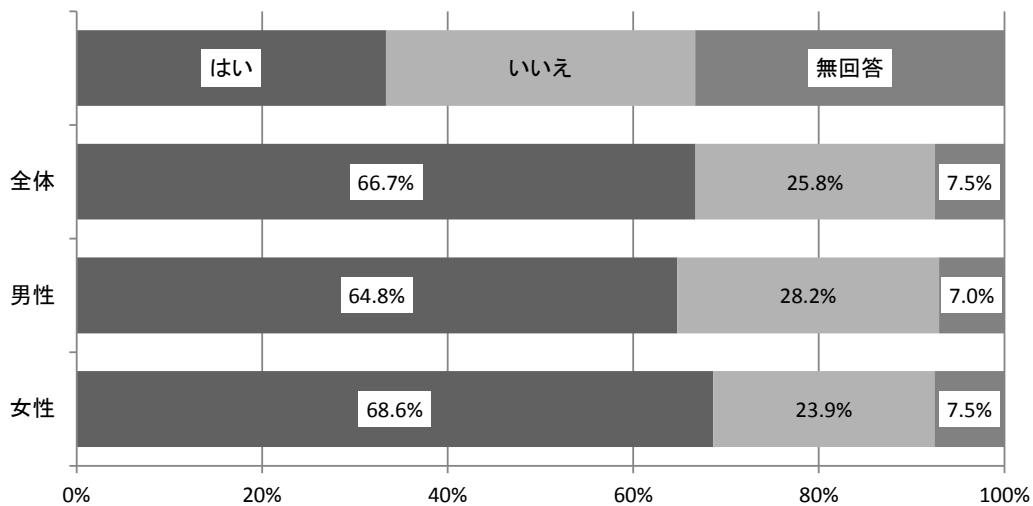
10 歳代、20 歳代の交際相手の有無について聞いたところ、「はい」が 66.7%、「いいえ」が 25.8% となっている。

[性別／性・年代別] (図表 7-7、7-8)

性別でみると、回答傾向に大きな違いはみられない。

一方、性・年代別でみると、男女ともに 70 歳代で「いいえ」という回答割合が高くなっている。

図表 7-7 10 歳代、20 歳代の交際相手の有無



図表 7-8 10 歳代、20 歳代の交際相手の有無 【性・年代別】

		サンプル数	はい	いいえ	無回答
総数		1,839	1,227	474	138
		100.0%	66.7%	25.8%	7.5%
性・年代別	男性	783	507	221	55
		100.0%	64.8%	28.2%	7.0%
	20歳代	51	38	11	2
		100.0%	74.5%	21.6%	3.9%
	30歳代	85	65	19	1
		100.0%	76.5%	22.4%	1.2%
	40歳代	106	83	20	3
		100.0%	78.3%	18.9%	2.8%
	50歳代	165	130	30	5
		100.0%	78.8%	18.2%	3.0%
60歳代	188	123	55	10	
	100.0%	65.4%	29.3%	5.3%	
70歳以上	188	68	86	34	
	100.0%	36.2%	45.7%	18.1%	
女性	1,039	713	248	78	
	100.0%	68.6%	23.9%	7.5%	
20歳代	68	59	8	1	
	100.0%	86.8%	11.8%	1.5%	
30歳代	138	126	9	3	
	100.0%	91.3%	6.5%	2.2%	
40歳代	159	140	12	7	
	100.0%	88.1%	7.5%	4.4%	
50歳代	204	154	41	9	
	100.0%	75.5%	20.1%	4.4%	
60歳代	223	146	63	14	
	100.0%	65.5%	28.3%	6.3%	
70歳以上	246	87	115	44	
	100.0%	35.4%	46.7%	17.9%	
無回答	1	1	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	

(3) 10 歳代又は 20 歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験

【問 14-1 で「1 はい」と答えた方のみ回答】

問 14-2 あなたは、10 歳代又は 20 歳代に、あなたの恋人や元恋人などの交際相手から、次のようなことをされたことがありますか。(1 つずつ〇)

[全体] (図表 7-9)

10 歳代又は 20 歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験について聞いたところ、「身体に対する暴行」が 5.2%、「精神的嫌がらせ・脅迫」が 7.2%、「性的な行為の強要」5.3%となっている。

[性別／性・年代別] (図表 7-10、7-11)

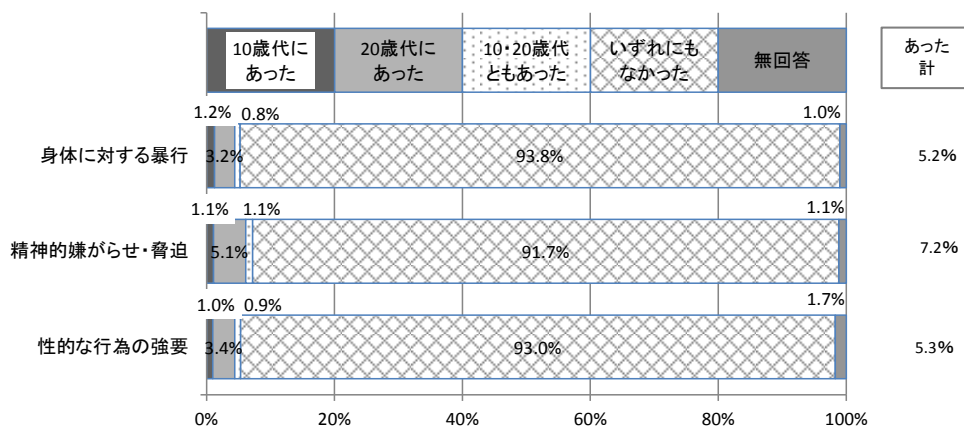
性別で見ると、「身体に対する暴行」、「精神的嫌がらせ・脅迫」、「性的な行為の強要」ともに、経験があったという回答割合は女性が男性を上回っている。

一方、性・年代別で見ると、女性の 20 歳代で「身体に対する暴行」、「精神的嫌がらせ・脅迫」が「10 歳代にあった」という回答割合が高くなっている。

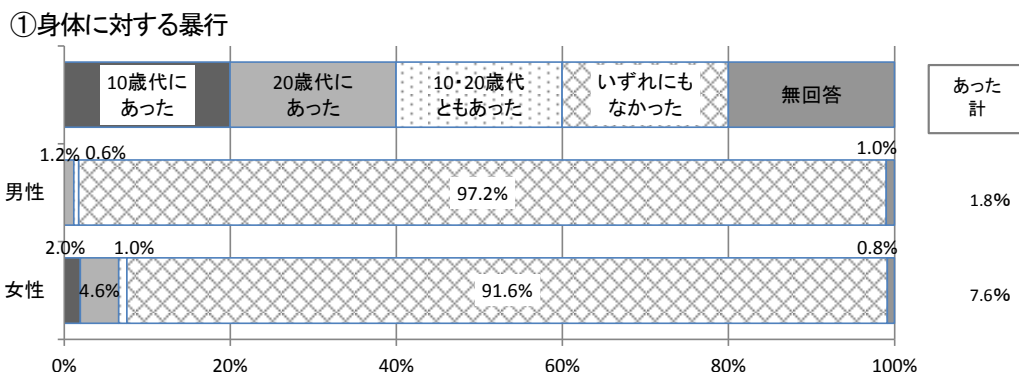
[前回調査との比較] (図表 7-12)

前回調査と比較しても、回答傾向に大きな違いはみられない。

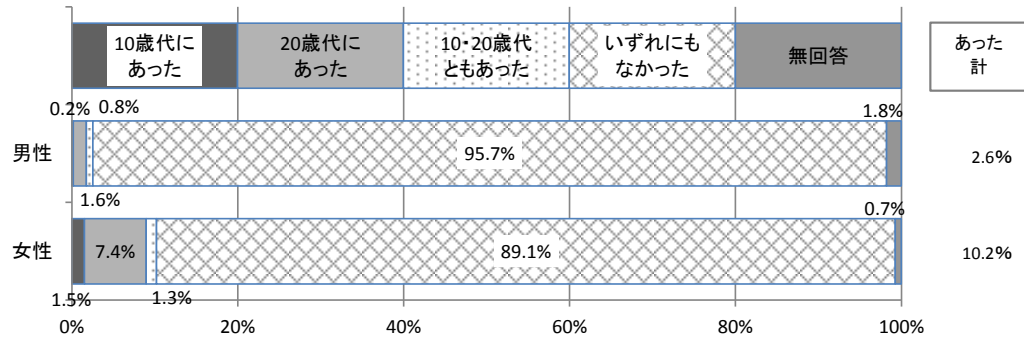
図表 7-9 10 歳代又は 20 歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験



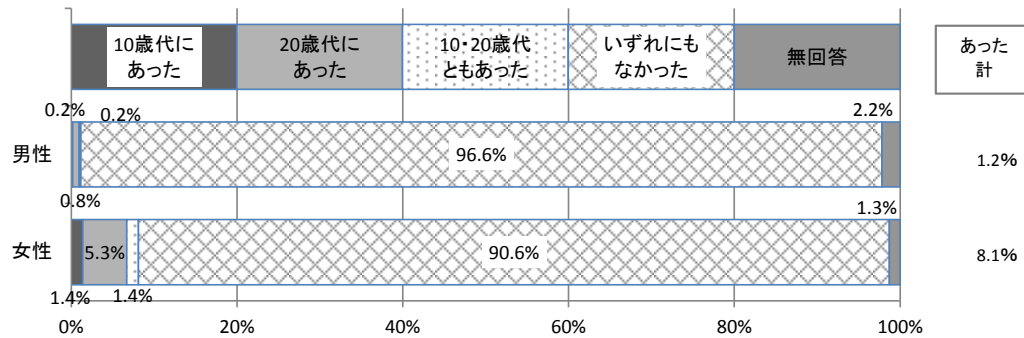
図表 7-10 10 歳代又は 20 歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験【性別】



②精神的嫌がらせ・脅迫



③性的行為の強要

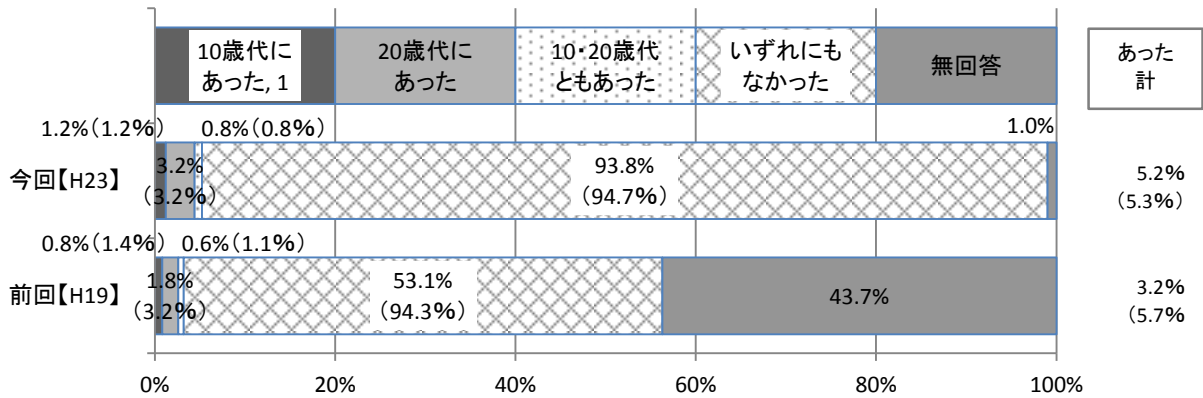


図表 7-11 10歳代又は20歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験【性・年代別】

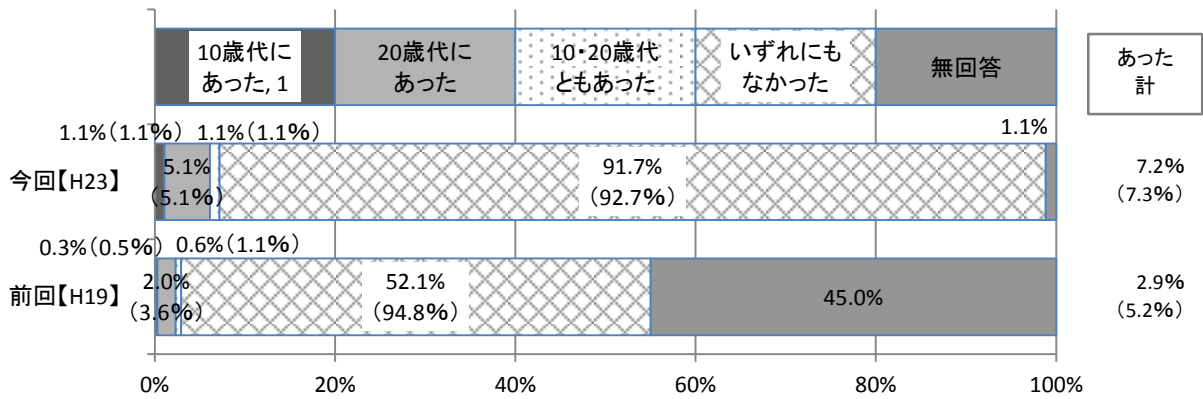
	サンプル数	①身体に対する暴行					②精神的な嫌がらせ・脅迫					③性的な行為の強要					
		10歳代にあった	20歳代にあった	10・20歳代ともあった	いずれにもなかった	無回答	10歳代にあった	20歳代にあった	10・20歳代ともあった	いずれにもなかった	無回答	10歳代にあった	20歳代にあった	10・20歳代ともあった	いずれにもなかった	無回答	
総数	1,227	15	39	10	1,151	12	13	62	13	1,125	14	12	42	11	1,141	21	
		100.0%	1.2%	3.2%	0.8%	93.8%	1.0%	1.1%	5.1%	1.1%	91.7%	1.1%	1.0%	3.4%	0.9%	93.0%	1.7%
男性	507	0	6	3	493	5	1	8	4	485	9	1	4	1	490	11	
		100.0%	0.0%	1.2%	0.6%	97.2%	1.0%	0.2%	1.6%	0.8%	95.7%	1.8%	0.2%	0.8%	0.2%	96.6%	2.2%
20歳代	38	0	0	0	38	0	0	0	0	38	0	0	1	0	37	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	2.6%	0.0%	97.4%	0.0%	
30歳代	65	0	1	0	64	0	0	0	1	64	0	0	1	0	64	0	
		100.0%	0.0%	1.5%	0.0%	98.5%	0.0%	0.0%	1.5%	98.5%	0.0%	0.0%	1.5%	0.0%	98.5%	0.0%	
40歳代	83	0	3	0	79	1	0	3	1	78	1	0	1	0	80	2	
		100.0%	0.0%	3.6%	0.0%	95.2%	1.2%	0.0%	3.6%	1.2%	94.0%	1.2%	0.0%	1.2%	0.0%	96.4%	2.4%
50歳代	130	0	0	0	128	2	0	1	0	126	3	0	0	0	127	3	
		100.0%	0.0%	0.0%	98.5%	1.5%	0.0%	0.8%	0.0%	96.9%	2.3%	0.0%	0.0%	0.0%	97.7%	2.3%	
60歳代	123	0	2	2	118	1	1	4	2	115	1	1	1	1	119	1	
		100.0%	0.0%	1.6%	1.6%	95.9%	0.8%	0.8%	3.3%	1.6%	93.5%	0.8%	0.8%	0.8%	96.7%	0.8%	
70歳以上	68	0	0	1	66	1	0	0	0	64	4	0	0	0	63	5	
		100.0%	0.0%	0.0%	1.5%	97.1%	1.5%	0.0%	0.0%	94.1%	5.9%	0.0%	0.0%	0.0%	92.6%	7.4%	
女性	713	14	33	7	653	6	11	53	9	635	5	10	38	10	646	9	
		100.0%	2.0%	4.6%	1.0%	91.6%	0.8%	1.5%	7.4%	1.3%	89.1%	0.7%	1.4%	5.3%	1.4%	90.6%	1.3%
20歳代	59	5	2	2	50	0	6	5	1	47	0	0	2	1	56	0	
		100.0%	8.5%	3.4%	3.4%	84.7%	0.0%	10.2%	8.5%	1.7%	79.7%	0.0%	0.0%	3.4%	1.7%	94.9%	0.0%
30歳代	126	5	8	3	109	1	14	4	107	0	3	6	5	111	1		
		100.0%	4.0%	6.3%	2.4%	86.5%	0.8%	0.8%	11.1%	3.2%	84.9%	0.0%	2.4%	4.0%	88.1%	0.8%	
40歳代	140	2	6	0	131	1	2	12	0	126	0	3	9	1	126	1	
		100.0%	1.4%	4.3%	0.0%	93.6%	0.7%	1.4%	8.6%	0.0%	90.0%	0.0%	2.1%	6.4%	0.7%	90.0%	0.7%
50歳代	154	1	4	1	147	1	1	7	3	142	1	2	9	2	139	2	
		100.0%	0.6%	2.6%	0.6%	95.5%	0.6%	0.6%	4.5%	1.9%	92.2%	0.6%	1.3%	5.8%	1.3%	90.3%	1.3%
60歳代	146	1	10	1	134	0	1	12	1	131	1	1	9	0	135	1	
		100.0%	0.7%	6.8%	0.7%	91.8%	0.0%	0.7%	8.2%	0.7%	89.7%	0.7%	0.7%	6.2%	0.0%	92.5%	0.7%
70歳以上	87	0	3	0	81	3	0	3	0	81	3	1	3	1	78	4	
		100.0%	0.0%	3.4%	0.0%	93.1%	3.4%	0.0%	3.4%	0.0%	93.1%	3.4%	1.1%	3.4%	1.1%	89.7%	4.6%
無回答	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	
		100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	

図表 7-12 10歳代又は20歳代に交際相手から暴力や嫌がらせを受けた経験【前回調査との比較】

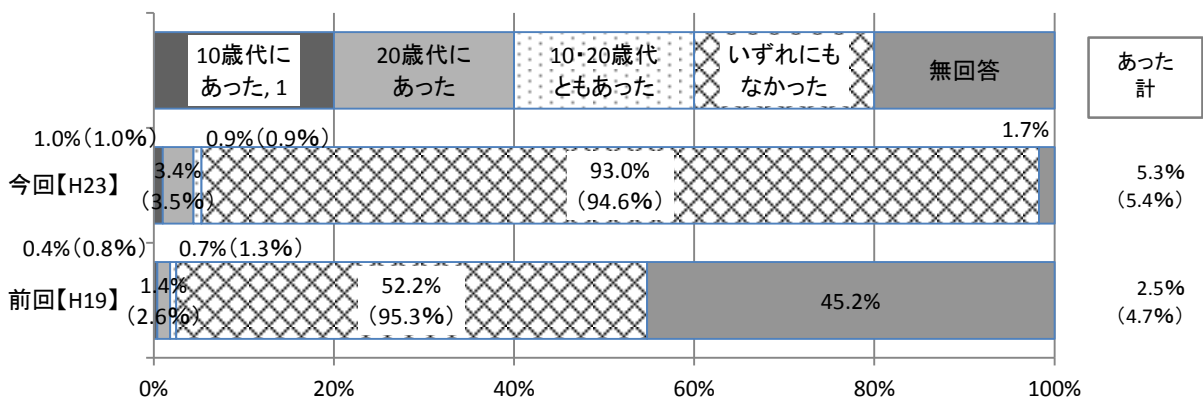
①身体に対する暴行



②精神的嫌がらせ・脅迫



③性的行為の強要



注) 前回調査では、10歳代又は20歳代の頃の交際相手の有無について尋ねておらず、今回調査とは質問対象が異なる。前回調査と比較するため、無回答を集計結果から除いて再計算した数値をカッコ書きで示した。

(4) 暴力や嫌がらせ等についての相談先

【問 13 又は問 14-2 で1つでも行為を受けたことがあった方のみ回答】
 問 15-1 あなたはそのことを、誰かに打ち明けたり相談したりしましたか。(いくつでも○)

[全体] (図表 7-13)

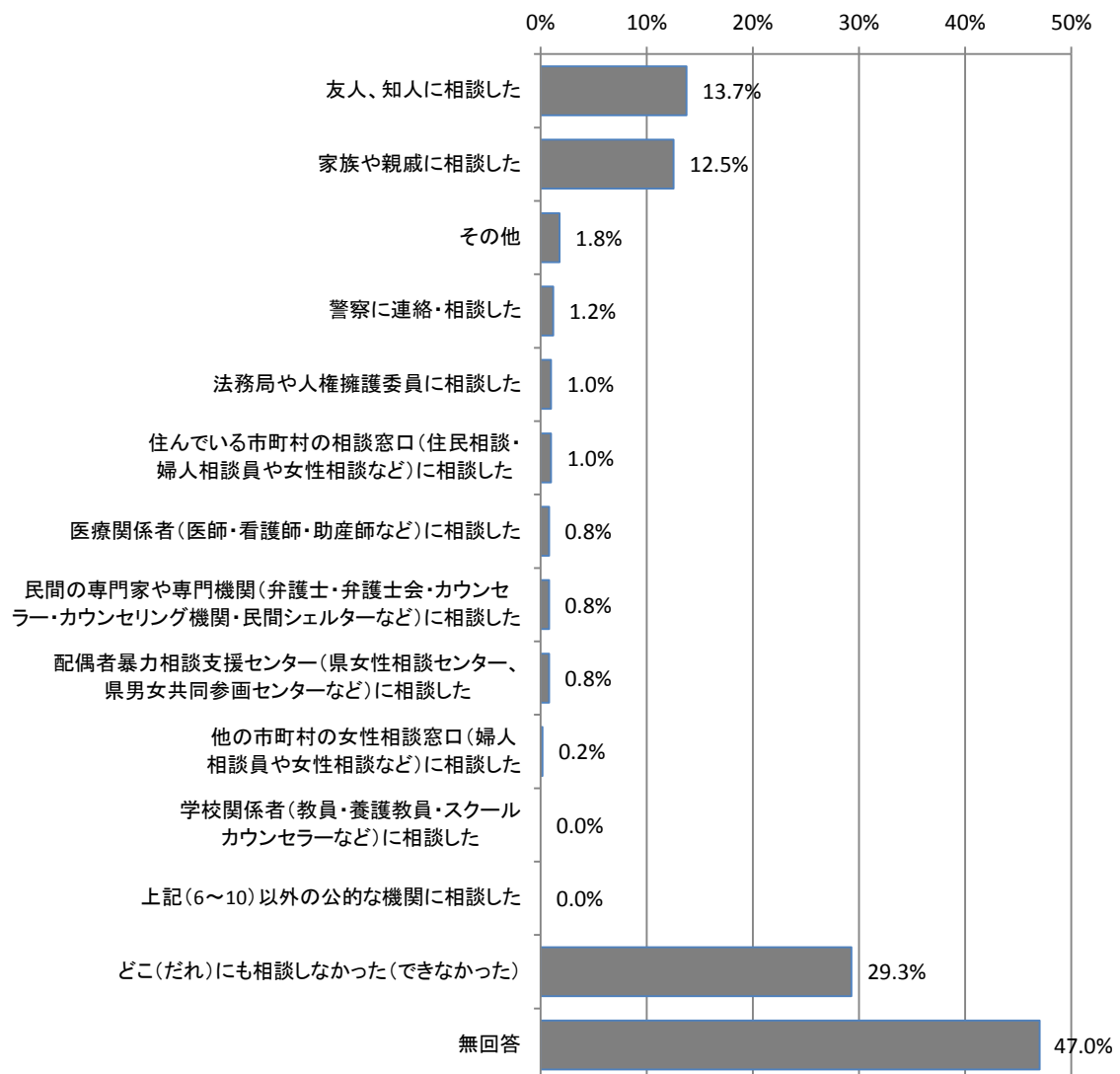
暴力や嫌がらせ等を受けた経験がある人を対象に、相談先について聞いたところ、「どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)」(29.3%)、「友人・知人に相談した」(13.7%)、「家族や親戚に相談した」(12.5%) などの順になっている。

[性別／性・年代別] (図表 7-14、7-15)

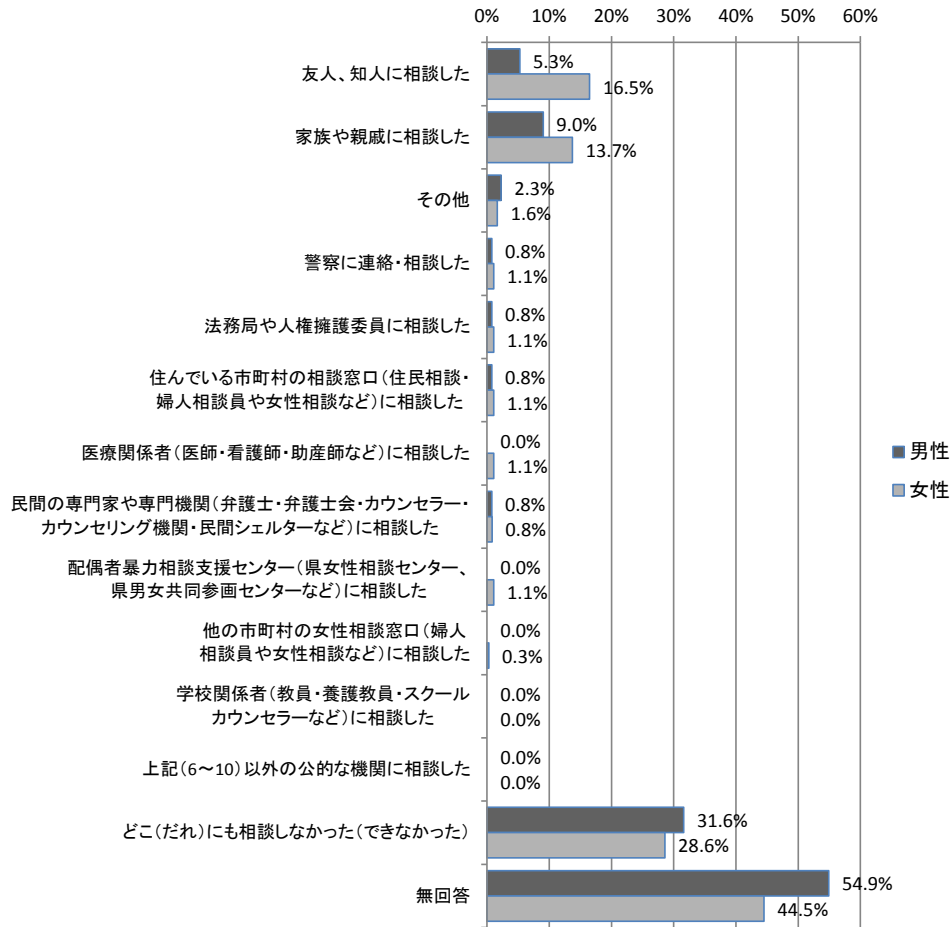
性別で見ると、「友人・知人に相談した」、「家族や親戚に相談した」という回答割合は女性の方が高くなっている。

一方、性・年代別で見ると、女性では年代が若くなるほど「友人・知人に相談した」という回答割合が高くなっている。

図表 7-13 暴力や嫌がらせ等についての相談先



図表 7-14 暴力や嫌がらせ等についての相談先【性別】



図表 7-15 暴力や嫌がらせ等についての相談先【性・年代別】

性・年代別	サンプル数	家族や親戚に相談した	友人、知人に相談した	学校関係者(教員・養護教員・スクールカウンセラーなど)に相談した	医療関係者(医師・看護師・助産師など)に相談した	民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会・カウンセラー・民間シェルターなど)に相談した	配偶者暴力相談支援センター(県女性相談センター・県男女共同参画センターなど)に相談した	警察に連絡・相談した	法務局や人権擁護委員に相談した	住んでいる市町村の相談窓口(住民相談・婦人相談員や女性相談など)に相談した	他の市町村の女性相談窓口(婦人相談員や女性相談など)に相談した	上記(6~10)以外の公的な機関に相談した	その他	どこ(だれ)にも相談しなかった(できなかった)	無回答
総数	502	63	69	0	4	4	4	6	5	5	1	0	9	147	236
男性	133	12.5%	13.7%	0.0%	0.8%	0.8%	0.8%	1.2%	1.0%	1.0%	0.2%	0.0%	1.8%	29.3%	47.0%
20歳代	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%
30歳代	8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%
40歳代	16	2.0%	6.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	31.3%
50歳代	31	3.2%	3.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.2%	32.3%	61.3%
60歳代	48	6.0%	4.0%	0.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	1.0%	0.0%	0.0%	2.0%	10.0%	27.0%
70歳以上	30	3.0%	8.7%	0.0%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	2.2%	0.0%	0.0%	4.3%	21.7%	58.7%
女性	364	50	60	0	4	3	4	4	4	4	1	0	6	104	162
20歳代	18	3.0%	11.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	4.0%	1.0%
30歳代	44	16.7%	61.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	16.7%	22.2%	5.6%
40歳代	60	31.8%	36.4%	0.0%	0.0%	4.5%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	2.3%	0.0%	0.0%	29.5%	13.6%
50歳代	81	11.7%	25.0%	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%	1.7%	1.7%	0.0%	0.0%	0.0%	3.3%	40.0%	30.0%
60歳代	97	11.1%	13.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	1.2%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	22.2%	55.6%
70歳以上	63	11.3%	3.1%	0.0%	1.0%	0.0%	2.1%	1.0%	1.0%	1.0%	0.0%	0.0%	0.0%	29.9%	54.6%
無回答	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%	16.0%	39.0%

(5) 相談しなかった（できなかった）理由

【問 15-1 で「13 どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）」を選んだ方のみ回答】
 問 15-2 あなたが、どこ（だれ）にも相談しなかった（できなかった）のは、なぜですか。
 （いくつでも〇）

[全体] (図表 7-16)

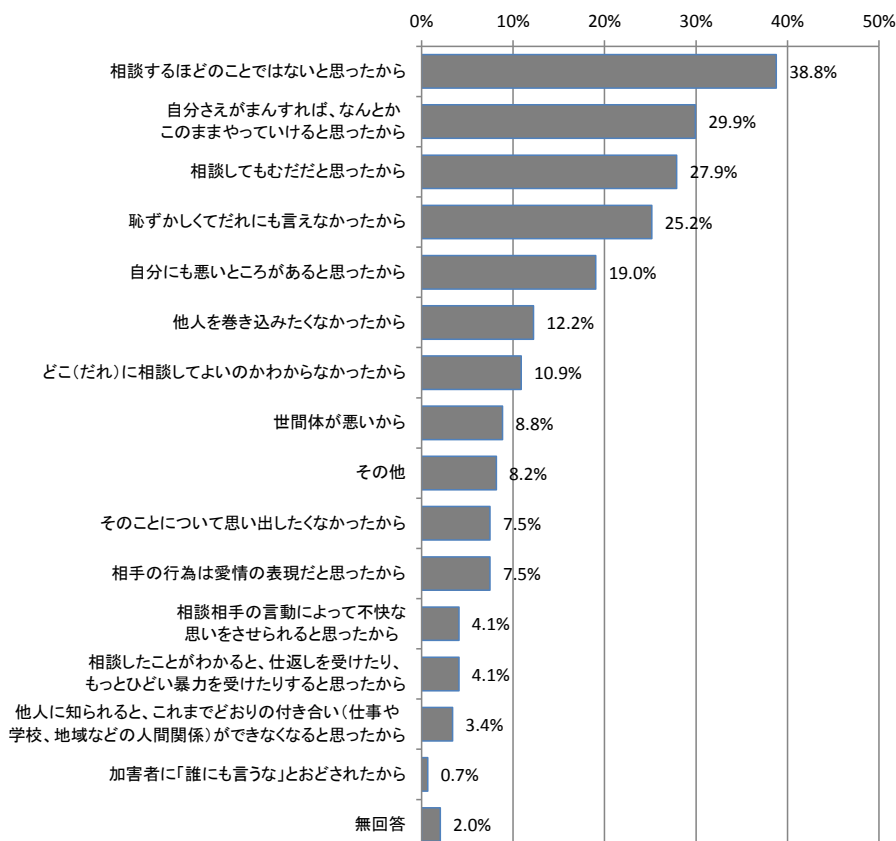
暴力や嫌がらせ等を受けた経験がある人を対象に、相談できなかった理由について聞いたところ、「相談するほどのことではないと思ったから」(38.8%)という回答の割合が最も高く、次いで「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」(29.9%)、「相談してもむだだと思ったから」(27.9%)、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」(25.2%)、「自分にも悪いところがあると思ったから」(19.0%)などの順になっている。

[性別／性・年代別] (図表 7-17、7-18)

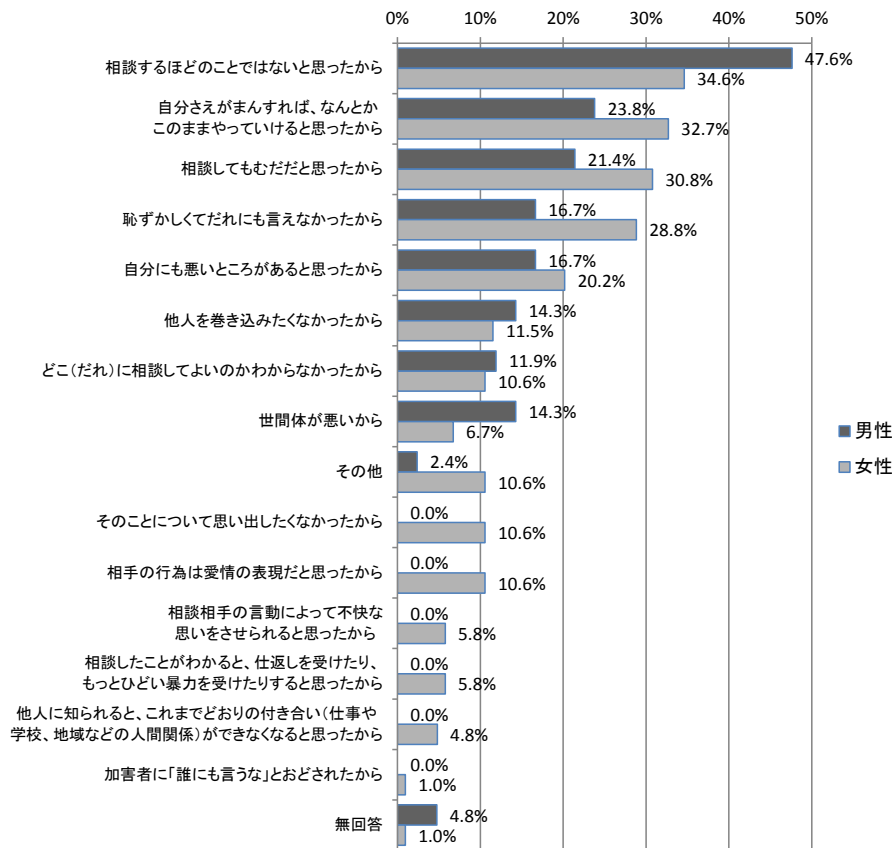
性別で見ると、「相談するほどのことではないと思ったから」という回答の割合は男性の方が高いのに対し、「自分さえがまんすればなんとかこのままやっていけると思ったから」、「相談してもむだだと思ったから」、「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」、「自分にも悪いところがあると思ったから」という回答の割合は女性の方が高くなっている。

一方、性年代別で見ると、女性では、年代が若くなるほど「恥ずかしくてだれにも言えなかったから」という回答割合が高いのに対し、年代が高くなるほど「自分にも悪いところがあると思ったから」という回答割合が高くなっている。

図表 7-16 相談しなかった(できなかった)理由



図表 7-17 相談しなかった(できなかった)理由【性別】



図表 7-18 相談しなかった(できなかった)理由【性・年代別】

	サンプル数	どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談してもむだだと思ったから	すけたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから	相談したことがわかると、仕返しを受けたり、もっとひどい暴力を受けたりすると思ったから	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっているとあったから	世間体が悪いから	他人を巻き込みたくなかったから	他人に知られると、これまでどおりの付き合い(仕事や学校、地域などの人間関係)ができなくなるとあったから	たから	そのことについて思い出したくなかったから	自分にも悪いところがあると思ったから	相手の行為は愛情の表現だと思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	その他	無回答
総数	147	16	37	41	6	1	6	44	13	18	5	11	28	11	57	12	3		
男性	42	5	7	9	0	0	0	10	6	6	0	0	7	0	20	1	2		
20歳代	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
30歳代	3	0	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	1	1	0		
40歳代	8	0	0	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	5	0	0		
50歳代	10	1	3	3	0	0	0	3	3	2	0	0	3	0	4	0	1		
60歳代	10	3	2	1	0	0	0	1	1	1	0	0	0	4	0	4	0		
70歳以上	10	1	1	2	0	0	0	3	1	1	0	0	0	0	5	0	1		
女性	104	11	30	32	6	1	6	34	7	12	5	11	21	11	36	11	1		
20歳代	4	1	1	2	0	0	0	2	0	3	1	2	1	0	2	0	0		
30歳代	13	2	5	3	1	1	1	3	1	2	2	2	0	0	4	1	0		
40歳代	24	4	10	8	1	0	1	7	1	2	1	3	4	3	6	3	1		
50歳代	18	0	3	9	1	0	0	6	1	1	0	2	4	3	8	1	0		
60歳代	29	3	8	8	2	0	4	7	3	2	1	2	10	4	11	3	0		
70歳以上	16	1	3	2	1	0	0	9	1	2	0	0	2	1	5	3	0		

(6) 男女間における暴力を防止するために必要なこと

【全員が回答】

問 16 あなたは、男女間における暴力を防止するためには、今後、どのようなことが必要だと思いますか。(いくつでも○)

[全体] (図表 7-19)

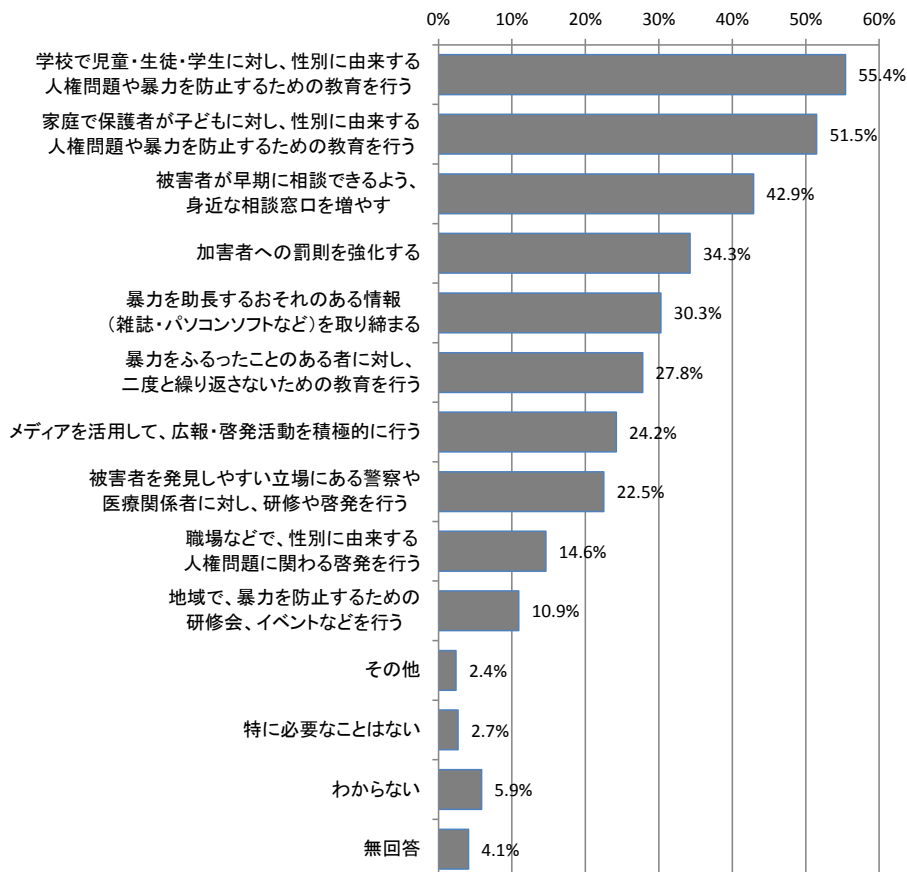
男女間における暴力を防止するために必要なことについて聞いたところ、「学校で児童・生徒・学生に対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(55.4%)という回答の割合が最も高く、次いで「家庭で保護者が子どもに対し、性別に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う」(51.5%)、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」(42.9%)、「加害者への罰則を強化する」(34.3%)、「暴力を助長するおそれのある情報(雑誌・パソコンソフトなど)を取り締まる」(30.3%)、「暴力をふるったことのあるものに対し、二度と繰り返さないための教育を行う」(27.8%)などの順になっている。

[性別／性・年代別] (図表 7-20、7-21)

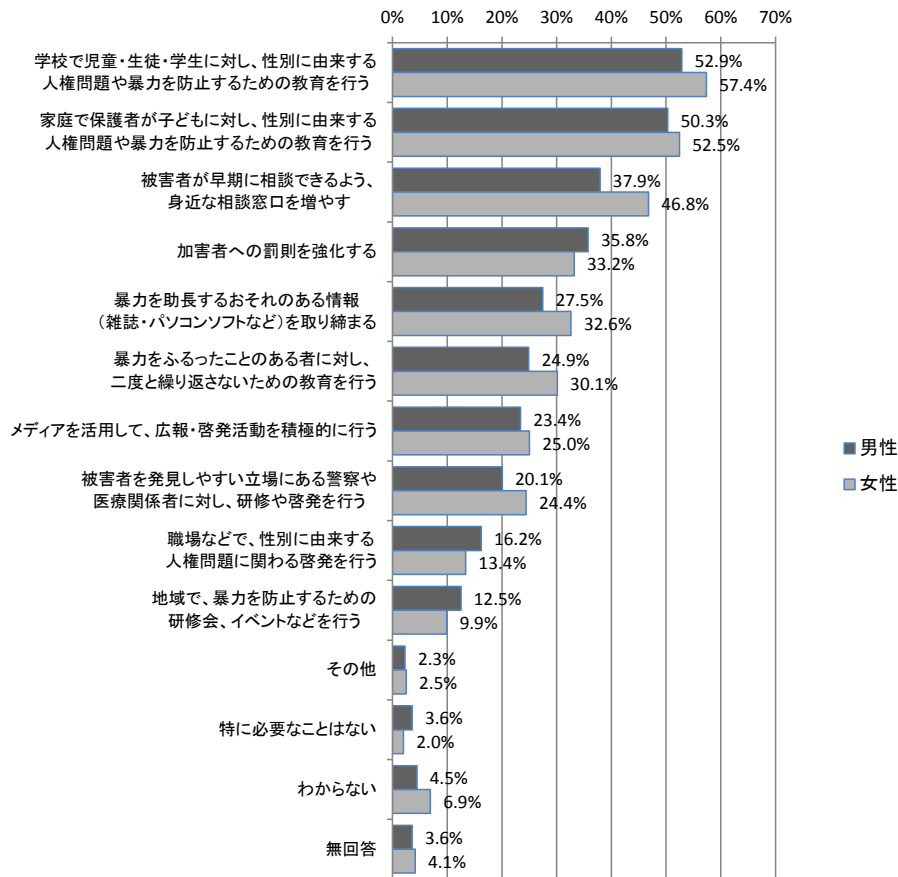
性別で見ると、回答傾向に大きな違いはみられない。

一方、性・年代別で見ると、男女ともに年代が若くなるほど、「加害者への罰則を強化する」、「被害者が早期に相談できるよう、身近な相談窓口を増やす」、「暴力をふるったことのあるものに対し、二度と繰り返さないための教育を行う」という回答割合が高くなっている。

図表 7-19 男女間における暴力を防止するために必要なこと



図表 7-20 男女間における暴力を防止するために必要なこと【性別】



図表 7-21 男女間における暴力を防止するために必要なこと【性・年代別】

	サンプル数	止るために必要な教育を行う	家庭で保護者が子どもや暴力を防止するための教育を行う	防犯上の児童・生徒や暴力を防止するための教育を行う	学校で児童・生徒・学生に由来する人権問題や暴力を防止するための教育を行う	問題に関わる啓発を行う	職場などで、性別に由来する人権問題に関わる啓発を行う	地域で、イベントなどを開催する	修会、イベントなどを開催する	地域で、暴力を防止するための研修会、イベントなどを行う	活動を積極的に活用して、広報・啓発を行う	メディアを活用して、広報・啓発を行う	暴力をふるったことのある者に対し、二度と繰り返さないための教育を行う	加害者への罰則を強化する	取り締まる(雑誌・パソコンソフトなど)を	暴力を助長するおそれのある情報を	身近な相談窓口を増やす	被害者が早期に相談できるように、	警察や医療関係者に対し、研修や啓発を行う	被害者を発見しやすい立場にある	その他	特に必要なことはない	わからない	無回答
総数	1,839	947	1,019	269	201	445	511	630	557	789	414	44	49	108	75									
男性	783	394	414	127	98	183	195	280	215	297	157	18	28	35	28									
20歳代	51	19	21	10	7	12	14	23	13	26	18	3	1	2	0									
30歳代	85	41	38	10	10	15	21	37	14	34	19	2	2	3	1									
40歳代	106	52	52	21	14	31	37	44	29	47	25	4	3	5	3									
50歳代	165	90	96	30	19	43	43	69	47	60	31	4	1	6	2									
60歳代	188	97	114	31	24	47	37	64	55	74	35	4	5	6	7									
70歳以上	188	95	93	25	24	35	43	43	57	56	29	1	16	13	15									
女性	1,039	545	596	139	103	260	313	345	339	486	254	26	21	72	43									
20歳代	68	30	37	6	4	18	25	39	14	36	18	1	0	3	1									
30歳代	138	73	80	22	12	40	44	67	49	75	45	6	0	6	0									
40歳代	159	88	98	25	18	54	51	65	52	80	54	7	0	5	2									
50歳代	204	133	130	41	21	62	62	57	72	110	51	3	3	5	6									
60歳代	223	121	129	30	23	51	60	70	76	95	41	6	6	16	12									
70歳以上	246	100	121	15	25	35	70	46	76	90	45	2	11	37	22									
無回答	1	0	1	0	0	0	1	1	0	0	1	0	0	0	0									

(7) テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現についての意識

【全員が回答】

問17 テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現について、あなたはどのように考えますか。(いくつでも○)

[全体] (図表 7-22)

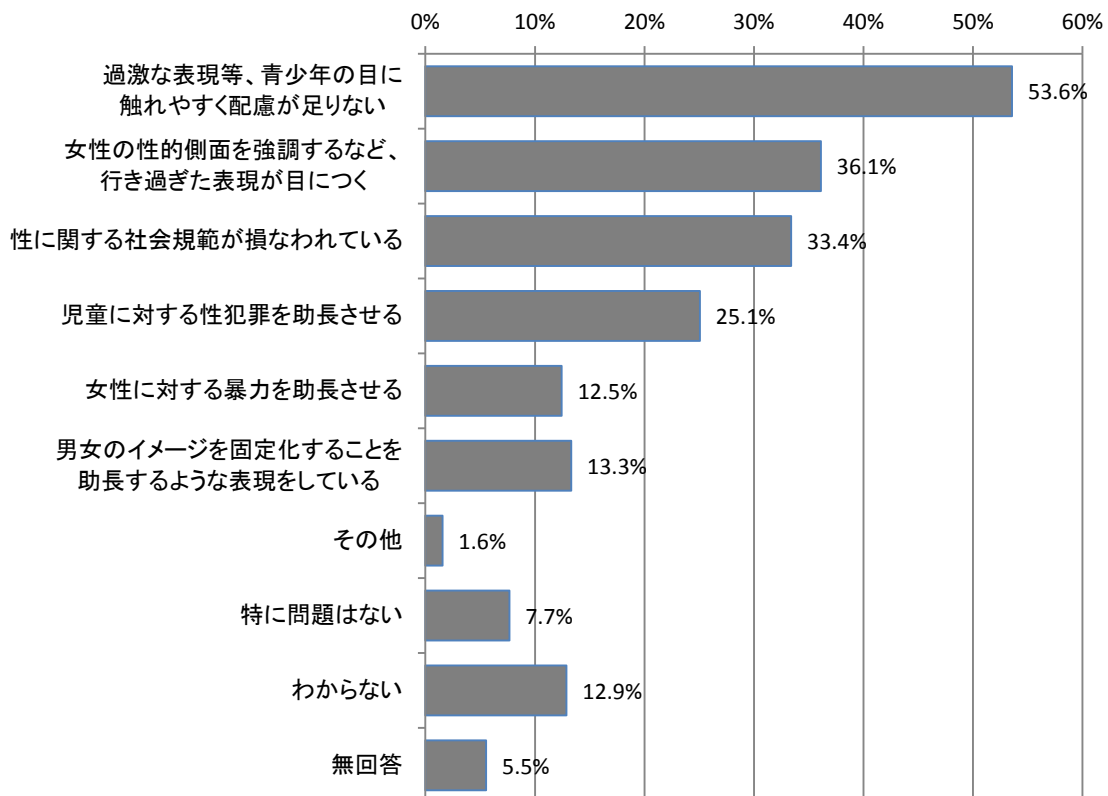
テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現についての意識について聞いたところ、「過激な表現等、青少年の目に触れやすく配慮が足りない」(53.6%)という回答の割合が最も高く、次いで「女性の性的側面を強調するなど、行き過ぎた表現が目につく」(36.1%)、「性に関する社会規範が損なわれている」(33.4%)、「児童に対する性犯罪を助長させる」(25.1%)などの順になっている。

[性別／性・年代別] (図表 7-23、7-24)

性別でみると、回答傾向に大きな違いはみられない。

一方、性・年代別でみると、40歳代以上の女性で「性に関する社会的規範が損なわれている」という回答割合が高くなっている

図表 7-22 テレビ、新聞、雑誌、インターネット等のメディアにおける性・暴力表現についての意識



8. 男女共同参画センターについて

(1) 「県男女共同参画センター」の認知・利用経験

【全員が回答】

問18 県では、男女共同参画を推進するための総合的活動拠点施設として、かごしま県民交流センター内に「県男女共同参画センター」を設置していますが、あなたは、同センターの事業を利用したことがありますか。(1つずつ〇)

[全体] (図表 8-1)

「県男女共同参画センター」の認知・利用経験について聞いたところ、「利用したことがある」と「利用したことはないが知っている」を合わせた回答割合は、「意識啓発・人材育成事業」(30.7%)、「相談事業」(31.6%)、「情報提供事業」(28.1%)となっている。

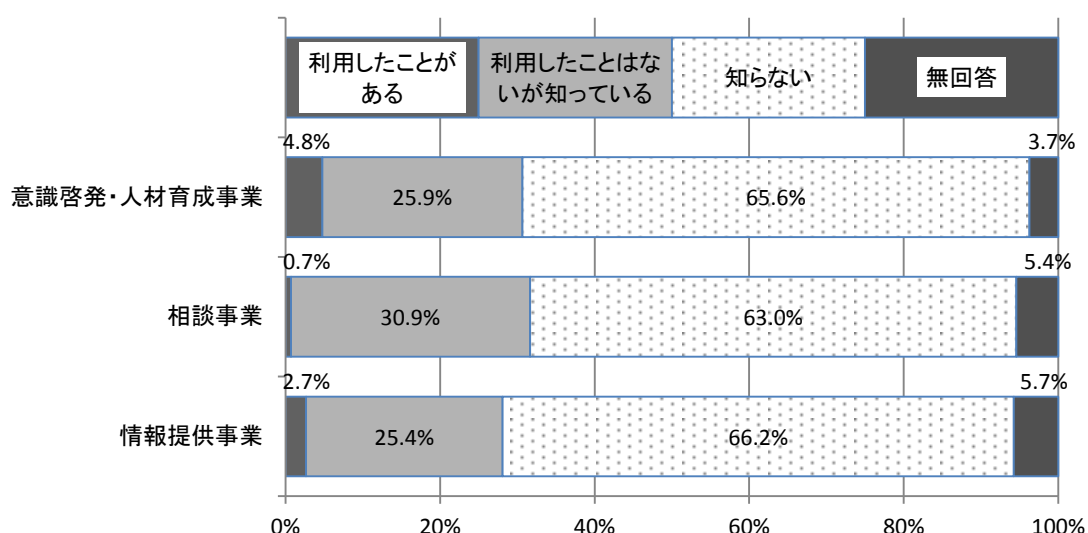
一方、「知らない」という回答割合は、「意識啓発・人材育成事業」(65.6%)、「相談事業」(63.0%)、「情報提供事業」(66.2%)となっている。

[性別／性・年代別] (図表 8-2、8-3)

性別でみると、回答傾向に大きな違いはみられない。

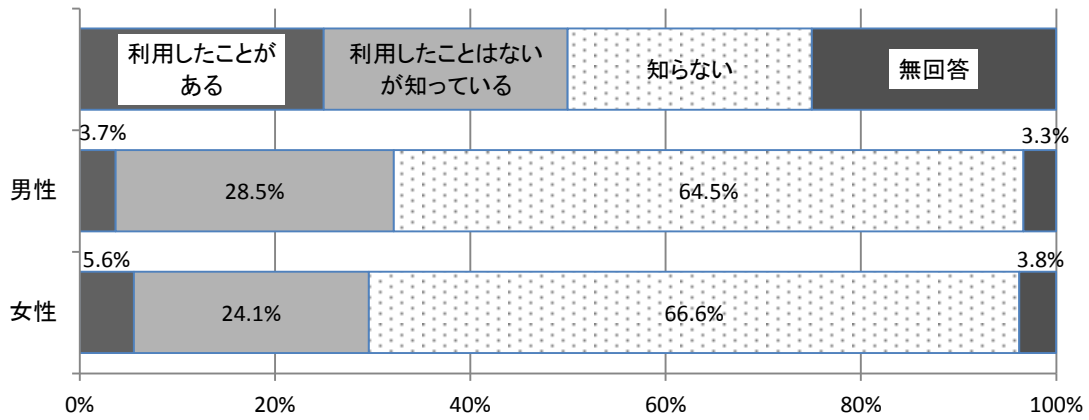
一方、性・年代別でみると、男性ではすべての事業について、年代が若くなるほど「利用したことはないが知っている」という回答割合が低くなっており、女性では「意識啓発事業」について年代が若くなるほど「利用したことはないが知っている」という回答割合が低くなっている。

図表 8-1 「県男女共同参画センター」の認知・利用経験

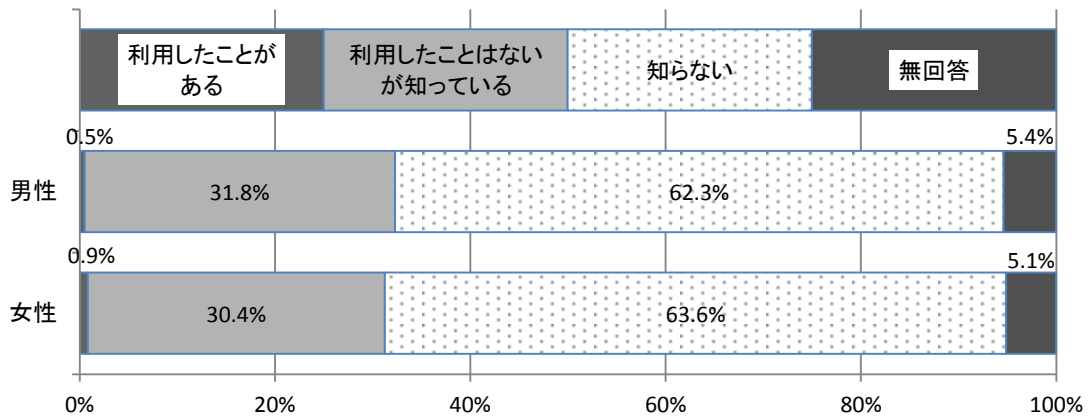


図表 8-2 「県男女共同参画センター」の認知・利用経験【性別】

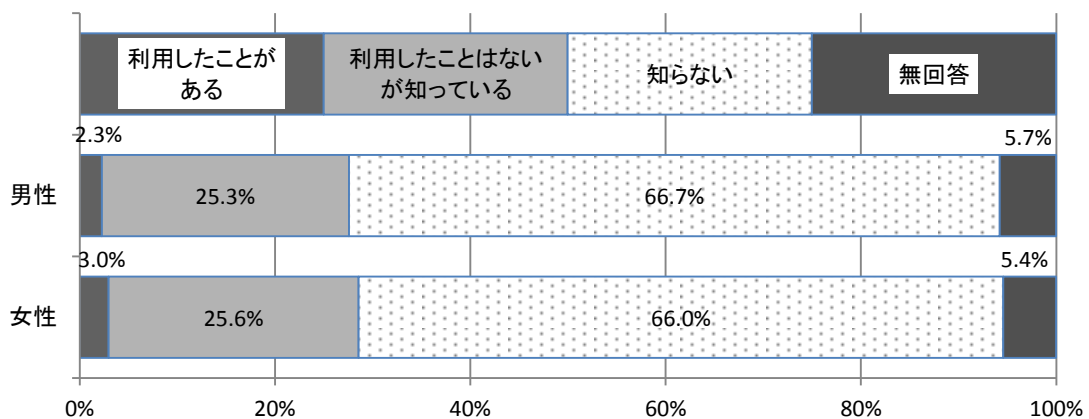
①意識啓発・人材育成事業



②相談事業



③情報提供事業



図表 8-3 「県男女共同参画センター」の認知・利用経験【性・年代別】

	サンプル数	①意識啓発・人材育成事業				②相談事業				③情報提供事業				
		利用したことがある	が利用していることはない	知らない	無回答	利用したことがある	が利用していることはない	知らない	無回答	利用したことがある	が利用していることはない	知らない	無回答	
総数	1,839	88	476	1,207	68	13	569	1,158	99	49	468	1,217	105	
	100.0%	4.8%	25.9%	65.6%	3.7%	0.7%	30.9%	63.0%	5.4%	2.7%	25.4%	66.2%	5.7%	
性・年代別	男性	783	29	223	505	26	4	249	488	42	18	198	522	45
		100.0%	3.7%	28.5%	64.5%	3.3%	0.5%	31.8%	62.3%	5.4%	2.3%	25.3%	66.7%	5.7%
	20歳代	51	2	7	42	0	0	13	36	2	2	9	38	2
		100.0%	3.9%	13.7%	82.4%	0.0%	0.0%	25.5%	70.6%	3.9%	3.9%	17.6%	74.5%	3.9%
	30歳代	85	5	14	65	1	0	12	71	2	1	12	71	1
		100.0%	5.9%	16.5%	76.5%	1.2%	0.0%	14.1%	83.5%	2.4%	1.2%	14.1%	83.5%	1.2%
	40歳代	106	5	24	76	1	0	25	79	2	2	25	77	2
		100.0%	4.7%	22.6%	71.7%	0.9%	0.0%	23.6%	74.5%	1.9%	1.9%	23.6%	72.6%	1.9%
	50歳代	165	4	52	107	2	0	56	107	2	2	50	112	1
		100.0%	2.4%	31.5%	64.8%	1.2%	0.0%	33.9%	64.8%	1.2%	1.2%	30.3%	67.9%	0.6%
	60歳代	188	7	67	109	5	1	75	107	5	6	58	117	7
		100.0%	3.7%	35.6%	58.0%	2.7%	0.5%	39.9%	56.9%	2.7%	3.2%	30.9%	62.2%	0.0372
	70歳以上	188	6	59	106	17	3	68	88	29	5	44	107	32
		100.0%	3.2%	31.4%	56.4%	9.0%	1.6%	36.2%	46.8%	15.4%	2.7%	23.4%	56.9%	17.0%
	女性	1,039	58	250	692	39	9	316	661	53	31	266	686	56
		100.0%	5.6%	24.1%	66.6%	3.8%	0.9%	30.4%	63.6%	5.1%	3.0%	25.6%	66.0%	5.4%
	20歳代	68	3	10	55	0	0	20	47	1	2	15	50	1
	100.0%	4.4%	14.7%	80.9%	0.0%	0.0%	29.4%	69.1%	1.5%	2.9%	22.1%	73.5%	1.5%	
30歳代	138	4	23	111	0	2	33	103	0	2	29	107	0	
	100.0%	2.9%	16.7%	80.4%	0.0%	1.4%	23.9%	74.6%	0.0%	1.4%	21.0%	77.5%	0.0%	
40歳代	159	12	43	99	5	1	49	103	6	8	46	99	6	
	100.0%	7.5%	27.0%	62.3%	3.1%	0.6%	30.8%	64.8%	3.8%	5.0%	28.9%	62.3%	3.8%	
50歳代	204	8	49	143	4	0	61	139	4	5	52	143	4	
	100.0%	3.9%	24.0%	70.1%	2.0%	0.0%	29.9%	68.1%	2.0%	2.5%	25.5%	70.1%	2.0%	
60歳代	223	17	64	136	6	3	87	123	10	8	70	135	10	
	100.0%	7.6%	28.7%	61.0%	2.7%	1.3%	39.0%	55.2%	4.5%	3.6%	31.4%	60.5%	4.5%	
70歳以上	246	13	61	148	24	3	66	145	32	5	54	152	35	
	100.0%	5.3%	24.8%	60.2%	9.8%	1.2%	26.8%	58.9%	13.0%	2.0%	22.0%	61.8%	14.2%	
無回答	1	1	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	0	
	100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

(2) 男女共同参画の拠点施設として「県男女共同参画センター」に期待する役割

【全員が回答】

問 19 あなたは今後「県男女共同参画センター」に男女共同参画の拠点施設としてどのような役割を期待しますか。(3 つ以内に○)

【全体】(図表 8-4)

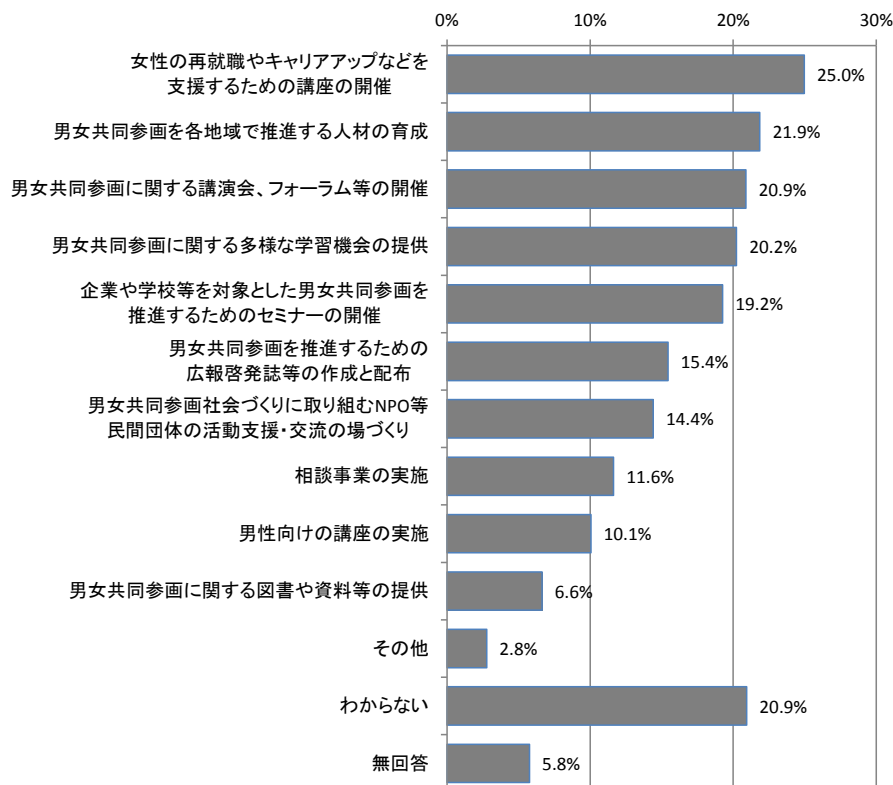
「県男女共同参画センター」に期待する役割について聞いたところ、「女性の再就職やキャリアアップなどを支援するための講座の開催」(25.0%)という回答割合が最も高く、次いで「男女共同参画を各地域で推進する人材の育成」(21.9%)、「男女共同参画に関する講演会、フォーラム等の開催」(20.9%)、「男女共同参画に関する多様な学習機会の提供」(20.2%)、「企業や学校等を対象とした男女共同参画を推進するためのセミナーの開催」(19.2%)の順となっている。

【性別／性・年代別】(図表 8-5、8-6)

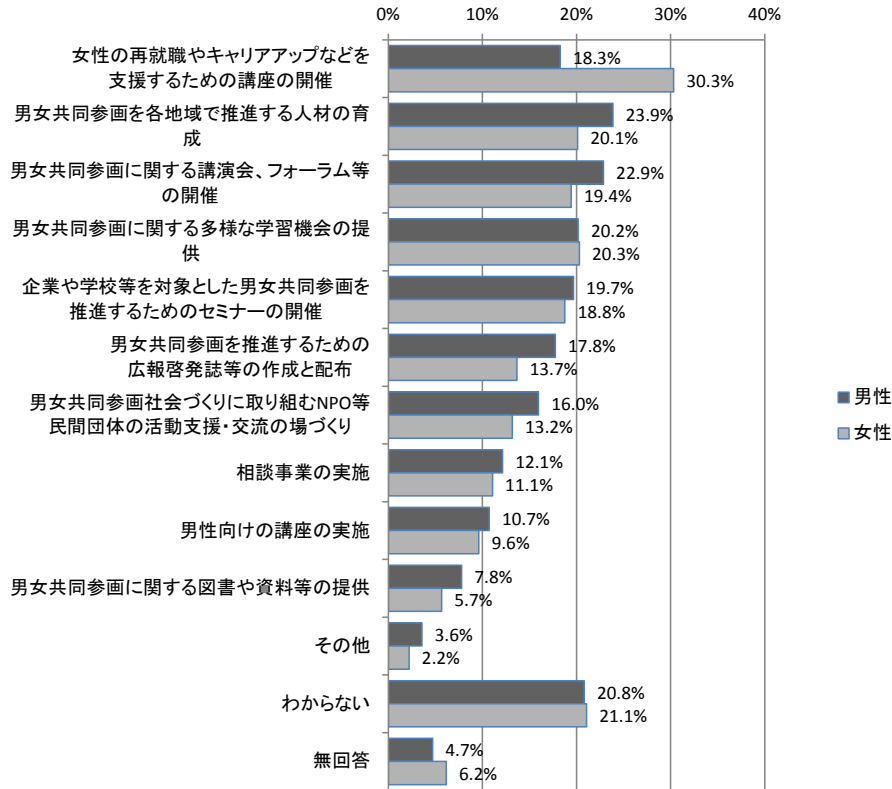
性別でみると、回答傾向に大きな違いはみられないが、その中で「女性の再就職やキャリアアップなどを支援するための講座の開催」という回答割合については、女性が男性を 12.0 ポイント上回っている。

一方、性・年代別でみると、男女ともに年代が若くなるほど「相談事業の実施」という回答割合が高くなっている。また、男性では年代が高くなるほど「男女共同参画を核地域で推進する人材の育成」、「男女共同参画を推進するための広報啓発誌等の作成と配布」という回答割合が高くなっている。さらに、女性では、年代が若くなるほど「女性の再就職やキャリアアップなどを支援するための講座の開催」という回答割合が高くなっている。

図表 8-4 男女共同参画の拠点施設として「県男女共同参画センター」に期待する役割



図表 8-5 男女共同参画の拠点施設として「県男女共同参画センター」に期待する役割【性別】



図表 8-6 男女共同参画の拠点施設として「県男女共同参画センター」に期待する役割【性別】

性別・年代別	サンプル数	期待する役割													
		男女共同参画に関する講演	男女共同参画に関する多様な	男女共同参画を各地域で推進	セミナーの開催を推進するための	企業や学校等を対象とした	の再就職やキャリアアップ	男性向けの講座の実施	相談事業の実施	支援・NPO等社会づくりの取	男女共同参画に関する図書や	の男女共同参画を推進する	その他	わからない	無回答
総数	1,839	384	372	402	354	459	185	214	265	122	284	51	385	106	
男性	783	179	158	187	154	143	84	95	125	61	139	28	163	37	
20歳代	51	9	11	8	8	12	6	9	7	5	2	4	15	1	
30歳代	85	10	14	11	21	11	11	14	7	8	13	3	28	1	
40歳代	106	29	21	26	22	24	20	22	15	9	10	9	18	1	
50歳代	165	39	30	34	35	39	20	14	23	12	24	5	34	3	
60歳代	188	43	40	57	44	36	17	18	39	11	41	5	35	6	
70歳以上	188	49	42	51	24	21	10	18	34	16	49	2	33	25	
女性	1,039	202	211	209	195	315	100	115	137	59	142	23	219	64	
20歳代	68	7	10	12	14	35	5	11	4	4	5	1	13	1	
30歳代	138	20	21	26	21	55	16	22	11	5	17	6	31	1	
40歳代	159	36	36	28	40	56	20	15	26	6	16	4	30	3	
50歳代	204	35	45	49	49	69	24	26	30	11	32	7	32	12	
60歳代	223	58	59	50	37	60	22	22	34	16	38	2	39	15	
70歳以上	246	46	39	43	34	39	13	19	32	17	34	3	74	32	
無回答	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	

9. 県の男女共同参画施策について

(1) 男女共同参画の関連用語の認知

【全員が回答】

問 20 あなたは、男女共同参画に関連の深い用語について知っていますか。(1 つずつ〇)

[全体] (図表 9-1)

男女共同参画の関連用語の認知について聞いたところ、「よく知っている」という回答割合が高い用語は、「男女雇用機会均等法」(33.5%)、「配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)」(19.5%)で、他の用語は1割に満たない。

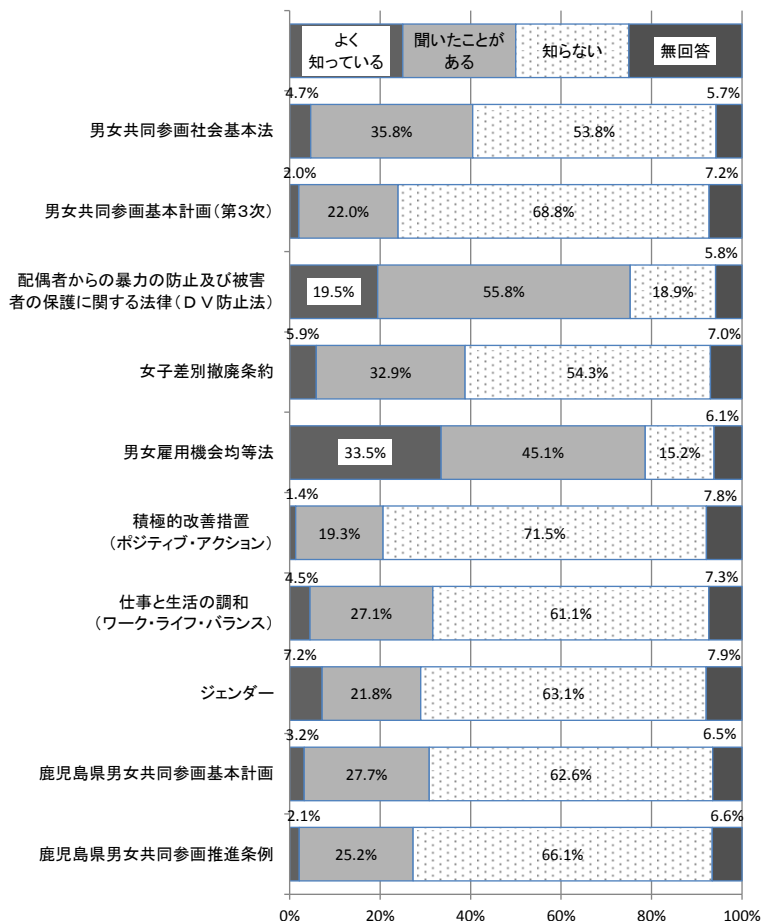
また、これらの用語についてはいずれも半数以上の人「知らない」と回答している。

[性別／性・年代別] (図表 9-2、9-3)

性別で見ると、いずれの用語についても、女性の方が男性よりも「知らない」という回答割合が高くなっている。

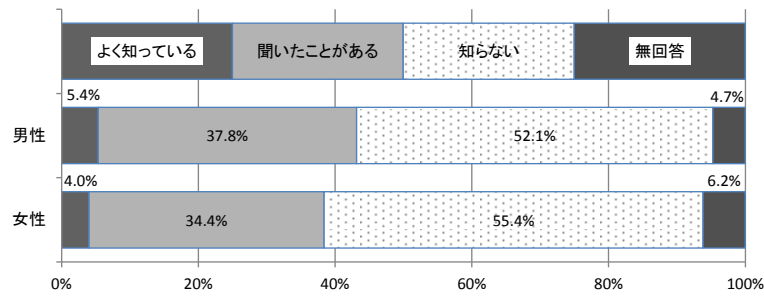
一方、性・年代別で見ると、「ジェンダー」については、男女ともに若い年代ほど認知度が高いが、その他の用語については、40～60歳代の認知度が高くなっている。

図表 9-1 男女共同参画の関連用語の認知

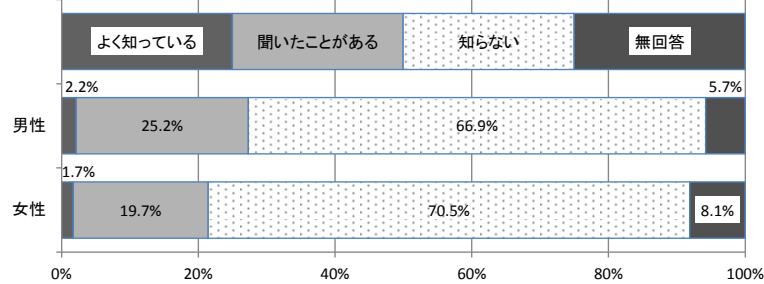


図表 9-2 男女共同参画の関連用語の認知【性別】

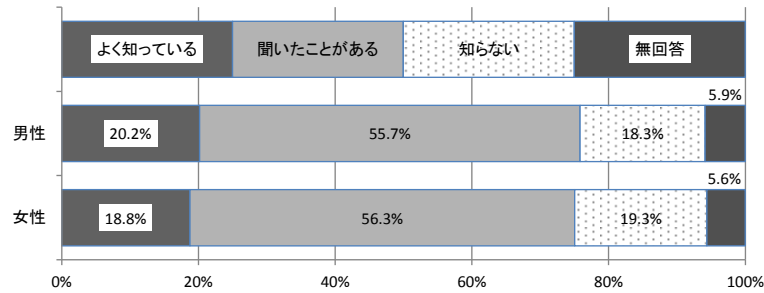
①男女共同参画社会基本法



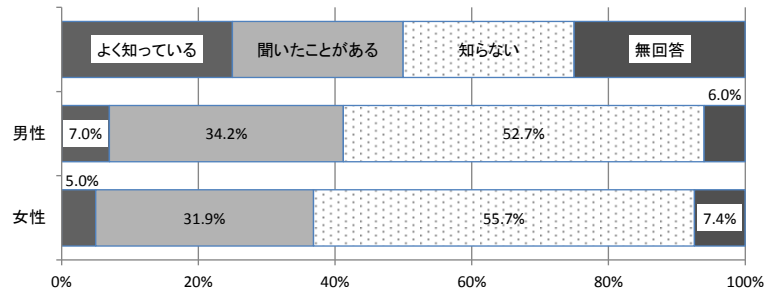
②男女共同参画基本計画(第3次)



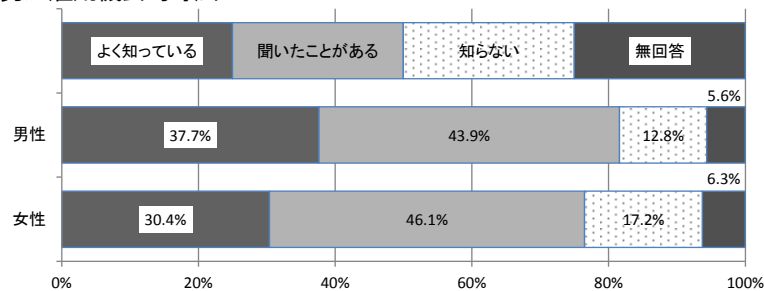
③配偶者からの暴力の防止及び被害者の保護に関する法律(DV防止法)



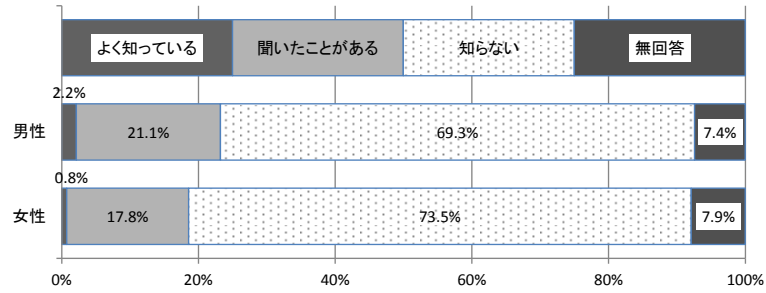
④女子差別撤廃条約



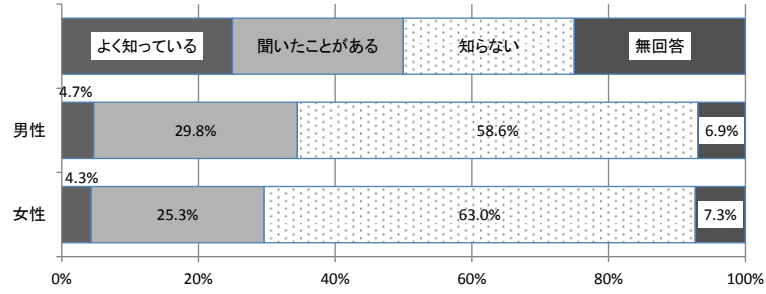
⑤男女雇用機会均等法



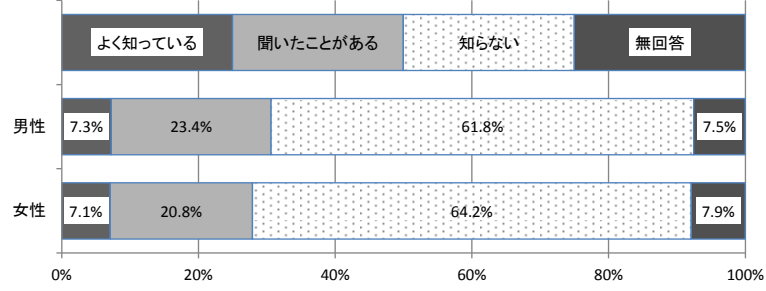
⑥積極的改善措置(ポジティブ・アクション)



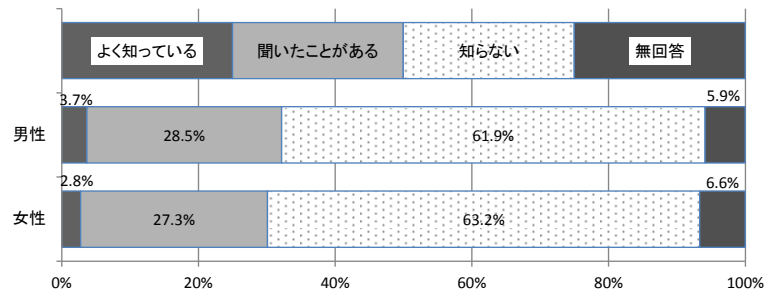
⑦仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)



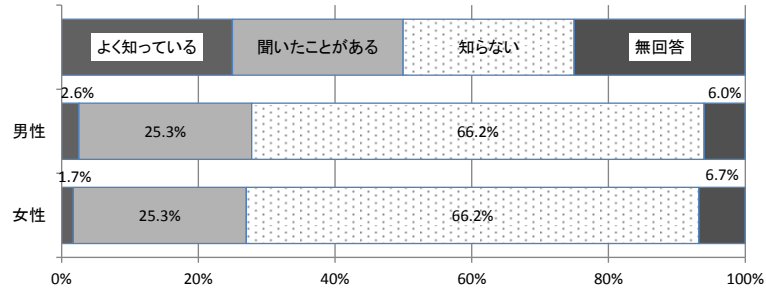
⑧ジェンダー



⑨鹿児島県男女共同参画基本計画



⑩鹿児島県男女共同参画推進条例



図表 9-3 男女共同参画の関連用語の認知【性・年代別別】

	サンプル数	①男女共同参画社会基本法				②男女共同参画基本計画				③DV防止法				④女子差別撤廃条約			
		てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答	てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答	てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答	てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答
総数	1,839	86	658	990	105	37	404	1,265	133	358	1,027	347	107	108	605	998	128
100.0%	100.0%	4.7%	35.8%	53.8%	5.7%	2.0%	22.0%	68.8%	7.2%	19.5%	55.8%	18.9%	5.8%	5.9%	32.9%	54.3%	7.0%
男性	783	42	296	408	37	17	197	524	45	158	436	143	46	55	268	413	47
100.0%	100.0%	5.4%	37.8%	52.1%	4.7%	2.2%	25.2%	66.9%	5.7%	20.2%	55.7%	18.3%	5.9%	7.0%	34.2%	52.7%	6.0%
20歳代	51	5	21	23	2	2	9	38	2	11	28	10	2	4	15	30	2
100.0%	100.0%	9.8%	41.2%	45.1%	3.9%	3.9%	17.6%	74.5%	3.9%	21.6%	54.9%	19.6%	3.9%	7.8%	29.4%	58.8%	3.9%
30歳代	85	1	25	58	1	0	18	66	1	15	56	13	1	4	25	55	1
100.0%	100.0%	1.2%	29.4%	68.2%	1.2%	0.0%	21.2%	77.6%	1.2%	17.6%	65.9%	15.3%	1.2%	4.7%	29.4%	64.7%	1.2%
40歳代	106	5	47	92	2	0	32	72	2	17	78	8	3	7	39	57	3
100.0%	100.0%	4.7%	44.3%	49.1%	1.9%	0.0%	30.2%	67.0%	1.9%	16.0%	73.6%	7.5%	2.8%	6.6%	36.8%	53.8%	2.8%
50歳代	165	5	65	92	2	3	39	72	2	38	101	24	2	6	61	93	7
100.0%	100.0%	3.0%	39.4%	56.4%	1.2%	1.8%	23.6%	73.3%	1.2%	23.0%	61.2%	14.5%	1.2%	4.2%	37.0%	56.4%	2.4%
60歳代	188	10	75	98	5	3	55	125	5	48	102	35	3	19	69	95	5
100.0%	100.0%	5.3%	39.9%	52.1%	2.7%	1.6%	29.3%	66.5%	2.7%	25.5%	54.3%	18.6%	1.6%	10.1%	36.7%	50.5%	2.7%
70歳以上	188	16	63	84	25	9	44	102	33	29	71	53	35	14	59	83	32
100.0%	100.0%	8.5%	33.5%	44.7%	13.3%	4.8%	23.4%	54.3%	17.8%	15.4%	37.8%	28.2%	18.6%	7.4%	31.4%	44.1%	17.0%
女性	1,039	42	357	576	64	13	203	732	88	195	583	201	58	52	331	579	77
100.0%	100.0%	4.0%	34.4%	55.4%	6.2%	1.2%	19.7%	70.5%	8.1%	18.8%	56.3%	19.3%	5.6%	5.0%	31.9%	55.7%	7.4%
20歳代	68	7	29	32	0	0	13	55	0	11	43	13	1	5	23	40	0
100.0%	100.0%	10.3%	42.6%	47.1%	0.0%	0.0%	19.1%	80.9%	0.0%	16.2%	63.2%	19.1%	1.5%	7.4%	33.8%	58.8%	0.0%
30歳代	138	3	43	92	0	2	19	116	1	23	97	18	0	5	45	88	0
100.0%	100.0%	2.2%	31.2%	66.7%	0.0%	1.4%	13.8%	84.1%	0.7%	16.7%	70.3%	13.0%	0.0%	3.6%	32.6%	63.8%	0.0%
40歳代	159	4	59	92	4	1	33	121	3	4	97	10	4	6	46	103	5
100.0%	100.0%	2.5%	37.1%	57.9%	2.5%	0.6%	20.8%	76.1%	2.5%	23.3%	64.8%	9.4%	2.5%	3.1%	28.9%	64.8%	3.1%
50歳代	204	9	72	116	7	4	49	140	11	46	123	31	4	11	72	113	8
100.0%	100.0%	4.4%	35.3%	56.9%	3.4%	2.0%	24.0%	68.6%	5.4%	22.5%	60.3%	15.2%	2.0%	5.4%	35.3%	55.4%	3.9%
60歳代	223	12	82	117	12	8	50	149	16	51	124	38	10	14	81	111	17
100.0%	100.0%	5.4%	36.8%	52.5%	5.4%	3.6%	22.4%	66.8%	7.2%	22.9%	55.6%	17.0%	4.5%	6.3%	36.3%	49.8%	7.6%
70歳以上	246	7	77	116	41	3	41	150	52	26	95	39	12	6	63	124	47
100.0%	100.0%	2.8%	29.3%	51.2%	16.7%	1.2%	16.7%	61.0%	21.1%	10.6%	38.6%	35.0%	15.9%	4.9%	25.6%	50.4%	19.1%
無回答	1	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	1	0	0
100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

	サンプル数	⑤男女雇用機会均等法				⑥ポジティブ・アクション				⑦ワーク・ライフ・バランス				⑧ジェンダー			
		てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答	てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答	てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答	てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答
総数	1,839	616	830	280	113	25	355	1,315	144	83	499	1,123	134	132	401	1,161	145
100.0%	100.0%	33.5%	45.1%	15.2%	6.1%	1.4%	19.3%	71.5%	7.8%	4.5%	27.1%	61.1%	7.3%	7.2%	21.8%	63.1%	7.9%
男性	783	295	344	100	44	17	165	543	58	37	233	459	54	57	183	484	59
100.0%	100.0%	37.7%	43.9%	12.8%	5.6%	2.2%	21.1%	69.3%	7.4%	4.7%	29.8%	58.6%	6.9%	7.3%	23.4%	61.8%	7.5%
20歳代	51	14	8	27	2	0	10	39	2	3	18	29	1	5	17	27	2
100.0%	100.0%	27.5%	52.9%	52.9%	3.9%	0.0%	19.6%	76.5%	3.9%	5.9%	35.3%	56.9%	2.0%	9.8%	33.3%	52.9%	3.9%
30歳代	85	31	46	7	1	0	13	69	3	3	28	53	1	5	32	47	1
100.0%	100.0%	36.5%	54.1%	8.2%	1.2%	0.0%	15.3%	81.2%	3.5%	3.5%	32.9%	62.4%	1.2%	5.9%	37.6%	55.3%	1.2%
40歳代	106	43	56	6	1	2	30	72	2	8	35	61	2	13	37	54	2
100.0%	100.0%	40.6%	52.8%	5.7%	0.9%	1.9%	28.3%	67.9%	1.9%	7.5%	33.0%	57.5%	1.9%	12.3%	34.9%	50.9%	1.9%
50歳代	165	14	72	17	3	1	33	121	3	7	44	111	3	11	41	110	3
100.0%	100.0%	8.4%	43.6%	10.3%	1.8%	0.6%	20.0%	73.3%	1.8%	4.2%	26.7%	67.3%	1.8%	6.7%	24.8%	66.7%	1.8%
60歳代	188	7	79	24	7	5	47	128	8	7	58	112	7	13	32	133	10
100.0%	100.0%	3.7%	42.0%	12.8%	3.7%	2.7%	25.0%	68.1%	4.3%	3.7%	30.9%	59.6%	3.7%	6.9%	17.0%	70.7%	5.3%
70歳以上	188	56	64	38	30	3	27	118	40	5	50	93	40	10	24	113	41
100.0%	100.0%	29.8%	34.0%	20.2%	16.0%	1.6%	14.4%	62.8%	21.3%	2.7%	26.6%	49.5%	21.3%	5.3%	12.8%	60.1%	21.8%
女性	1,039	316	479	179	65	8	185	764	82	45	263	655	76	74	216	667	82
100.0%	100.0%	30.4%	46.1%	17.2%	6.3%	0.8%	17.8%	73.5%	7.9%	4.3%	25.3%	63.0%	7.3%	7.1%	20.8%	64.2%	7.9%
20歳代	68	26	40	2	0	0	11	57	0	4	15	49	0	14	24	30	0
100.0%	100.0%	38.2%	58.8%	2.9%	0.0%	0.0%	16.2%	83.8%	0.0%	5.9%	22.1%	72.1%	0.0%	20.6%	35.3%	44.1%	0.0%
30歳代	138	52	71	15	0	0	17	121	0	6	31	100	1	11	40	87	0
100.0%	100.0%	37.7%	51.4%	10.9%	0.0%	0.0%	12.3%	87.7%	0.0%	4.3%	22.5%	72.5%	0.7%	8.0%	29.0%	63.0%	0.0%
40歳代	159	75	67	12	5	2	39	114	4	10	41	101	7	20	45	90	4
100.0%	100.0%	47.2%	42.1%	7.5%	3.1%	1.2%	24.3%	71.7%	2.5%	6.3%	25.8%	63.5%	4.4%	12.6%	28.3%	56.6%	2.5%
50歳代	204	67	103	29	5	2	41	152	9	10	58	129	7	16	43	137	8
100.0%	100.0%	32.8%	50.5%	14.2%	2.5%	1.0%	20.1%	74.5%	4.4%	4.9%	28.4%	63.2%	3.4%	7.8%	21.1%	67.2%	3.9%
60歳代	223	64	102	45	12	2	50	152	19	10	69	130	14	10	41	156	16
100.0%	100.0%	28.7%	45.7%	20.2%	5.4%	0.9%	22.4%	68.2%	8.5%	4.5%	30.9%	58.3%	6.3%	4.5%	18.4%	70.0%	7.2%
70歳以上	246	31	96	76	43	1	27	168	50	4	49	146	47	3	23	166	54
100.0%	100.0%	12.6%	39.0%	30.9%	17.5%	0.4%	11.0%	68.3%	20.3%	1.6%	19.9%	59.3%	19.1%	1.2%	9.3%	67.5%	22.0%
無回答	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%

	サンプル数	⑨鹿児島県男女共同参画基本計画				⑩鹿児島県男女共同参画推進条例			
		てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答	てよ いく 知っ	と が いた こ	知 ら な い	無 回 答
総数	1,839	59	509	1,152	119	39	463	1,216	121
100.0%	100.0%	3.2%	27.7%	62.6%	6.5%	2.1%	25.2%	66.1%	6.6%
男性	783	29	223	485	46	20	198	518	47
100.0%	100.0%	3.7%	28.5%	61.9%	5.9%	2.6%	25.3%	66.2%	6.0%
20歳代	51	1	8	40	2	1	8	40	2
100.0%	100.0%	2.0%	15.7%	78.4%	3.9%	2.0%	15.7%	78.4%	3.9%
30歳代	85	0							

(2) 男女共同参画社会を形成していくために県が力を入れるべきこと

【全員が回答】

問21 あなたは「男女共同参画社会」を形成していくために、県は今後どのようなことに力を入れていくべきだと思いますか。(3つ以内に○)

【全体】(図表 9-4)

男女共同参画社会を形成していくために県が力を入れるべきことについて聞いたところ、「子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」(49.4%)という回答割合が最も高く、次いで「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」(33.9%)、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」(30.0%)、「女性に対する暴力の防止や被害者支援に取り組む」(18.5%)、「学校や家庭で、男女の人権にかかわる啓発を進める」(15.8%)、「生涯学習の場における男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる」(15.1%)などの順となっている。

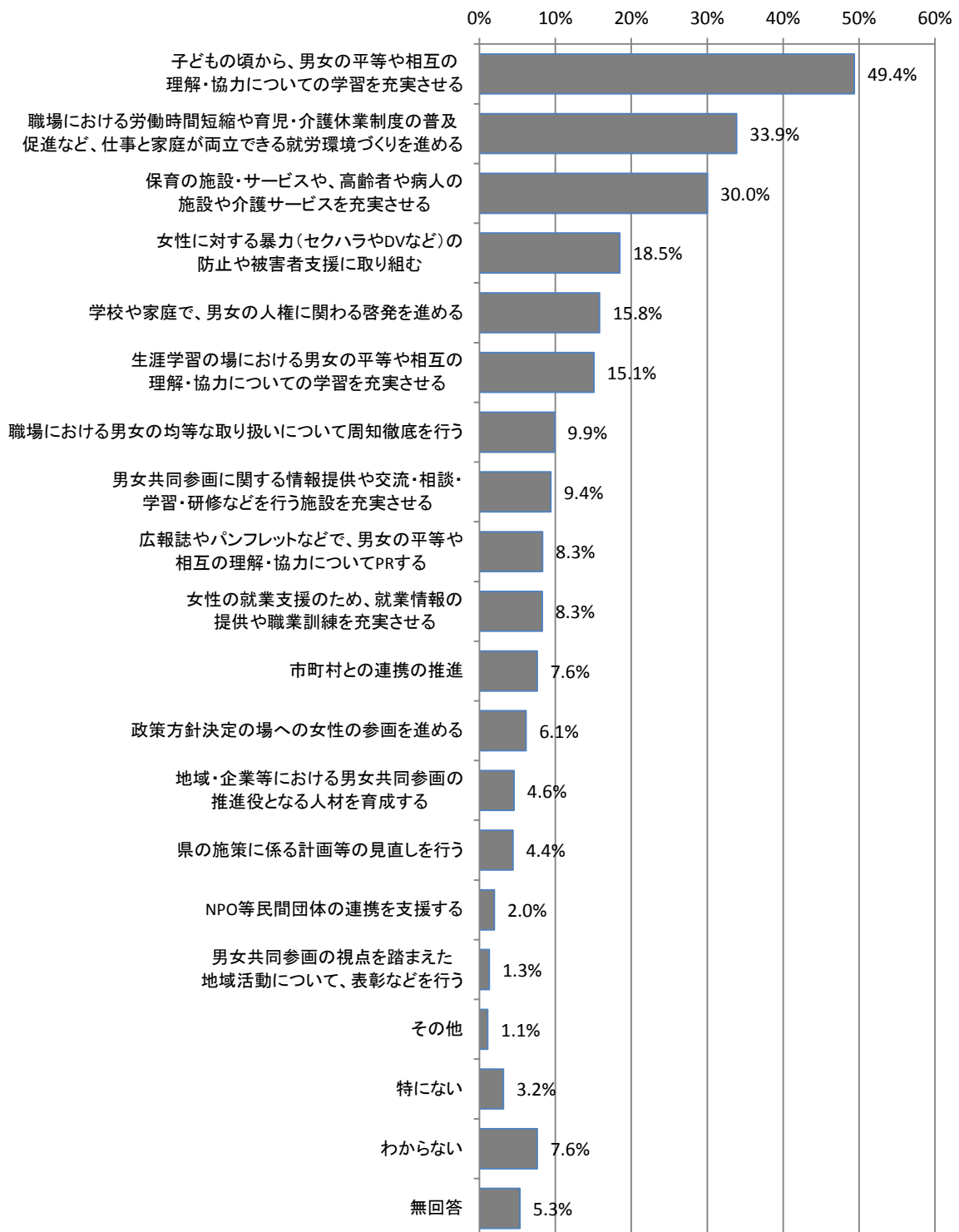
【性別／性・年代別】(図表 9-5、9-6)

性別で見ると、回答傾向に大きな違いはみられないが、その中で「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」、「保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サービスを充実させる」といった項目については、女性が男性よりも回答割合が高くなっている。

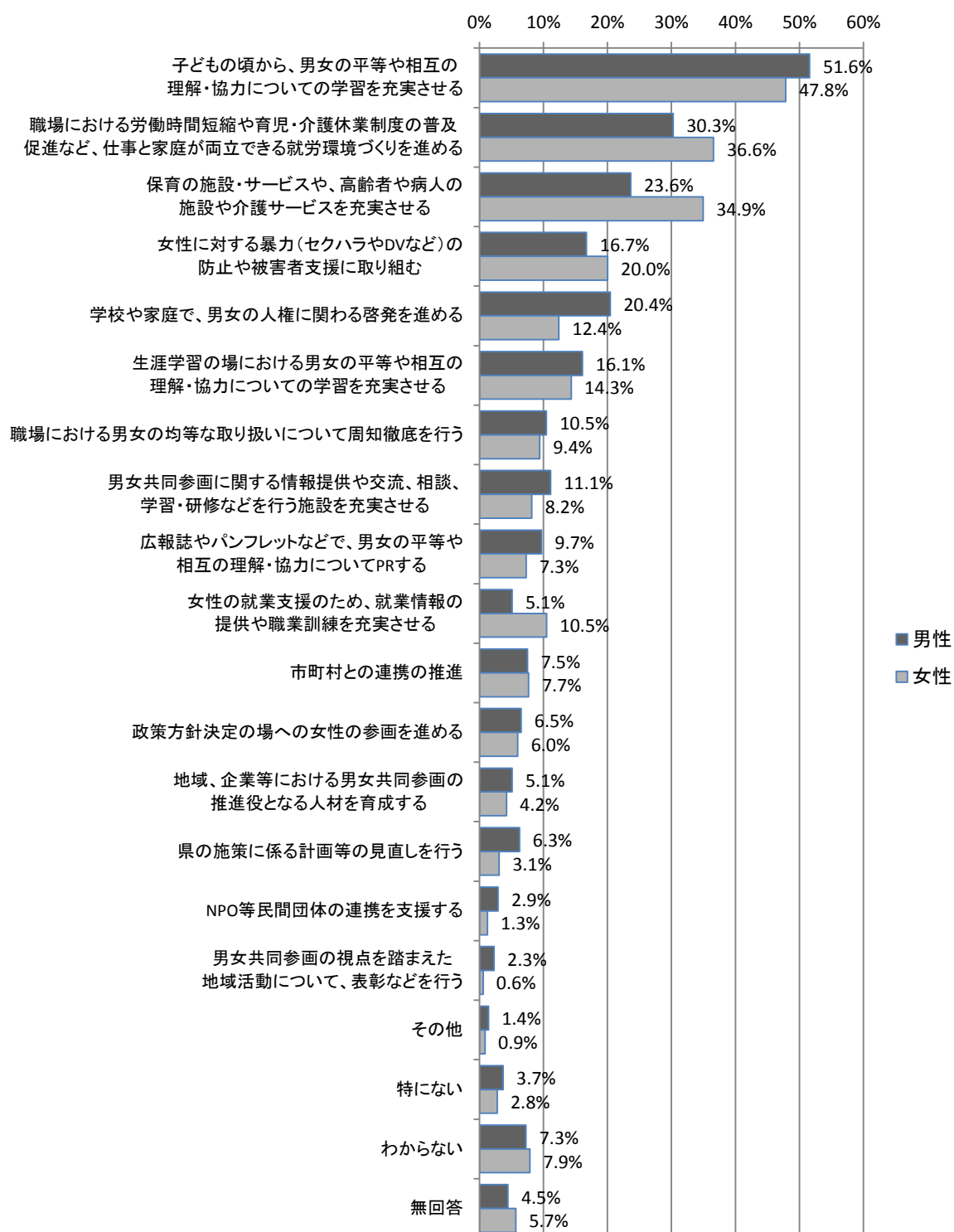
一方、性・年代別で見ると、男女ともに年代が若くなるほど「職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進など、仕事と家庭が両立できる就労環境づくりを進める」という回答割合が高くなっている。また、男性では年代が若くなるほど「女性に対する暴力の防止や被害者支援に取り組む」という回答割合が高くなっている。

さらに、女性では「職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う」、「女性の就業支援のため、就業情報の提供や職業訓練を充実させる」という回答割合が高くなっている。

図表 9-4 男女共同参画社会を形成していくために県が力を入れるべきこと



図表 9-5 男女共同参画社会を形成していくために県が力を入れるべきこと【性別】



図表 9-6 男女共同参画社会を形成していくために県が力を入れるべきこと【性・年代別】

	サンプル数	県の実策に係る計画等の見直しを行う																			市町村との連携の推進	男女共同参画の視点を踏まえた地域活動について、表彰などを行う	その他	特になし	わからない	無回答
		子どもの頃から、男女の平等や相互の理解・協力についての学習を充実させる	生涯学習の場における男女の平等や相互の理解・協力について	学校や家庭で、男女の人権に関わる啓発を進める	力についてPRする	広報誌やパンフレットなどで、男女の平等や相互の理解・協	広報誌やパンフレットなどで、男女の平等や相互の理解・協	女性に対する暴力（セクハラやDVなど）の防止や被害者支	援に取り組む	政策方針決定の場への女性の参画を進める	職場における男女の均等な取り扱いについて周知徹底を行う	職場における労働時間短縮や育児・介護休業制度の普及促進	など、仕事と家庭が両立できる就業環境づくりを進める	保育の施設・サービスや、高齢者や病人の施設や介護サビ	スを充実させる	女性の就業支援のため、就業情報の提供や職業訓練を充実さ	せる	地域・企業等における男女共同参画の推進役となる人材を育	成する	NPO等民間団体の連携を支援する						
総数	1,839	81	908	277	291	153	340	113	182	623	552	152	84	36	173	140	24	20	58	140	98					
	100.0%	4.4%	49.4%	15.1%	15.8%	8.3%	18.5%	6.1%	9.9%	33.9%	30.0%	8.3%	4.6%	2.0%	9.4%	7.6%	1.3%	1.1%	3.2%	7.6%	5.3%					
性・年代別	男性		783	49	404	126	160	76	131	51	82	237	185	40	40	23	87	59	18	11	29	57	35			
		100.0%	6.3%	51.6%	16.1%	20.4%	9.7%	16.7%	6.5%	10.5%	30.3%	23.6%	5.1%	5.1%	2.9%	11.1%	7.5%	2.3%	1.4%	3.7%	7.3%	4.5%				
	20歳代	51	1	24	5	7	2	15	3	7	21	17	5	3	0	4	2	2	2	2	2	1	1			
		100.0%	2.0%	47.1%	9.8%	13.7%	3.9%	29.4%	5.9%	13.7%	41.2%	33.3%	9.8%	5.9%	0.0%	7.8%	3.9%	3.9%	3.9%	3.9%	2.0%	2.0%				
	30歳代	85	4	37	14	12	5	14	1	9	36	18	3	2	2	9	6	2	3	8	7	1				
		100.0%	4.7%	43.5%	16.5%	14.1%	5.9%	16.5%	1.2%	10.6%	42.4%	21.2%	3.5%	2.4%	2.4%	10.6%	7.1%	2.4%	3.5%	9.4%	8.2%	1.2%				
	40歳代	106	9	50	15	23	5	26	8	9	38	26	8	3	2	11	9	3	1	4	7	2				
		100.0%	8.5%	47.2%	14.2%	21.7%	4.7%	24.5%	7.5%	8.5%	35.8%	24.5%	7.5%	2.8%	1.9%	10.4%	8.5%	2.8%	0.9%	3.8%	6.6%	1.9%				
	50歳代	165	16	88	25	40	11	31	14	17	45	36	12	5	6	19	11	4	3	6	7	8				
		100.0%	9.7%	53.3%	15.2%	24.2%	6.7%	18.8%	8.5%	10.3%	27.3%	21.8%	7.3%	3.0%	3.6%	11.5%	6.7%	2.4%	1.8%	3.6%	4.2%	4.8%				
	60歳代	188	10	107	29	41	24	25	12	21	53	48	8	12	9	23	18	1	2	3	18	7				
		100.0%	5.3%	56.9%	15.4%	21.8%	12.8%	13.3%	6.4%	11.2%	28.2%	25.5%	4.3%	6.4%	4.8%	12.2%	9.6%	0.5%	1.1%	1.6%	9.6%	3.7%				
	70歳以上	188	9	98	38	37	29	20	13	19	44	40	4	15	4	21	13	6	0	6	17	16				
		100.0%	4.8%	52.1%	20.2%	19.7%	15.4%	10.6%	6.9%	10.1%	23.4%	21.3%	2.1%	8.0%	2.1%	11.2%	6.9%	3.2%	0.0%	3.2%	9.0%	8.5%				
	女性		1,039	32	497	149	129	76	208	62	98	380	363	109	44	13	85	80	6	9	29	82	59			
		100.0%	3.1%	47.8%	14.3%	12.4%	7.3%	20.0%	6.0%	9.4%	36.6%	34.9%	10.5%	4.2%	1.3%	8.2%	7.7%	0.6%	0.9%	2.8%	7.9%	5.7%				
	20歳代	68	1	30	6	6	4	13	2	18	35	29	12	0	1	4	3	0	0	0	4	1				
		100.0%	1.5%	44.1%	8.8%	8.8%	5.9%	19.1%	2.9%	26.5%	51.5%	42.6%	17.6%	0.0%	1.5%	5.9%	4.4%	0.0%	0.0%	0.0%	5.9%	1.5%				
	30歳代	138	1	63	17	12	8	34	4	21	65	44	30	5	1	5	8	1	3	2	9	1				
		100.0%	0.7%	45.7%	12.3%	8.7%	5.8%	24.6%	2.9%	15.2%	47.1%	31.9%	21.7%	3.6%	0.7%	3.6%	5.8%	0.7%	2.2%	1.4%	6.5%	0.7%				
40歳代	159	3	80	19	15	8	37	10	20	63	59	19	6	3	20	11	1	4	3	8	7					
	100.0%	1.9%	50.3%	11.9%	9.4%	5.0%	23.3%	6.3%	12.6%	39.6%	37.1%	11.9%	3.8%	1.9%	12.6%	6.9%	0.6%	2.5%	1.9%	5.0%	4.4%					
50歳代	204	4	102	32	33	18	39	15	19	75	79	20	11	4	12	18	0	1	9	9	7					
	100.0%	2.0%	50.0%	15.7%	16.2%	8.8%	19.1%	7.4%	9.3%	36.8%	38.7%	9.8%	5.4%	2.0%	5.9%	8.8%	0.0%	0.5%	4.4%	4.4%	3.4%					
60歳代	223	11	123	43	30	19	46	20	10	84	79	19	11	1	28	20	2	1	6	11	10					
	100.0%	4.9%	55.2%	19.3%	13.5%	8.5%	20.6%	9.0%	4.5%	37.7%	35.4%	8.5%	4.9%	0.4%	12.6%	9.0%	0.9%	0.4%	2.7%	4.9%	4.5%					
70歳以上	246	12	99	32	33	19	39	11	9	58	72	8	11	3	16	20	2	0	9	41	33					
	100.0%	4.9%	40.2%	13.0%	13.4%	7.7%	15.9%	4.5%	3.7%	23.6%	29.3%	3.3%	4.5%	1.2%	6.5%	8.1%	0.8%	0.0%	3.7%	16.7%	13.4%					
無回答		1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0				
	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%					

10. 男女共同参画社会の実現に向けた意見・要望

【全員が回答】

問 22 男女共同参画社会の実現に向けて、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

寄せられた自由意見の件数は 320 件であり、主な意見・要望を掲載した。

また、その内容は、「男女共同参画に対する意識について」(68 件)、「男女共同参画社会の形成について」(37 件)、「就労について」(37 件)、「男女共同参画に関する教育について」(29 件)、「男女共同参画に向けた啓発活動について」(29 件)、「子育てについて」(28 件)、「男女共同参画に向けた行政の取り組みについて」(21 件)、「家庭生活について」(9 件) などとなっている。

■男女共同参画に対する意識について (68 件)

【主な意見】

- 若い世代においては、進学・就職等だいぶ改善されていると思う。しかし、中高年など年齢が高くなるほど遅れていると思う。情報の提供、市町村との連携、相談研修等を行って、身近な関係で意識の改革を進めてほしい。(男性 70 歳以上)
- 女性が一步踏み出すことが一番大事と思う。意見を述べると役がまわって来るからと、役をしたがらないことをまず除く手だて(意識改革)が一番と考える。(男性 70 歳以上)
- 女性自身の意識レベルが低いと思う。女性は「男からちやほやされるもの」というか、内面が充実している女性(特に最近の若い人)が少ない。メディア等での女性像にあこがれて、外面ばかりをみがいても、内面がついていけない人が多い。仕事でもきついと「結婚してやめる」ことを目標にして婚活する人も多い。(女性 30 歳代)
- 長い歴史の中で積み重ねられた男女差別だけになかなかなくすることが難しいと思う。粘り強く、継続的に活動することが大事だと考える。特に男性の意識改革が大切なことではないか。(男性 60 歳代)
- 現在、女性の考え方は「男女平等」という考えがあるが、男性が考えていない気がする。まして鹿児島は、男性優位の感があるので、男性の考え方を改めるよう教育すべきだと思う。(女性 50 歳代)
- 都市部と地方の意識の格差を感じることも大。特に鹿児島県内においては、まだまだ男女平等とは、遠い気がする。(女性 60 歳代)
- 男よりも女性の方に色んなことで優遇されている気がする今日この頃。「男女共同参画社会」自体が今必要なのか疑問に思う。(男性 30 歳代)
- 男女共同参画社会はとても大事で、進めなければと思うが、女性にしかできない“出産”をもっと重要視すべきではないか。少子化が懸念される今こそ(女性の社会進出の重要性-ジェンダーフリー)を考える中で、女性のみの特長“出産”についていろいろ考えたいし取り上げてもらいたい。(女性 60 歳代)
- 男女共同参画の意味や必要性が十分に理解されていない。もともと男と女は生理的に異なり、それぞれ特徴を認め合った上で共同することが重要である。全てにおいて平等であることは却って問題を生じる可能性がある。(男性 60 歳代)
- 男女の平等とはどういうことをいうのか。男女が全ての面で同条件ということではないと思う。女性に関しては自分の生き方を選択し、その実現ができる社会環境を整えることが必要だと思う。(男性 70 歳以上)
- 能力ある女性は、どんどんトップに立ち男性と共に活動していただくべきと思うが、なぜ男女平等である必要があるのか。男性ができない女性にしかできないことも多いのでは。男性と同じ事をする必要はない。女性にしかできないことを大切にすべきと思う。男女平等は建て前。最後は女性が苦しくな

- る。(女性 40 歳代)
- 男と女。男は女の仕事はやればできる。女は男の仕事はできない事が多い(力仕事)。だから同じではないので、一歩下がった方が良くと思う。(女性 70 歳以上)
 - 男も女も同等にやらねばならないと考えている人もいるが、元来、男性と女性との違いを認めた上で男、女それぞれの特性を生かし、役割分担し、互いに助け合って共同生活ができることだと思う。(女性 70 歳以上)
 - 男女平等はとても大事なことだが、男性らしさ、女性らしさを教えることは大事だと思う。間違った男女平等を教えるべきではない。心身の違いがあって当たり前だから、そこを踏まえた男女平等を進めていただきたい。(男性 30 歳代)

■男女共同参画社会の形成について (37 件)

【主な意見】

- 昔からすると、皆(若い世代)よく家庭、子育てに協力するように感じる。職場の協力、理解、地域での理解がないと、女性が同じように賛同できないと感じる。(女性 50 歳代)
- 私達が働いていた頃とは、だいぶ考え方が違ってきていると思う。女性のためには、働きやすいとも思われるし責任を負うことにもなると思う。(女性 70 歳以上)
- 日本型長時間労働を強いられる我が国で、男女共同参画社会は無理である。アメリカ、ヨーロッパみたいにあまり働かない、労働時間が短い国では可能だろう。(男性 60 歳代)
- 男女共同参画も重要だと思うが、日本の将来のためには少子化問題のほうが重要だと思う。男女平等と少子化は連動しているように感じられてならない。テレビの家族構成も夫婦に子供 2 人が標準みたいな放送がなされているが、子供 3 人を望む。(男性 60 歳代)
- 結婚しており、主婦道一筋できているが、これからの世代は女性もどんどん社会のために活躍できる場をたくさん作っていただき、より積極的に参加できる環境づくりをお願いできたらと思っている。(女性 50 歳代)
- 職場、地域、社会の中でリーダー的なポジションに積極的に女性を登用することで女性の考えがより反映されるように配慮することが大切だと思う。(男性 40 歳代)
- 女は「議を言うな」という文化を良い方向に変えてほしい。女性がいたほうが良い場面がたくさんあると思う。きめ細やかな対応ができる利点を生かしていける社会を望む。(女性 40 歳代)
- 男女平等をいう前に、お互いの思いやりがあれば協力体制はできていくと思うので、お互いの性別に甘える事のないように、男女の平等、という表現を使わなくてもいい社会になったら良いと思う。(女性 40 歳代)
- 昔から鹿児島県人は男尊女卑の風潮が強い所である。近年、若い人にはあまり見受けられないが、年配者には根強く感じる事がある。男女平等はむずかしいこととは思いますが、お互いを敬う社会になることを期待する。(女性 50 歳代)
- 良い方向に進んでいると思う。地域集落などで話し合うことが大切だと思う。(男性 70 歳以上)
- 子供、児童の虐待のない社会でありたい。高齢者も、ゆとりで暮らせる社会にしたい。(女性 70 歳以上)

■就労について (37 件)

【主な意見】

- 育児中の女性が仕事をしやすい環境が整えば嬉しい。また、職場でも男女平等に優遇されることや男性も家庭のことができるようになるような社会になれば良い。(女性 20 歳代)
- 少子化の影響で女性の労働力も求められている時代である。女性が働きやすい環境をもっと整えてい

ってほしいと思う。シルバー世代の方々はまだまだ元気なので再就職もいいだろうし、地域の中で子育ての支援をしてもらえるといいと思う。(女性 40歳代)

- 私は未婚だが、もし結婚したとしたら共働きしたいと考えている。子供ができれば、子育てと仕事が両立できる環境をもっと作ってほしい。(男性 30歳代)
- 女性が、働きやすい環境の整備が必要と思う。男性が家庭に入り、女性(妻)が社会に出るという状況が当たり前(普通)に感じるようになるには、まだまだ時間が必要であろう。男女を問わず能力、適性によって仕事が分担できる社会が当然になれば男女共同参画社会の実現に近づくのではないかと。(男性 60歳代)
- 女性が政策・業務方針決定に積極的に参加しやすい企業・職場は向上していくと思う。シニア世代の男性は、もっと女性を多く登用すべき。若い世代は、男女差はないように思う。(女性 60歳代)
- 男女共同参画という表現や事業は新聞紙上よく見るが、理解していても実行していない男性や会社や企業内において、人事担当者の現実的な実行がなされていないと思う。(男性 70歳以上)
- 個人がいくらスキルを伸ばしても企業内で高い収入があるのは男性。学校で男女平等と習っても労働社会ではそうでないのが当然。特に地元企業では、そして企業は行政の目を盗んで育休後の部署異動、賃金の大幅カットを当然のようにしている。行政が自ら企業の方へ立ち入ってほしい。(女性 30歳代)
- 企業の女性に対する偏見をなくすようにして徹底していきたいと思う。「子供が小さいから雇えない」というのは差別じゃないのか。(女性 30歳代)
- 女性が働きやすい職場を増やしてほしい。(出産後や育児の合間、中学生以上の子など手の空いたときにできる方たちを対象に)(女性 20歳代)
- 現実問題として県内に仕事を探しても見つからない、働き盛りの男性、学校を卒業しても正社員として雇ってもらえない学生さんなどが多くいる。県はもっと働く場を増やしてほしい。企業は海外にばかり目を向けるのではなく、国内にも目を向けて、国民が安心して働ける場所を増やしてほしい。(女性 50歳代)

■男女共同参画に関する教育について (29件)

【主な意見】

- 小、中、高校生の頃から男女共同参画社会について教えていくべきだと思う。各職場の採用試験の問題に参画社会についての問題提起をすると良いと思う。(男性 60歳代)
- 小学生で性教育を行うと同時に、性暴力も伝えてほしい。私は、小学の担任から身体を触られたことが今でも傷になっている。企業にセクハラ担当がいるように学校にもそのような相談をできる人がいたら良い。(女性 40歳代)
- 男性優位でなく男女平等を家庭で教えていくべきだと思う。小さな子供の時に教えられた事は、大人になっても大きく影響する(未だに宴会など酒の場所では、女性がお酒を注ぐのが当たり前になっている人が多い)(女性 50歳代)
- 大人になったら考え方は、なかなか変わらない。子供の頃の教育が大事である。(男性 40歳代)
- 人の意識を変えていくためには時間と努力を必要とする。子供の頃からの環境づくりが重要であると考え。(男性 60歳代)
- 鹿児島で生まれ育っていると気付かなかったが、関東の人に「男尊女卑まだあるよね」と言われたことがあった。意識してなかったというか、それが普通だと思っていたので。いろんな法的整備はもちろん大事だが、意識が変わらないと実現は難しいと思う。やっぱり子供の頃からの教育は大事だと思う。(女性 40歳代)
- 男女共同参画社会は理想だが、市内と地方では理解、協力を同じように求めるのは無理だと思う。特に地方ではもっと以前の「男女平等について」から子供達に教え、昔(といっても祖父母の立場で)

- 今、慣習やしきたりと人権を理解できるような学習の機会を作ってほしいと思う。(女性 40歳代)
- 男性は男であるだけで女と違う存在であるという意識をなくすることが何よりも大切な一歩だと思う(特に鹿児島の高齢者男性)。それには子供の頃からの教育が何より大切ではないか。(女性 60歳代)
 - 教育の場や家庭内で子供の頃から男女平等相互の理解、協力、男女の身体の特質等を教えていくことが大切だと思う。年を取ってからの生涯学習では遅いと思います。(女性 70歳以上)

■男女共同参画に向けた啓発活動について (29件)

【主な意見】

- このことについてもっと周知してほしい。県でどんなことを取り組んでいるのかも知らない。子どもへの学習も大事だが、大人(親)のふるまいや考えなどが、子への影響が大きいのでは。まずは、大人の学習が必要では。(女性 30歳代)
- 男女共同参画社会といわれても、ピンとこない。県は具体的にPRをしてほしい。(男性 60歳代)
- 男女共同参画の存在は、知っていても活動内容を知らない人も多くもっと身近にその存在を誰にでも自由に参加できる興味を持てる企画で案内をしてほしい。(男性 60歳代)
- かけ声はよいが、まだ一般的に浸透しているか疑問である。市町村ともよく連携して、特に、年配者等に分かりやすいようにPRを進めたらどうか。また、職場において、子育て中の婦女子が働きやすい環境づくりを推進してほしい。(男性 70歳以上)
- センターを実際に利用するのは、もともと関心があり、なおかつ時間や生活にゆとりのある人達。参加を促すだけではなく、センター側から例えば企業に出向く方法もあるはず。参加しない人達の理由を知り、そのためにできることを考えるべきではないか。(女性 40歳代)
- パンフレット等はあまり読まない。読んでもそこで終わりになる。セミナー、講演会などもなかなか行けない。行っても聴講して終わりになる。実際に職場に行き具体的な指導を行ったり法律や制度を定めたりすることが必要である。(女性 40歳代)
- 「差別などあるわけがない、関係ない」という認識の人が、まだまだ多く存在すると感じる。もっともっと、身近で具体的な内容を含む啓発活動が重要と感じている。(男性 60歳代)
- 何も問題のない人は関心がない。その人たちの関心と呼ぶような取組がほしい。(男性 60歳代)
- 男女共同参画という言葉の意味が分かりにくい。もっと分かりやすい言葉で定義づけをしたらみんなも覚えやすく関心を持てるのではないか。(女性 30歳代)
- 言葉が難しいととっつきにくいのでは。もっと普段の生活に自然と入ってくるような努力が必要ではないか。実体験を味わっている人たちも知識としては入ってこないのが現実。食事を取るのと同じくらい自然に男女平等といった状態になれば良い。(女性 30歳代)

■子育てについて (28件)

【主な意見】

- 出生率の低下の中、いかに出生率を下げないで女性が社会進出できる仕組みを作っていただきたい。(男性 40歳代)
- 女性が働きやすい環境を整えることが一番だと考える。保育の施設やサービスをもっと充実させてほしい。(女性 30歳代)
- 母親の仕事ができるための保育園等の施設の充実と、職場での支援等、女性が出産しやすい環境づくりを進めてほしいと思う。(女性 50歳代)
- 女性が働きながら子育てをしやすい環境があると、もっと良いのではと感じている。そのためには、未就学児童を預ける施設がたくさんあると良いと思う。(女性 30歳代)
- 県内の企業は、大企業を除いて育児・介護休業制度がない。育児・介護休業を取らせるだけの余裕が

全くない。育児・介護休業どころか有給休暇すらないし、有休を与える余裕が全くない。育児・介護休業願い＝退職（クビ）これが実状。男女共同参画以前の問題だと思う。（男性 40 歳代）

- 事業所では育児・介護休業は実際、難しいので、男性も家庭や育児に参加できるよう、有給休暇を毎月、又は年にまとめて必ず取得するよう、制度の見直しをしてほしい。（女性 20 歳代）

■男女共同参画に向けた行政の取り組みについて（21 件）

【主な意見】

- 男女平等というが、行政の中でも外見だけで中身は女性には、あれをさせてはならないとか男性から見て決して平等とはいえない組織の決まりがあって女性がいることで、活動しにくい組織がある。（男性 60 歳代）
- フォーラムや学習施設などは、あまり必要性を感じない上に有効な方法とは思えない。一般的にそんな暇はない。企業等に監視の意味も含め訪問したり喚起したりするなど、一般個人を動かすより自治体の方が積極的に動いてほしい。足を運ぶことのない学習施設、フォーラム、講習の機会を設けるよりもずっと税金の使われ方に納得がいく。（女性 30 歳代）
- 国や県、市の行政の中で、まず行動、実行してもらおうと、分かりやすいし、実現に近づいていくような思いがある。※例えば、役所内で、お茶を入れているのは、女性の方しか見たことがない。（男性 50 歳代）
- 行政・自治会等が行う各種会議・イベント等、企画・進行・司会を女性主導でやってみる。（男性 50 歳代）
- 調査というのは、調査で終わってしまう気がする。とにかく行動実行してほしい。でなければ、調査の必要性もないし紙代や人件費がもったいないと思う。（女性 60 歳代）
- 男女共同参画社会に関する様々な制度を更に強化していくことを期待したいと思う。（男性 40 歳代）
- 男性の育児休暇取得を推進する条例等の整備。女性が妊娠、出産した後も再就職等ができるような地域社会（会社等）への就職（パート含む）の斡旋の強化。男性向けの料理教室等の開催を増やす（公民協力して）。男女平等の意味を小さな時（小学校ぐらい）から正しく教育する。（男性 40 歳代）
- 男女共同参画施策が「女性優遇」にならないよう適正なバランスを保ってほしい。（男性 20 歳代）
- 男女共同参画室というのがあるということを知った。何を行っているのかあまり知らない人が多いと思うし、男女共同参画室があることが何の役に立っているかも分かりにくいいため、頑張してほしい。（男性 20 歳代）
- 鹿児島県に男女共同参画センターがあることを知らなかった。今後は、インターネット等で調べて学習しようと思う。（男性 50 歳代）

■家庭生活について（9 件）

【主な意見】

- 女性自身の所得が低いと、家庭内でも男女差がある。（女性 40 歳代）
- 男の人にも、家事・育児にもっと参加すべきだと思う。台所に立ってテキパキする姿・子ども（赤ちゃん）のオムツ替え、できる人はステキだと思う。その姿を見て育つ子供達は、親をお手本にするのではと思う。（女性 50 歳代）
- 小さい頃、家庭で暴力を受けていた人は、大人になっても暴力を振るうと思うので、小さい頃に、痛みを受けないように早く気づいてあげられるような社会の仕組みがあるといいと思っている。男女の差別については、高齢の方にとっては、平等というのは、なかなか受け入れられないことだと思うし、若くなるにつれて、だんだん受け入れられてきていると思うのだが、それと同時に女性も調子に乗ってきている気もしてならない。（女性 40 歳代）